物　件　調　書

【土　地】						
所在及び地番	静岡市葵区安東二丁目105、106					
住居表示	静岡市葵区安東２丁目19番５号					
面積	1,431.89㎡(実測面積) 1,428.09㎡(公簿面積)	地目	宅　地(現況) 宅　地(公簿)	土地の形状	正方形地	
接面道路の幅員、種別、状況等	南側間口約 37.5mが幅員約 6.5mの舗装市道（大岩２丁目北安東線）に、西側約 38.1mが幅員約 8.0mの市道（安東中央幹線）に、北側約 37.5mが幅員約 4.0mの舗装道路（建築基準法 42 条２項道路）に等高に接面。					
私道の負担等に関する事項	－					

法令に基づく制限の概要					
都市計画区域	市街化区域	用途地域	第二種中高層住居専用地域		
建ぺい率	指定建蔽率　60 ％		基準建蔽率　70 ％		
容積率	指定容積率　200 ％		基準容積率　200 ％		
高さの制限	道路斜線制限	無・有	隣地斜線制限	無・有	
	北側斜線制限	無・有	絶対高さ制限	無・有	
	日影による中高層の建築物の制限		無・有		
外壁後退	無・有		壁面線の制限	無・有	
準防火地域	無・有		防火地域	無・有	
その他	第２種高度地区（高さ制限 16m）、静岡市屋外広告物条例（第１種普通規制地域）、都市再生特別措置法（居住誘導区域内、都市機能誘導区域外）				
※ 各制限内容の詳細は、関係市町村の建築確認担当課にお問い合わせください。					

供給処理施設の状況			事業所名	電話番号
	電気	引込不可・引込可	中部電力パワーグリッド（株）静岡支社	0120-977-106
	上水道	引込不可・引込可	静岡市上下水道お客様センター	054-251-1132
	下水道	引込不可・引込可	静岡市上下水道お客様センター	054-251-1132
	都市ガス	引込不可・引込可	静岡ガス(株)　静岡支社	054-285-2111
	※ 引込み費用等の詳細は、上記事業所にお問い合わせください。			

交通機関（直線距離）		
	バス	静鉄ジャストライン「安東２丁目北」停留所：物件の北方約 160m
	鉄道	JR 東海道本線「静岡」駅：物件の南東方約 1.9km

公共施設（直線距離）		
	役所	静岡市役所：物件の南方約 1.4km
	小学校	静岡市立安東小学校：物件の北方約 370m
	中学校	静岡市立安東中学校：物件の北方約 610m

【建　物】		
所在	静岡市葵区安東２丁目 19 番５号	
建物の状況（主である建物）	家屋番号	未登記
	構造・用途	木造瓦葺１階建
	延床面積	330.49 ㎡
	建築時期	昭和 63 年３月 15 日建築
	設計等	知事公舎として設計
建物の状況（付属建物）	家屋番号	未登記
	構造・用途	木造瓦葺１階建
	延床面積	8.0 ㎡
	建築時期	昭和 63 年３月 15 日建築
	設計等	物置として設計

建物の状況 （付属建物）	家屋番号	未登記
	構造・用途	木造ガラス葺１階建
	延床面積	17.57 ㎡
	建築時期	昭和 63 年３月 15 日建築
	設計等	カーポートとして設計
外構工事等	門、囲障、外灯、水柱栓、カーポート、雨よけ、テレビアンテナ、樹木等	

◎参考事項（物件の状況、法令上の制限等に関する特記事項）

−建物について−

・本件建物内の物品類は現況での引渡しとなります。

・本件建物の設備等については、フローリングの一部にシミや剥がれがある、外壁及び内壁の一部に亀裂やカビがある、建付が悪い扉がある等、経年劣化等により劣化している部分がありますが、現況のまま引き渡します。

・給排水設備や空調設備、ビルドインコンロ等、建物内の各種設備において、売却に当たっての動作確認は実施していません。

・本件建物についてアスベスト調査を令和６年度に実施しており、実施箇所（外壁、内壁、天井、天井裏）からアスベストは検出されませんでした。

−土地について−

・敷地内の工作物、構造物及び樹木は現況のまま引き渡します。

・敷地内の境界沿いに整備されている樹木について、一部越境が見られますが、現況のまま引き渡します。

・囲障について一部亀裂や剥がれが見られますが、現況のまま引き渡します。

・敷地南東側に設置されている安東２丁目３区自治会設置の掲示板が敷地内に越境してきている可能性がありますが、現状のまま引き渡します。

・敷地南側を架空線が通っていますが、現況のまま引き渡します。

・敷地北東角の一部を架空線が通っている可能性がありますが、現況のまま引き渡します。

・敷地内の埋設物調査は実施しておりません。給排水管が埋設されている可能性がありますが、現況のまま引き渡します。

・敷地内に中部電力パワーグリッド株式会社所有の電柱、支線が設置されていますが、現況のまま引き渡します。

・土壌汚染調査は未実施です。

・北側の舗装道路は建築基準法第 42 条第２項の道路に該当するため、約 0.6m（面積：約 23.34 ㎡）後退を要します。（静岡市葵区安東二丁目 106 部分）

※物件調書は、入札参加者が物件の概要を把握するための資料にすぎません。

必ず入札参加者において、現地及び諸規制等について確認を行ってください。

品質に係る注意事項

(1) 物件の引渡しは、物件調書に特段の記載のない限り、現状のままで行います。

(2) 埋設物調査は実施していませんので、地中埋設物が存在している可能性があります。

(3) 物件によっては、上下水道設備、ガス設備が敷設されていますが、経年劣化による影響等については確認していません。これらの設備の品質は保証できません。

(4) 物件及び隣接地の擁壁・直壁・ブロック塀等について、地上及び地中にて境界を越えている場合があります。

(5) 物件の敷地内(地中を含む)にゴミ(家電等を含む)・ガラ・砕石・切り株・雑草等が存在する場合があります。

(6) 物件調書に特段の記載のない限り、土壌汚染及び地盤に関する調査は行っていません。

その他の注意事項（契約不適合責任の免責等）

(1) 建物の建築図面等がある場合は行政経営課において閲覧できます。

(2) 物件の引渡しは、物件調書に特段の記載のない限り、現状のままで行いますので、物件調書をご参照のうえ、必ず事前に現地の確認をしてください。
なお、物件調書と現状が異なる場合には現状を優先します。

(3) 建物を解体撤去する場合の費用負担については、県は対応しません。また、解体撤去する場合は、騒音等の周辺の環境に配慮してください。

(4) 敷地の形質変更を行う際は、形質変更に伴う粉塵防止対策として、散水等に努めてください。

(5) 土地の形質変更をする場合の費用負担については、県は対応しません。また、土地の形質変更をする場合は、騒音・粉塵防止対策等の周辺の環境に配慮してください。

(6) 現在の建物を解体撤去後、新たな建物を建築するにあたっては、建築基準法、文化財保護法及び県、市町の条例のほか協定等により、指導がなされる場合や開発負担金等が必要となる場合がありますので、関係機関にご確認ください。

(7) 物件によっては、敷地内にフェンス、塀、柵等が設置されていますが、これらの工作物の補修・改修・撤去・再築造及びその費用負担については、県は対応しません。

(8) 埋設物調査は実施していませんので、地中埋設物が存在している可能性があります。地中埋設物が発見されたとしても、これらの撤去及びその費用負担については、県は対応しません。

(9) 物件によっては、埋蔵文化財包蔵地に該当するため、開発方法によっては試掘調査が必要となる場合があります。(詳しくは物件所在市町村の教育委員会にお問合わせください。)

(10) 物件によっては、上下水道設備、ガス設備が敷設されていますが、経年劣化による影響等については確認していません。これらの敷設設備の補修・移設・改修・撤去・再築造及びその費用負担等については、県は対応しません。

(11) 物件及び隣接地の擁壁・直壁・ブロック塀等について、地上及び地中にて境界を越えている場合がありますが、現状引渡しとなりますので、移設・撤去・再築造及びその費用負担等については、県は対応しません。

(12) 物件の敷地内及び敷地上空又は隣接地等に電柱(電信柱・電柱付属物・電線等を含む)・支線・ゴミ置き場・道路設置物(ガードレール等)・道路標識(カーブミラー等を含む)等がある場合の移設・撤去等の可否等の取扱いについては、設置者又は管理者等にお問い合わせください。県ではこれらについて対応しません。

(13) 物件の敷地内(地中を含む)にゴミ(家電等を含む)・ガラ・砕石・切り株等が存在する場合があ

ります（品質）が、撤去及びその費用負担等については、県は対応しません。

(14)現状での引渡しのため、現地の除草・伐採及びその費用負担等については、県は対応しません。

(15)建物のアスベストについては、他に記載のある場合を除き、専門業者による調査は実施していません。調査の費用負担とアスベストが発見された場合の除去及びその費用負担等については、県は対応しません。

案　内　図

安東小学校前
安東小学校前
静岡市安東児童館
安東二丁目北
安東二丁目北
静岡安東郵便局
対象不動産
静岡パプテスト幼稚園
静岡中央警察署安東交番
凡例
売払い物件
※およその位置を示す案内図になります。
土地の正確な形状を表すものではありません。
75m
1:1,600
出典：静岡県地理情報システム／Maptiles by MIERUNE, under CC BY. Data by OpenStreetMap contributors, under ODbL.

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成１０年９月２４日	不動産番号	０８０００００３４５８０
地図番号	余白	筆界特定	余白	
所　在	静岡市安東二丁目		余白	
	静岡市葵区安東二丁目		平成１７年４月１日変更 平成１７年７月１１日登記	

① 地　番	②地　目	③ 地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
１３２番	宅地	７４７：１０	余白
１０５番	余白	余白	①昭和４３年２月１日変更 〔昭和４３年２月１日〕
余白	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
1	所有権移転	昭和４５年１２月１４日 第５４６４１号	原因　昭和４５年１２月１２日買収 所有者　静　岡　県 順位２番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和７年５月３０日
静岡地方法務局　　登記官　　藤　沼　正　彦

＊　「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人（所有者）の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。
＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成１０年９月２４日	不動産番号	０８０００００３４５８１
地図番号	余白	筆界特定	余白	

所　在		
	静岡市安東二丁目	余白
	静岡市葵区安東二丁目	平成１７年４月１日変更 平成１７年７月１１日登記

①地番	②地目	③地積 ㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
１３３番	宅地	６８０：９９	余白
１０６番	余白	余白	①昭和４３年２月１日変更 〔昭和４３年２月１日〕
余白	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

権　利　部　（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権移転	昭和４５年１２月１４日 第５４６４１号	原因　昭和４５年１２月１２日買収 所有者　静　岡　県 順位２番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和７年５月３０日
静岡地方法務局　　登記官　　藤　沼　正　彦

＊「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人（所有者）の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。
＊ 下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ７２０２１　（　２／２　）　　１／１

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成１０年９月２４日	不動産番号	０８０００００３４５８０
地図番号	余白	筆界特定	余白	
所　在	静岡市安東二丁目		余白	
	静岡市葵区安東二丁目		平成１７年４月１日変更 平成１７年７月１１日登記	

① 地　番	②地　目	③ 地　積　㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
１３２番	宅地	７４７：１０	余白
１０５番	余白	余白	①昭和４３年２月１日変更 〔昭和４３年２月１日〕
余白	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

権　利　部　（甲　区）　（所　有　権　に　関　す　る　事　項）			
順位番号	登　記　の　目　的	受付年月日・受付番号	権　利　者　そ　の　他　の　事　項
1	所有権移転	昭和４５年１２月１４日 第５４６４１号	原因　昭和４５年１２月１２日買収 所有者　静　岡　県 順位２番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和７年５月３０日
静岡地方法務局　　登記官　　藤　沼　正　彦

＊　「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人（所有者）の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。
＊　下線のあるものは抹消事項であることを示す。

表　題　部　（土地の表示）	調製	平成１０年９月２４日	不動産番号	０８０００００３４５８１
地図番号	余白	筆界特定	余白	

所　在		
	静岡市安東二丁目	余白
	静岡市葵区安東二丁目	平成１７年４月１日変更 平成１７年７月１１日登記

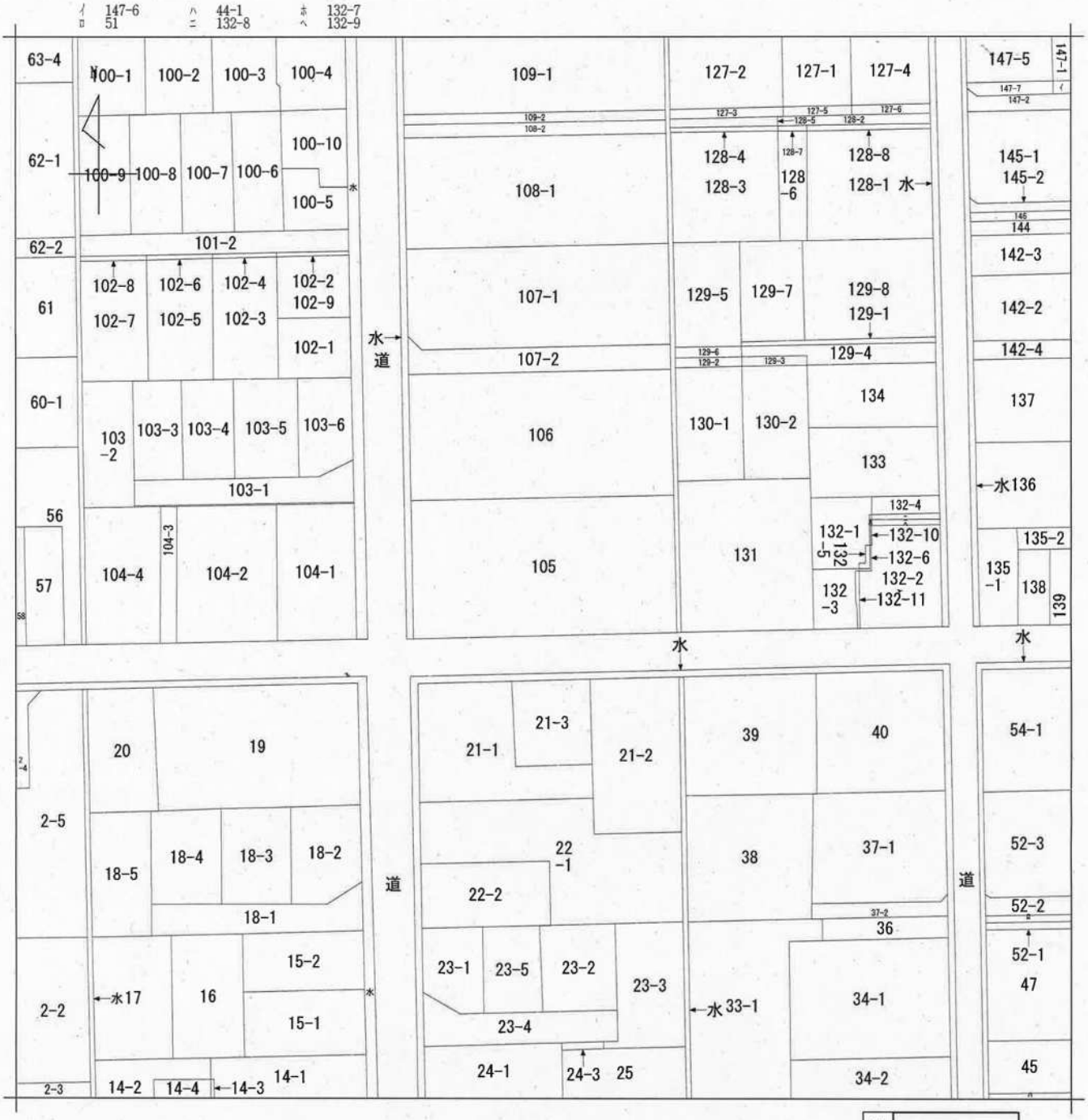
①地番	②地目	③地積 ㎡	原因及びその日付〔登記の日付〕
１３３番	宅地	６８０：９９	余白
１０６番	余白	余白	①昭和４３年２月１日変更 〔昭和４３年２月１日〕
余白	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

権　利　部　（甲区）　（所有権に関する事項）			
順位番号	登記の目的	受付年月日・受付番号	権利者その他の事項
1	所有権移転	昭和４５年１２月１４日 第５４６４１号	原因　昭和４５年１２月１２日買収 所有者　静　岡　県 順位２番の登記を移記
	余白	余白	昭和６３年法務省令第３７号附則第２条第２項の規定により移記 平成１０年９月２４日

これは登記記録に記録されている事項の全部を証明した書面である。ただし、登記記録の乙区に記録されている事項はない。

令和７年５月３０日
静岡地方法務局　　登記官　　藤　沼　正　彦

＊「登記の目的」欄に「相続人申告」と記載されている登記は、所有権の登記名義人（所有者）の相続人からの申出に基づき、登記官が職権で、申出があった相続人の住所・氏名等を付記したものであり、権利関係を公示するものではない。
＊ 下線のあるものは抹消事項であることを示す。　　整理番号　Ｄ７２０２１　（　２／２　）　　１／１



地番区域見出	安東２丁目

請求部分	所　在	静岡市葵区安東二丁目			地　番	105番		
出力縮尺	1/600	精度区分		座標系番号又は記号		分類	地図に準ずる図面	種類	旧土地台帳附属地図
作成年月日				備付年月日(原図)		補記事項		

A3→A4に縮小

請求番号：33-1
(1/1)

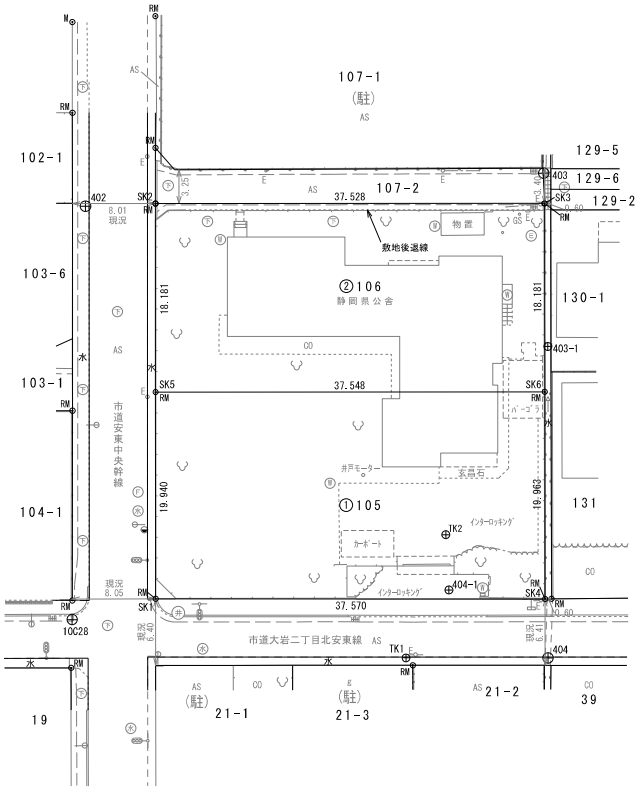
公用

用地実測図原図 S=1:500

協議地　静岡市葵区安東二丁目

官民境界座標一覧表　（世界測地系）

点名	X座標	Y座標
SK1	-112,286.304	-10,692.501
SK2	-112,248.192	-10,691.633
SK3	-112,249.053	-10,654.114
SK4	-112,287.189	-10,654.941
SK5	-112,266.369	-10,692.047
SK6	-112,267.230	-10,654.508



基準点座標一覧表　（世界測地系）

点名	X座標	Y座標
10C28	-112,288.111	-10,700.602
402	-112,248.283	-10,698.385
403	-112,246.136	-10,654.118
404	-112,292.889	-10,654.804

補助基準点座標一覧表　（世界測地系）

点名	X座標	Y座標
403-1	-112,262.851	-10,654.115
404-1	-112,286.116	-10,664.218
TK1	-112,292.563	-10,668.497
TK2	-112,280.770	-10,664.386

座標求積表

符連番号	①	地番	105	地目	現	宅地
所有者	静岡県				台	宅地
測点	Xn	Yn	Yn・(Xn+1−Xn−1)	距離		
SK1	-112,286.304	-10,692.501	-222,617.870820	19.940		
SK5	-112,266.369	-10,692.047	-203,940.104478	37.548		
SK6	-112,267.230	-10,654.508	221,826.856560	19.963		
SK4	-112,287.189	-10,654.941	203,232.344634	37.570		
		倍面積	-1,498.774104			
		面積	749.3870520			
		地積	749.38 ㎡			

符連番号	②	地番	106	地目	現	宅地
所有者	静岡県				台	宅地
測点	Xn	Yn	Yn・(Xn+1−Xn−1)	距離		
SK5	-112,266.369	-10,692.047	-203,555.190786	18.181		
SK2	-112,248.192	-10,691.633	-185,136.317028	37.528		
SK3	-112,249.053	-10,654.114	202,833.022332	18.181		
SK6	-112,267.230	-10,654.508	184,493.460528	37.548		
		倍面積	-1,365.024954			
		面積	682.5124770			
		地積	682.51 ㎡			

境界杭凡例

杭種	名称
C	コンクリート杭
RM	プレート
M	刻印
P	プラスチック杭
R	鋲
ペ	ペンキ

A3→A4に縮小

令和7年8月21日作成

工事名	令和7年度静岡県公舎敷地測量業務委託		
図名	用地実測図原図		
縮尺	1:500	全	葉中
令和7年　月　日	静岡県財務部総務課		

昭和62年度

三役公舎建築工事設計図

番号	図面名称	番号	図面名称
1	表紙　図面目録	18	居間　半入側　展開図　詳細図
2	特記仕様書（1）	19	和室10帖　和室8帖　入側　展開図　詳細図
3	特記仕様書（2）	20	家事室　厨房　食堂　展開図
4	特記仕様書（3）	21	お手伝い6帖　便所　廊下　洗面脱衣　浴室　納戸　展開図
5	仕上詳細リスト・　内外仕上表	22	浴室　洗面脱衣　便所　展開図
6	面積算出根拠・採光　換気　排煙　チェック	23	浴室　洗面脱衣・便所　詳細図
7	配置図　敷地求積図　案内図　面積表　公図写し	24	化粧室　詳細図
8	平面図	25	衣装室　化粧室　展開図　新面図　平面詳細図
9	立面図	26	廊下　内玄関　展開図　詳細図
10	基礎伏図　床伏図	27	建具番付図
11	天井伏図	28	建具表　1
12	小屋伏図　屋根伏図	29	建具表　2
13	矩計図　1	30	建具表　3
14	矩計図　2	31	外構図　1　足洗い　立水栓　平面　新面　詳細
15	玄関　ホール　便所　仲合　展開図　詳細図	32	外構図　2　門　塀　平面　新面　伏図　詳細
16	応接室　展開図	33	外構図　3　木製門ドアー詳細図
17	玄関　縁側　展開図　詳細図	34	外構図　4　倉庫　物置　平面　新面　伏図　詳細図
		35	植栽図

合計　35 枚

新潟県総務部管財課

承認	決定	審査	審査

昭和62年度　三役公舎建築工事設計図	表紙　図面目録	番号 1	敷地 / 構造 / 設備 / 内装 / 中間検査

針谷建築事務所

建築工事特記仕様書

Ⅰ 工事概要

1. 工事名称　昭和 62 年度
静岡県三役公舎 建築 工事

2. 工事場所　静岡 市 葵区 駿河町 2番地3 105 地内

3. 敷地面積　1406,526 ㎡

4. 都市計画　◎市計画区域内　・都市計画区域外
◎市街化区域　・市街化調整区域

5. 用途地域　・第1種住居専用地域　◎第2種住居専用地域　・住居地域
・近隣商業地域　・商業地域　・準工業地域　・工業地域
・工業専用地域　・指定なし

6. 防火地域　・防火地域　・準防火地域　◎指定なし

7. その他の地域・地区

8. 工事種目　(構造、規模、面積等を規則、各種で記入)

本造平屋建　住宅　330.496 ㎡
本造平屋建　物置　9.0 ㎡
本造平屋建　カーポート　17.576 ㎡
外構工事
植栽工事

9. その他
使用材料金額について　原則として県内産を使用する

Ⅱ 仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて建設大臣官房官庁営繕部整備建築工事共通仕様書(昭和60年版)による。ただし、植栽工事は静岡県緑化工事共通仕様書による。
2. 設計図の内容に明記がない場合、又は相違ある場合は、原則として監員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
1) 現場説明書及び質疑回答書　2) 特記仕様書　3) 設計図　4) 内訳明細書の記載項目
5) 共通仕様書
3. 特記仕様
1. 項目は、番号に◎印のついたものを適用する。
2. 特記事項は、◎印のついたものを適用する。
◎印のつかない場合は、当面のついたものを適用する。
◎印と・印のついた場合は、共に適用する。

章	項目	特記事項
1 一般共通事項	① 総合施工計画書	総合施工計画書(総合仮設工事を含む)を提出すること。
	② 各工事毎の施工計画書(◎印は、提出を要するもの)	・仮設工事　◎土工事　・地業工事　◎鉄筋工事　◎コンクリート工事 ・鉄骨工事　・ブロック及びALCパネル工事　・防水工事　◎石工事 ◎タイル工事　◎木工事　◎屋根及びとい工事　・金属工事　◎左官工事 ◎塗装工事　・金属製建具工事　・木製建具工事　・内装工事　・硝子工事 ・鋼管工事　・
	③ 技能士	◎1級および2級技能士またはこれと同等以上の技能者により施工させる。 ・1級技能士相当者対応
	④ 設備工事との取合い	(1) 開口補強 天井及び壁下地の無補強具等による開口部については、次のとおりとすること。 ボード、合板等の切り込み ― 天井 ― 建築工事 / その他 ― 設備工事 金属及び木下地の寸法及び開口補強 ― 建築工事 (2) 躯体スリーブ施工 コンクリート躯体のスリーブについては次のとおりとすること。 スリーブ入れ ― 設備工事 スリーブ鉄筋周囲 ― 建築工事 分電盤、便器等の箱入れ ― 設備工事 開口上の鉄筋補強 ― 建築工事
	⑤ 発生材の処理	・引渡しを要するもの(　　) 非建設資材の処分にあたっては、建設資材処分計画書を提出すること。
	⑥ 完成写真	・ネガ(カラー版のカラーとし、◎引渡し用 1冊、非常用 1部、完成検査用 1部、・設備検査用 1部、非常用 1部)を提出すること。 ネガ(◎要　非不要) ・竣工写真 1部
2 仮設工事	① 監督員事務所	・　10 ㎡程度を設ける　・設けない
	② 工事用電力	・構内既存の施設　・有償で利用出来る　非利用出来ない
	③ 工事用水	・構内既存の施設　◎有償で利用出来る　非利用出来ない
	④ 仮囲い	・有刺鉄線　・H=1.2m (柱間1.8m) 形切丸太75φ、控柱間18m、#14(@200) ・H=1.5m (　〃　)　〃　〃　〃 ・H=1.8m (　〃　)　〃　〃　〃 ・波型亜鉛鉄板H=1.8m (柱間1.8m) 柱、控柱、横路パイプ38.6φ、控柱間3.6m 亜鉛鉄板(厚)0.4mm ・合板パネル張H=2.0m (　〃　) 柱間隔3.6m、胴縁4段 ・万能鋼板張 H=3.0m (　〃　) 柱、控、横路48.6φパイプ、胴縁3段 控柱間2.7m、鋼板(厚)1.2mm ・パネル ― ― ― (　　)
3 土工事	① 掘めもどし、盛土	・A種　非B種　・持込土(　　)
	② 残土処分	近隣処置出　・構内敷均し　・構内指示の場所にたい積
	③ 騒音、振動の防止	低騒音型、低振動型建設機械　非使用しない　◎使用する
	4. 設計地耐力	(　　) t/㎡。　地耐力試験　非行わない　・行う
	5. 載荷試験	・平板載荷試験 試験深さ (m)　設計GLより 最大荷重 (t) 試験の方法及び報告書は、土質工学会「地盤の平板載荷試験方法・同解説」によるものとする。
	6. 水替え	
	7. 山止め	

章	項目	特記事項
4 地業工事	1. 既製コンクリートくい地業及び鋼ぐい地業	くいの種類：遠心力鉄筋コンクリートくい / プレストレストコンクリートくい / 高強度プレストレストコンクリートくい / 鋼管ぐい / 杭形鋼ぐい / 外殻鋼管付コンクリートくい 規格、材質など：JIS規格品 非1種 ・2種 / JIS規格品 非A種 ・B種 ・C種 / JIS規格品 種 ・認定品種 / JIS G 3101 / JIS G 3101 / 非認定品 長さ (m) 断面寸法(cm)　鋼管◎ 長期設計支持力(t/本) 継手及び継手形状：なし / ・あり 溶接式 / 非あり(JIS G 3101 SS37相当) ・なし / 非あり ・なし / 非なし ・あり 非溶接式 先端部：非閉そく形 / 非閉鎖形 / 非閉そく形 先端形状：溶ベンシル形 / 溶平たん形 ・ベンシル形 / *(JIS G 3101 SS41相当) /
	2. 場所打ちコンクリートくい地業	くいの施工法 ・打撃工法 くい打ち機　非ディーゼルハンマ　・油圧ハンマ ・振動工法 非打撃併用工法　・ プレボーリングの掘削長さ及び径 (m) くい打ち機　非ディーゼルハンマ　・ ・セメントミルク工法 試験掘削　非鉛筋の1本　・　本 施工業者　非指定なし ・指定あり (　　) 打ち止め処理　非打撃　・ 鉄筋の種類：非異形鉄筋　非A類 ・B類 / ・丸鋼　非A類 ・B類 コンクリートの種別：・A種　・B種
	3. ピット地業	鉄筋の種類：非異形鉄筋　非A類 ・B類 / ・丸鋼　非A類 ・B類 コンクリートの種別：・A種　・B種
	4. くい打ち試験	くいの本数：非最初の1本　・　本 くいの種類：非本ぐいと同じ　・ くいの寸法：長さ (m) 断面寸法 (mm)　非本ぐいと同じ　・ 支持力の算定方法：非昭和46年1月29日建設省告示第111号第3.1.(2)項による。 支持力算定式：$R_a=\frac{F}{SS+0.1}$　F=Wa・H (ドロップハンマ)　F=2Wa・H (ディーゼルくい打ち機) (油圧工法の支持力算定は、F=2Wa・Hによる。但し建設省の建設性能評価を受けたものとする。) ・くい載荷試験　非行わない　・行う ・期間 設置法の設置期間 最大荷重 (t) 試験の方法及び報告書は、土質工学会「クイの鉛直載荷試験」によるものとする。
	5. 余長くいの処理	・現場内処理(撤去し鉄筋除去) ・場外処理
	6. 施工精度	・くいの水平方向のずれはD/4 (Dはくい径) かつ100mm以内、傾斜は1/100以内とする。 (これを超えたものについては、監督員の指示により、構造体の補強など適切な処置をとること。)

(参考)
・既成率

くいの種類		材料の品質		施工による(くい軸方向の応力度減衰)	地盤状況によるくい軸方向の応力度減衰	やわらいくいの応力度	摩擦	摩擦
		コンクリート強度	コンクリートの許容応力度					
遠心力鉄筋コンクリートくい		(F20) 400%以上	75%以下			20%以下		
遠心力プレストレストコンクリートくい	A種	(F30) 300%以上	100%以下	非衝撃			(L/D−70)%	プレクシュッシュくい に限る
	B種		100%以下				(L/D−80)%	
	C種		85%以下	5%/無				
P H C くい		800%以上	105%以下				(L/D−100)%	鋼管プレストレス 40%以下

5 鉄筋工事

	種類	使用箇所	
1. 鉄筋の材質	異形 SD−30		JIS−3112の規格品
	異形 ・SD−35		〃
	鉄筋 ・SD−40		〃
2. 鉄筋のガス圧接	◎しない　・する(施工箇所 ・柱筋 ・梁筋)		
施工範囲	・径19mm以上　・径19mm以上　・径22mm以上　・径25mm以上		
3. 継手全溶	◎使用しない　・使用する　継手は優先継手とする。 ・全溶　径 開口寸法 形状		
4. はり貫通孔補強	補強形式　非RB形　・MB形　・M形 注) 記号の詳細は監督員の指示による。		

6 コンクリート工事

1. コンクリート製造	非レディーミクストコンクリート(JIS認定工場)　・工事現場練りコンクリート
2. 試験用材料の採取	普通コンクリートの試験用材料の採取は、現場責任分担については、工事現場の型枠に打込み場所で打込み直前とする。(ポンプ工法の場合は筒先)
3. 所要スランプ値	所要スランプの値 (cm) 打込み箇所：基礎、地中ばり / 柱、はり、床版、壁 所要スランプ：非15、18 / 非18、21
4. コンクリートの種別	使用箇所 (設計基準強度) 135kg/cm² / 150kg/cm² / 180kg/cm² / 210kg/cm² / 240kg/cm² 非普通 / 非軽量コンクリート ・特殊
5. 単位セメント量の最小値 (構造軽量用)	非普通コンクリートで圧送工法の場合 280kg/m³ (圧送以外は270kg/m³) 非軽量 〃 〃 320kg/m³ (〃 300kg/m³)
6. 混和材料	・AE剤　・減水剤　・AE減水剤　・流動化剤 ・防水剤　・防錆剤
7. 骨材	骨材は、「骨材のアルカリシリカ反応性試験(化学法)建設省整定案」又は、「セメント骨材のアルカリシリカ反応性試験(モルタルバー法)建設省整定案」による試験により安全と認められた骨材を使用する。但し、安全と認められないものを使用する場合はコンクリート中のアルカリ量がNa_2O換算で3.0kg/m³以下のコンクリートを使用する。
8. コンクリート中の塩化物量	塩化物量 (cl 重量)　(kg/m³) 非 0.30以下 ・ 0.60以下
9. 塩化物量の試験	測定器 (財) 国土開発技術研究センターの技術評価を受けたものとする。 試料の採取 下記により試験は同一試料における3回の測定の平均値とする。なお、設計の試験は打ち込み当時行うものとする。 非 150㎥ごと又は、その端数につき1回以上とする。 ・ 50㎥ごと又は、その端数につき1回以上とする。 (海砂など塩分を含むおそれのある骨材を用いる場合) 不合格の場合の処置 上記の結果不合格となった場合は、次の運搬車から各運搬車ごとに試験を行い、指定値以下であることを確認した後使用するものとする。ただし、この場合連続して10台の運搬車の試験が指定値以下であることが確認できれば、その後は試料の採取の項による。
10. 普通型枠	非型枠用合板 (厚12mm)　・型枠用合板 (厚15mm)
11. 打放し用型枠	・A種 厚15mm 非 B種 厚12mm ・C種 厚12mm
12. 打放し仕上面補修	・A種 (目違い、コーン処理)　非B種 (目違い、コーン処理) ・C種 (目違い　)　・C種 (目違い、コーン処理)

静岡県総務部管財課

課長	課長補佐	係	係

静岡県総務部管財課

昭和62年度　三役公舎建築 工事設計図　図番 2/

特記仕様書 (1)

7 鉄骨工事

1. 鋼材の種類
※規格品
・JIS・G3101（一般構造用圧延鋼材）
2種　SS41　・（　　）
・JIS・G3106（溶接構造用圧延鋼材）
2種　SM50　・（　　）
・JIS・G3444（一般構造用炭素鋼鋼管）
2種　STK41　・（　　）
・JIS・G3114（溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材）
2種　SMA50A・（　　）
・JIS・G3466（一般構造用角形鋼管）
2種　STKR41・（　　）
・JIS・G3352（デッキプレート）
（　　）

2. 加工工場のグレード　・全溶接（　　）級　・鉄骨製（　　）類

3. 高力ボルト　※JIS・B 1186　規格品（大臣認定品）
セットの種類　2種　F10T・（　　）

4. 特殊高力ボルト　日本鋼構造協会規格 JSS II 09（構造用トルシア型高力ボルト、六角ナット、平座金のセット）に規定されて2種に適合し建築基準法第38条の規定により建設大臣の認定を受けたものとする。

5. トルク係数値の確認　・行う
※行わない（ただし、保管中異状の生じた疑いのある場合は行う。）

6. 錆付及び検査用表面　高力ボルト錆付材検査に使用する試験は試験日の着手前に検定を受け、検定成績書を提出する。

7. アンカーボルトの保持及び埋込種別　・A種　※B種　・C種

8. 溶接完了後の検査（自主検査と別に第三者による検査）
※行わない
・行う
・浸透試験　・放射線試験　・マクロ試験　・超音波探傷試験
※検査箇所数（静岡県建築構造指針）

溶接箇所数（n）	検査箇所数
n≦30	n
30＜n≦100	30以上
100＜n＜200	0.3 n以上
200≦n	JASS6 6・5・14の保証部の受入れ検査を、14によらない。

9. スタッドの溶接用材料　・日本鋼構造協会 JSS 8-77 の規格品とする。

10. 錆止め塗装　※JIS　K5622（鉛丹）　※1種　・2種
・JIS　K5625　※1種　・2種
・刷毛塗りまたは、吹付けとし施工要領書を作成し、監督員の承認を得る。
・塗布回数　・1回塗　・2回塗

11. 耐火被覆

種別	材料及び工法		製造所
・ラス張りモルタル	15立3回による		
・耐火材吹付け	ロックウール	・乾式 ・湿式	適切の指定を受けたもの
・耐火板	石膏けい酸カルシウム		適切の指定を受けたもの

耐火材吹付け及び耐火板は、建築基準法による耐火構造の指定を受けたものとする。

8 ブロック及びALCパネル工事

1. コンクリートブロックの種類厚さ　※C種　・B種
使用箇所
・100 m（　　）
・120 m（　　）
・150 m（　　）
・190 m（　　）

2. れんがの種類　・普通れんが　※造磨2等（防水押え、見えがくれ）
・造磨1等（見えがかり）
・耐火れんが　・B種　・D種

3. 目地用材料　防火石綿入用目地材
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）
耐火れんが強入用目地材
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

4. キャスタブル耐火物　製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

5. ALCパネルの種類　面材
芯材

9 防水工事

1. アスファルト防水

防静関係仕様		共通仕様書	
工法の種類	施工箇所	工法の種類	施工箇所
S－11A		A－1	
S－11B		A－2	
S－11C		B－1	
S－12A		B－2	
S－12B		C－1	
S－13A		C－2	
S－13B		D－1	
		D－2	
		E－1	
		E－2	

アスファルト防水層仕様

S－11A（外付用）

層	品名	量/㎡
1	アスファルトプライマー	0.3ℓ
2	特殊アスファルト　4層	1.2kg
3	アスファルトルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
4	特殊アスファルト　4層	1.2kg
5	特殊ルーフィング	2mm品
6	特殊アスファルト　4層	1.2kg
7	アスファルトルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
8	アスファルト　4層	1.5kg

S－11B（外付用）

層	品名	量/㎡
1	アスファルトプライマー	0.3ℓ
2	特殊アスファルト　4層	1.2kg
3	合成繊維ルーフィング	※2mm品
4	特殊アスファルト　4層	1.2kg
5	ストレッチルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
6	特殊アスファルト　4層	1.2kg
7	ストレッチルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
8	特殊アスファルト　4層	1.8kg

S－11C（外付用）

M	品名	M/㎡
1	アスファルトプライマー	0.3ℓ
2	特殊アスファルト	1.2kg
3	合成繊維ルーフィング	2mm品
4	特殊アスファルト　4層	1.2kg
5	ストレッチルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
6	特殊アスファルト　4層	1.2kg
7	ストレッチルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
8	特殊アスファルト　4層	1.2kg
9	合成繊維ルーフィング	2mm品
10	特殊アスファルト　4層	1.8kg

S－12A（露出用）

層	品名	量/㎡
1	アスファルトプライマー	0.3ℓ
2	特殊ルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
3	特殊アスファルト　4層	1.5kg
4	特殊ルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
5	特殊アスファルト　4層	1.5kg
6	特殊ルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
7	シルバー塗材	

S－12B（露出用）

層	品名	量/㎡
1	アスファルトプライマー	0.3ℓ
2	特殊ルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
3	アスファルト　4層	1.5kg
4	合成繊維ルーフィング	2mm品
5	アスファルト　4層	1.5kg
6	ストレッチルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
7	アスファルト　4層	1.5kg
8	合成繊維特殊ルーフィング	2mm品
9	シルバー塗材	

S－13A（室内用）

No	品名	量/㎡
1	アスファルトプライマー	0.3ℓ
2	特殊アスファルト　4層	1.5kg
3	アスファルトルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
4	特殊アスファルト　4層	1.5kg
5	特殊ルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
6	特殊アスファルト　4層	1.5kg

S－13B（室内用）

No	品名	量/㎡
1	アスファルトプライマー	0.3ℓ
2	アスファルト　4層	1.5kg
3	合成繊維ルーフィング	2mm品
4	アスファルト　4層	1.5kg
5	ストレッチルーフィング　1.5kg/m² 0.9kg/m²	2mm品
6	アスファルト　4層	1.5kg

防護目地　・アスファルト目地
・既製目地
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

断熱材　材質　※ポリスチレンフォーム保温材B級3種　厚さ（m）　※25

2. 合成高分子ルーフィング防水

施工箇所	種類	厚さ(m)	製造所
			※指定なし ・指定あり（　　）

3. 塗膜防水

施工箇所	種類	製造所
		※指定なし ・指定あり（　　）

④ シーリング

材種		寸法○×○	使用箇所
・A種　シリコーン	（1成分形）		
・B種　シリコーン	（1成分形）		
・B種　シリコーン	（2成分形）		
・B種　変成シリコーン	（2成分形）		
・C種　シリコーン	（1成分形）		
・C種　シリコーン	（2成分形）		
・C種　ポリサルファイド	（2成分形）		
・C種　変成シリコーン	（2成分形）		
・D種　ウレタン	（1成分形）		
・E種　エマルション系アクリル			
・F種　油性コーキング			

10 石工事

1. 石仕上げの種類

施工箇所	石の種類	石厚等	仕上げの種類	その他
玄関内周ｴｰﾙ	三河石	12		
玄関階段ｶﾞﾗﾘｰ	白御影		本磨き	
ﾎｰﾙ腰回り	白御影		水磨き	
ﾎﾄﾙ 天井面	御影石			
玄関 外壁	ﾎﾜｲﾄﾓﾙﾀﾙ	20mm		
玄関ﾎｰﾙ腰回り	白御影		本磨き	

2. 落下防止工法

11 タイル工事

1. 陶磁器質タイル張り

タイルの種類

施工箇所	形状、寸法(m)	きじ 吸水率	きじ 素地色	うわ薬 吸水率	うわ薬 色	目地	色	備考
1. 外壁	二丁掛	・	・	・	・	・	・	
2. 〃	二丁掛	・	・	・	・	・	・	
3. ﾎﾟﾙﾁｺｰﾅｰ		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	

壁タイル張りの工法　※11.1.4表（共通仕様書）による。
タイルの製造所　※指定なし
・指定あり（　　）
硅水剤の製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

2. 陶磁器質タイル型わく先付け

タイルの種類

施工箇所	形状、寸法(m)	きじ 吸水率	きじ 素地色	うわ薬 吸水率	うわ薬 色	目地	色	備考
		・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	

タイルの製造所　項目1に同じ
種別

適所タイル	種別	タイル型わく先付け張りの仕方	例の種別
玩具タイル　50二丁タイル	タイルセメント張	6.13.2表の8種	
小口タイル　二丁掛タイル	タイルセメント張	※6.13.2表の8種	
	目地モルタル法	6.13.2表の8種	
大形タイル　さんき法		金属製タイル型わく先付け張パネル	

12 木工事

1. 木材の種別等説明
・下記以外は共通仕様書による。（12.1.1　12.1.2）
（代用樹種を使用しない説明）
[illegible]

2. ラワン材の使用　・する　⊙しない
（使用箇所）

3. 集成材　・造作用　構成材接着・　化粧板接着・　・厚さ
・構造用　樹　種

4. 防蟻処理　⊙行う　※行わない
[illegible]

13 屋根及びとい工事

1. 長尺金属板葺による鋼板ぶき

屋根ふき形状	材種	葺の厚さ(m) 一般部分	谷部分
・かわら棒ぶき（心木なし）	※着色亜鉛鉄板（片面） ・	※ 0.4	※ 0.4
・平ぶき ・ハゼ ぶき	⊙銅　板 ・ステンレス ・亜鉛鉄板	・[illegible] ・ ・	・[illegible] ・ ・
・折板ぶき	※着色亜鉛鉄板 ・ ・ステンレス	※ 0.5 ・ 0.6 ・	

2. 波形石綿スレートぶき　種類　・小波　・中波　・大波　・リブ波
施工地域　※一般地域　・強風地域　・積雪地域
積雪地域のボルト締めの工法（　　）
外壁の出隅　※隅当て使用　・（　　）

3. とい　材種　※配管用鋼管　・硬質塩化ビニル管　⊙（ [illegible] ）
掃除口　・有　⊙無
下り止め
・鋼管製といの下り止めは厚さ6％程度の金物1ケ所2箇取付ける。
・硬質塩化ビニルといの下り止めは、ジョイントごとに受け金物にて2箇（帯状の場合は1箇）接着剤を用いて固定する。

14 金属工事

1. ステンレス製の表面仕上げ　・JISG 4305による。
・No 2D　・No 2B　・No 3　・No 4　・BA　※HL　・鏡面

2. アルミニウム及びアルミニウム合金の表面処理
表面処理の試験　・A－1種　・A－2種　・B－1種　・B－2種　・C－1種
・C－2種　・D種

3. 外の亜鉛めっきの種類
表面処理の試験　・する　※しない
・使用箇所（　　）
・A種（・A種　・B種）・B種（・A種　・B種　・C種）・C種
行う試験（　　）方法（　　）

4. ラッカー　※手ラッカ3号（JIS－A－5505）　・セン1232（JIS－A－5504）

5. 既製品金物

6. 金属成形板張り

材種	・アルミニウム	・（　　）
製法	・押出し　・プレス ・ロール	（　　） （　　）
形状		
寸法(m)	板幅（　　） 板厚（　　）	板幅（　　） 板厚（　　）
表面処理	（　　）	（　　）

14 金属工事

7. 手すり及びラッチ

種類	材種	表面処理の種類
手すり		
ラッチ	・鋼	亜鉛めっきの場合 ※1.4.2.3のA類B種 ・（　　）
	・ステンレス鋼	

15 左官工事

1. 仕上塗材仕上げ

種別	項目	種類	色彩等	上塗り材	工法	備考（防水剤混合等）
・A種	弾性仕上塗材	・外装セメント系 ・内装セメント系 ・外装合成樹脂エマルション系 ・内装合成樹脂エマルション系			・吹付け ・ローラ塗り	
・B種	改良仕上塗材	・外装セメント系 ・内装セメント系 ・外装合成樹脂エマルション系 ・内装合成樹脂エマルション系	・行う ・行わない		・吹付け ・こて塗り ・吹付け ・こて塗り ・ローラ塗り	
・C種	複層仕上塗材	・セメント系 ・ポリマーセメント系 ・合成樹脂エマルション系 ・反応硬化型合成樹脂エマルションとの ・合成樹脂溶剤系 ・砂壁状	・行う ・行わない	・行う ※光沢 ・メタリック ・無塗し ・行わない	・吹付け ・こて塗り ・ローラ塗り	

2. 軽量骨材吹付け吹付け

種別	種類	仕上げ厚さ(m)	備考
・軽量骨材仕上塗材	※吹付用軽量骨材 仕上塗材 ・（　　）	※5 ・（　　）	

3. ロックウール吹付け

種別	色彩	厚さ(m)	備考
・一般用 ・（　　）	・着色 ・混色	・10　・15 ・20　・（　）	

4. 防火材料など　※屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるもの。
・次の指示を除き防火材料又は建築基準法に基づく基材同等の認定表示のあるものとする。
（　　）

5. モルタル塗り　防水剤の混合用　※指定なし
・指定あり（　　）

6. 防水モルタル塗り　防水剤の製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

16 建具工事

アルミ製	① 種別	・A種　⊙B種　・BL
	② 強さによる種類	・200　※240　・280
	③ 気密性による種類	・20　※ 8　・ 2
	④ 水密性による種類	・25　※35　・50
	⑤ 表面処理	14.2.1表による ※B－1種 ・B－2種
	⑥ 取付け工法	※現場後付け　・現場先付け
	⑦ アンカーの間隔	※400　・500
網戸	① 形式	・固定式　※可動式
	② 材種	※ステンレス鋼（SUS 304）　⊙グラスファイバー　・合成樹脂製
	③ 網目	※16メッシュ
鋼製	① 材種	※亜鉛めっき鋼板（　　）ボンデ鋼板
	② 取付け工法	※現場後付け　・現場先付け
	③ アンカーの間隔	・400 m　※300 m　・600 m
	④ 自動扉	駆動方　⊙電気式　・電動油圧式 検出装置　※マットスイッチ式　・電波式　・熱線式 安全光線の使用　・設ける　⊙設けない 製造所　※指定なし ・指定あり（　　）
	⑤ 重量シャッタ	機能による種類　・防火シャッタ　・防煙シャッタ シャッターケース（防火、防煙以外の場合）　・設ける　・設けない 開閉機能による分類　※上部電動式（予熱使用）・上部手動式　・下部手動式 製造所　※指定なし ・指定あり（　　）
	⑥ 軽量シャッタ	開閉機能による分類　・上部電動式（手動使用）　※手動式 製造所　※指定なし ・指定あり
スレンレス製	1. 鋼板の曲げ加工	※普通曲げ　・角出し曲げ

静岡県総務部管財課			
課長	補佐	課	係

作図

静岡県総務部管財課

昭和62年度　三俣公舎改修工事設計図　図番 3/

日付　署名　特記仕様書（2）

18 建具工事

木製

1. 工法
・共通仕様書による（16. 9. 1）
・学校関係図による

2. 見込
○出入口・35㎜（　）※40㎜（　）・45㎜（　）
・窓　※30㎜（　）・33㎜（　）

3. 代用設備を使用しない箇所
・

建具金物

1. 錠前
・表知、ゴール、ベスト、（　　）、同等品
※ステンレス製・黄銅
マスターキーシステムと　○する　※しない　○グランドマスターキーシステム

2. ドアチェック
※アルミニウム合金　※ストップ付き　・ストップなし

3. ピボットヒンジ
NHN、ニューステー、ラッセル同等品
※ステンレス製　・黄銅合金

4. オートヒンジ
フロアヒンジ
※ステンレス製　※ストップ付き　・ストップなし
ニューステー同等品

5. ラバトリー金物
※ステンレス製　・クロームメッキ黄銅
ベスト、ペンギン同等品

6. その他金物
※ステンレス製　・黄銅合金　・真鍮

ガラス工事

1. ガラス
板板ガラス　※フロート方式の製品
網入りガラス　※網入り型板ガラス　・網入り磨板ガラス
・線入り型板ガラス　・線入り磨板ガラス
合わせガラス　・フロート、磨板合わせガラス
強化ガラス　・フロート、磨板強化ガラス
熱線吸収板ガラス　・熱線吸収磨板ガラス　・熱線吸収線入り板ガラス

2. ガラス留め材

建具の種類	材	種
アルミニウム製	・シーリング材C種 ※ガスケット	・パテ（・1種　※2種）
鋼　製	※シーリング材C種	・パテ（※1種　・2種）
ステンレス製	※シーリング材C種	・パテ（※1種　・2種）
木　製	※パテ（水製用）	

17 塗装工事

1. さび止め塗料
鉄面さび止め
・一般用さび止め（JIS K 5621・1種・2種）　・A種・B種　箇所（　）
・鉛丹さび止め（JIS K 5622・1種・2種）　・A種・B種　箇所（　）
・亜鉛化鉛さび止め（JIS K 5623・1種・2種）　・A種・B種　箇所（　）
・塩基性クロム酸鉛（JIS K 5624・1種・2種）　・A種・B種　箇所（　）
・シアナミド鉛さび止め（JIS K 5625・1種・2種）　・A種・B種　箇所（　）
・鉛丹ジンククロメート（JIS K 5628・1種・2種）　・A種・B種　箇所（　）
亜鉛めっき面さび止め
・ジンククロメートさび止め（JIS K 5627　A）　・A種・B種　箇所（　）
・鉛酸カルシウムさび止め（JIS K 5629・1種※2種）・A種・B種　箇所（　）

2. 油性調合ペイント塗り（OP）
・鉄面　※（2回）
・亜鉛めっき面　※（2回）
・木部　※（3回）

3. 合成樹脂調合ペイント塗り（SOP）
・鉄面（・A種（3回）※B種（2回））・屋外（JIS・1種※2種）・屋内（JIS※1種・2種）
・亜鉛めっき面　※（2回）　・屋外（JIS・1種※2種）・屋内（JIS※1種・2種）
・木部　※（3回）

4. 合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）
・　（・A種（3回）　※B種（2回））

5. 合成樹脂エマルション模様塗料塗り
・モルタル、ボード面等　（・A種（3回）　※B種（2回））
・鉄部、亜鉛めっき面　（・A種（4回）　※B種（3回））

6. 多彩模様塗料塗り（MP）
・モルタル、ボード面、木部等　※（2回）
・鉄部　※A種（2回）
・亜鉛めっき面　※B種（2回）
・（・A種（3回）　※B種（2回））

7. 塩化ビニル樹脂エナメル塗り（VE）
8. アクリル樹脂エナメル塗り（AE）
・　（・A種（3回）　※B種（2回））

9. フタル酸樹脂エナメル塗り（FE）
・木部　（・A種（5回）　※B種（3回））
・鉄面、亜鉛めっき面　（・A種（4回）　※B種（2回））

10. 塩化ゴム系エナメル塗り
・鉄部　※（4回）
・亜鉛めっき面　※（3回）
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

ショッププライマーの製造所
※指定なし
・指定あり（　　）

11. クリヤラッカ塗り（LC）
・　（・A種（5回）　※B種（3回））

12. 油性ステイン塗り（OS）
・　※（2回）

13. ウレタンワニス塗り（UC）
・床用板　※A種（ポリウレタン3回）
○一般　○A種（3回）　※B種（2回）

種別	仕上材塗り
・A種	・行う　・行わない
・B種	
・C種	・行う ・行わない

・アクリル樹脂エナメル3回塗り
・紫外線硬化型樹脂エマルションペイント2回塗り

製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

施工業者　「全国マスチック事業協同組合連合会の表彰員で同組合会が実施する検定試験に合格した業者」

13. 耐火材料
※屋内の壁及び天井の塗装仕上げは、防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。

18 内装工事

1. ビニル床シート張り

材種	材質	色柄	厚さ(㎜)	製造所
ビニル床シート	※一般用 ・	※無地 ・	・2.0 ※2.5	※指定なし ・指定あり（　　）

工法　・完全付け　施工箇所
・無接着　施工箇所

2. ビニル床タイル及びゴム床タイル張り

材種	種	製	厚さ（㎜）
・ビニル床タイル	・石綿を含まないもの ・石綿を含むもの ・ホモジェネスビニル床タイル	・半硬質 ・軟質	※2.0 ・3.0 ・

製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

材種	色柄	厚さ(㎜)	製造所
・ゴム床タイル			※指定なし・指定あり（　　）

3. ビニル幅木
材種　※軟質・硬質
厚さ(㎜)　※2　・　高さ(㎝)　・60　※75　・100

4. 弾性ウレタン塗膜塗り床材

仕上げの材種	厚さ(㎜)	製造所
・平滑仕上げ	※2	※指定なし・指定あり（　　）
・防滑仕上げ	・	※指定なし
・つや消し仕上げ	・	・指定あり（　　）

5. エポキシ樹脂塗り床材

仕上げの種類	厚さ(㎜)	製造所
・流し延べ工法	※18.2.3.MHによる	※指定なし
※研磨仕上げ	・	・指定あり（　　）
・		

6. 既製間仕切

組立て形式	耐火、防火性能	製造所
・パネル式	・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・	※指定なし ・指定あり（　　）
・スタッド式	・不燃 ・準不燃 ・難燃 ・	※指定なし ・指定あり（　　）

7. 石こうボード及びその他ボード張り

材種	種別		厚さ（㎜）
石こうボード		壁	○9（※不燃） ※12（※不燃） ・15（※不燃）
		天井	※9（※不燃） ・12（※不燃） ・
化粧石こうボード	壁	・トラバーチン模様	※9（※不燃） ・9（※不燃）
	天井	・木目模様	・9（準不燃） ・
	特殊		・9（※不燃） ・12（※不燃） ・15（※不燃）
無機質繊維強化石こうボード			・12　・15　・18 ・21　・25
石綿セメント板	・フレキシブル板		・4　・5　・6
	・平板		・5　・6　・8
	・波型板		・4　・5
石綿セメントパーライト板	・0.5石綿セメントパーライト板 ・0.5石綿セメントパーライト板		・10　・12 ・
石綿セメントけい酸カルシウム板			・6　・8 ・10　・12
木毛セメント板	・硬質木毛セメント板 ・軟質木毛セメント板		・20　・25 ・30　・
パーティクルボード	表面研磨 無数	曲げ強さ	・15　・17 ・

8. 吸音板張り

材種	厚さ(㎜)	製造所
吸音穴あき石綿セメント板（カルシウム板（グラスファイバークロス貼付5））	・6 ・	※指定なし ・指定あり（　　）
ロックウール化粧吸音板	普通 ・9　・12	JIS A 6307の規格品
	表面 模様	

9. 天然木化粧混合フローリング張り
砂材　ユ
種別　○A種　※B種

材種等級	厚	幅	長	平均板長さ	使用接着工法
ナラ　1、2等混合	※15・18	・64～75	・	825以上（500）	
（特用級）　・	・15・※18	・64～75	・	・	接着剤、釘併用

特殊貼りの場合、パーティクルボード（15㎜）等の捨板張りを行う。

10. フローリングブロック張り

材種	板厚	寸法	使用接着、工法等	備考
	※15・18	※303　角		

・サンダー掛
フロアーオイル塗りの場合　※●80　・●80
樹脂塗装の場合　・●80　※●100　・●120

11. 壁紙張り

施工箇所	品質	防火性能の種類
表面仕上げ	ビニル	・1類　・2類　※3類
表面仕上げ下地材料	ペーパーはくり	・1類　※2類　・3類
下地材料		・1類　・2類　・

製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

22 雑工事

12. 畳

種別		
防虫加工畳	○A種 ※取付ける	※B種　・C種 ・取付けない

13. じゅうたん敷き

種類	材料	敷き込み	色柄	帯電防止
○クイルトシミーベット	○A種 ・B種 ※C種	グラッパー工法	※無地 ○色柄	○行う ・行わない
・タフテッドカーペット	・A種 ・B種	※全面接着工法（下敷き材なし） ・グラッパー工法	※無地 ・色柄	・行う ・行わない

品質検査　○行う　・行わない
下敷き材　※波型ジュフェルト厚さ8㎜2層相当のもの
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

種類	厚さ(㎜)	ラバーの有無
・ボードクッションカーペット		・あり　・なし

品質検査　・行う　・行わない
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

15. 新聞材

種類	材種	厚さ(㎜)
※ポリスチレンフォーム保温材	※ビーズ法保温板2種・	※25　・
・硬質ウレタンフォーム保温材	・現場吹付け硬質ウレタンフォーム保温材（現場発泡）	・25　・

現場吹付け硬質ウレタンフォーム保温材　※硬質ウレタンフォーム保温材（現場発泡）

16. 吸音材

材種	品質・厚さ	厚さ(㎜)
・ロックウール吸音材	ロックウール吸音ボード1号	・25　・
・グラスウール吸音材	吸音用グラスウールボード2号32K	・25　・

17. 特殊内装工事

種別	施工箇所	施工業者
		※指定なし ・指定あり（　　）

18. 合板、ボード類のビスの使い分け

使用材料	使用ねじ	使用区分
・石綿スレート張（フレキシブルボード大平板）	ステンレス（SUS304）	便所、特殊設置（浴室）の天井、水路等部分（内外）
・せっこうボード類（プラスターボード）	ステンレス（SUS410）	天井の張類、仕上部分（水性ペンキ塗）
・せっこうボード類	黒鉛めっきタイプ	天井の張類（仕上の下地）
・化粧ボード類	黒鉛めっきのカラー（白）仕上ねじ又はスチールビス	天井の張類
・普通合板	ステンレス又は、特殊鋼（SUS410）	特殊鋼は、二酸化の合成ゴムの場合

使用材料	使用くぎ	使用区分
・普通合板・硬質繊維板パーティクルボード	黒鉛くぎ ステンレスくぎ（SUS 305）	
・せっこうボード	ステンレスくぎ（SUS 305）	
・石綿スレート	黒鉛くぎ ステンレスくぎ（SUS 304）	
・特殊加工化粧合板 無機合板	同色系カラーくぎ 黒鉛くぎ ステンレスくぎ（SUS 304）	

19. コーナービード
材種　※ステンレス製　・アルミニウム合金製

20. 腰部張り止め
材種　・ステンレス（SUS 304）ビルトイン入り
幅(㎜)　・約35
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

21. 巾木
種類　※無垢巾木　・木製巾木　・ゼうろう巾木
色彩　・緑　・黒　・白
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

22. カーテン

まれ場の品質など	ひだの種類	形式	引分け装置
	・A種・B種・C種	・片引き・引分け	・あり・なし
	・A種・B種・C種	・片引き・引分け	・あり・なし
	・A種・B種・C種	・片引き・引分け	・あり・なし

製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

23. カーテンレール
材種　・ステンレス　・アルミニウム合金
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

24. アルミニウム製ケーキングボックス
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

25. アコーディオンドア
表面材　※ビニルレザー張り（防炎加工）
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

26. ブラインド

形式	※横形ブラインド	・縦形ブラインド
スラット	※アルミニウム合金	・アルミニウム合金　・クロス
開閉方式	※ギヤー式	・コード式
スラットの成形幅(㎜)	※25　・	・30　・100
羽根テープの材種	※ポリエステル織維　・	

製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

27. 点検口

施工箇所	材種	寸法	製造所
天井	※アルミニウム ○ステンレス	○450×450 ・600×600	※指定なし ・指定あり（　　）
壁	※アルミニウム ・	○450×450 ・600×600	※指定なし ・指定あり（　　）

28. 既製トラフ
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

29. 鋼製浴室なべたな
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

30. カウンター
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

31. 既製家具
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

32. くつふるイット
材種　・塩化ビニル又はゴム　（受わく　ステンレス　SUS 304）
・硬質アルミニウム合金（受わく　硬質アルミニウム合金）
・ステンレス（SUS 304）（受わく　ステンレス　SUS 304）

33. ステンレス流し台
※浴室住宅部品（公共住宅形）ステンレストップ付き　○シングルボウル
34. コンロ台
※浴室住宅部品（公共住宅形）　○シングル　・ダブル
35. つり戸だな
※浴室住宅部品（公共住宅形）　○シングルボウル
36. 水切りだな
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

37. 鏡板
形式　・ナーバー式　・同一断面式
材種　・アルミニウム合金
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

38. 鏡ガラス受金具
材種　※ステンレス（SUS 304）
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

39. アルミニウム製窓本
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

40. 設上点検口
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

41. 室名表示
・実名板　・ピクトグラフ　・とびら表示
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

42. 建築用成形ライニング材
材種
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）

43. 敷地境界石壁
※A種　・B種

44. 建築陶器合用鉄筋ブロック
材種　・塩化ビニル系
・レジンコンクリート系　厚さ(㎜)　※30

45. 天井見切縁
材種　※アルミニウム合金製

19 鋼工事

1. しゅ断層及び液状化防止材料
しゅ断層　※特殊又は海砂
液状化防止材

2. 盛土材料
路床の盛土材料

3. 路床土の支持力比（CBR）試験
※行わない
・行う　（※良したと　・乱さない土）

4. 路面材料
・アスファルトコンクリートC－40又はクラッシャランスタグCS－40
※粒度調整石（M－30）

5. 路盤の締固め度の検査
・行わない　・行う

6. アスファルト舗装
舗装アスファルト混合物の種類

・表層	・密粒度アスファルトコンクリート（13） ※粗粒度アスファルトコンクリート（13） ・
・基層	粗粒度アスファルトコンクリート（20）

7. コンクリート舗装
※普通セマント　・使用する　・使用しない
※混合剤　・あり（　　）　・なし
カラー舗装の種類　※顔料を使用した着色アスファルト混合物
・
コンクリート平板の大きさ　※呼び名300
インターロッキングブロックの種類　・厚さ(㎜)　※80　・80
製造所　※指定なし
・指定あり（　　）
コンクリート平板のクッション材　※砂　・小石詰りモルタル
インターロッキングブロックのクッション材　※砂　・小石詰りモルタル

その他

共通仕様書適用事項

15章　左官工事
下地清掃（15.6.3）
15.6.3(a)1)コンクリート面の場合で使用下の場合は、15.6.3(a)1)は明記として適用しない。

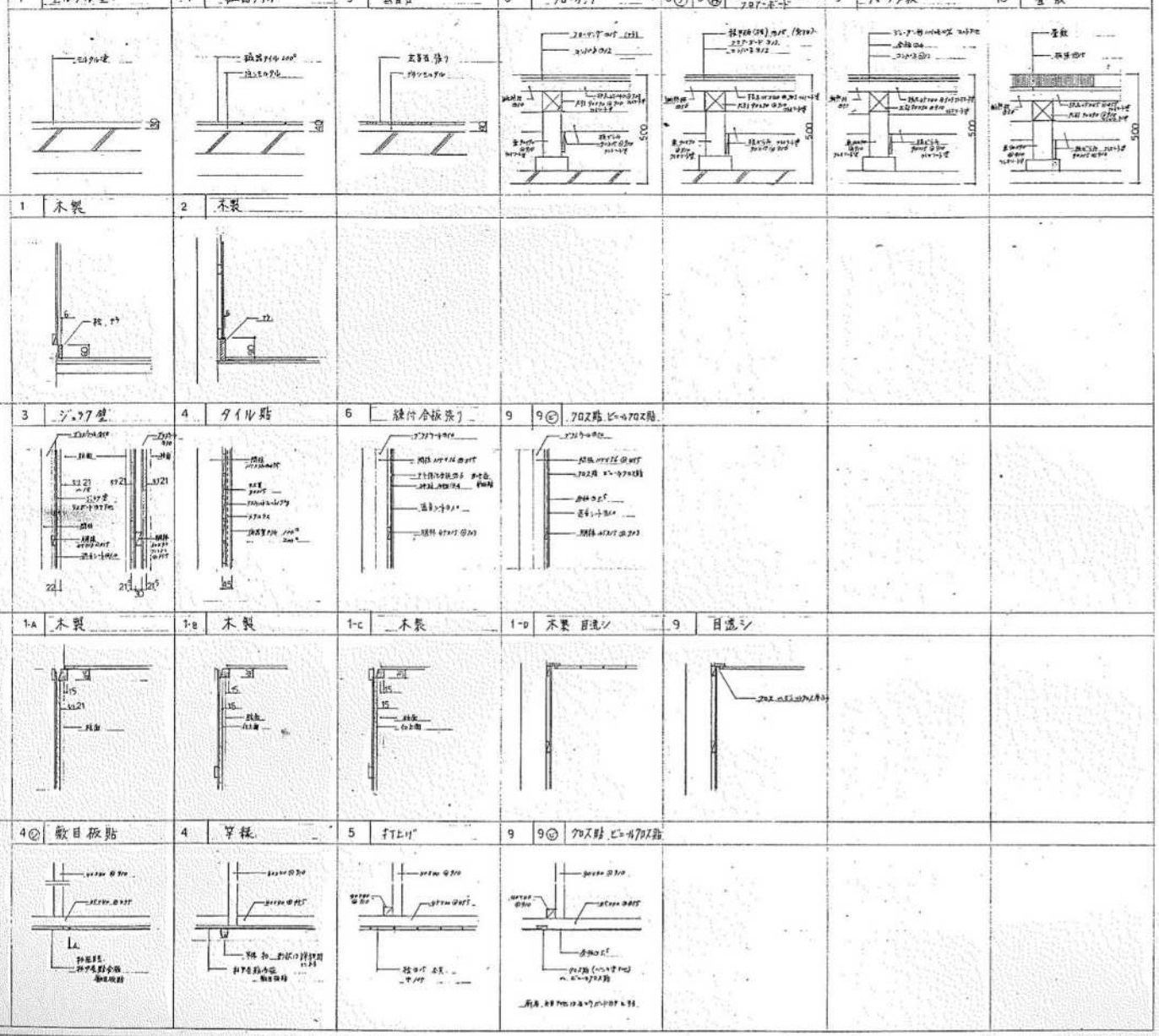
17章　塗装工事
コンクリート、ALCパネル及び石綿セメント板面の素地ごしらえ（17.2.1）
石綿セメント板面のあなごしらえは17.2.1表を適用せず、17.2.6表を適用し、塩焼古布のうち、合成樹脂エマルションペイント（一般形）を（耐水形）とする。
マスチック塗付塗り（17.16.2）
17.16.1表の工程1）素地ごしらえで、下地がモルタル面の場合、17.2.4表の工程3）吸込をとめは適用しない。
17.16.1表の工程3）塗付塗りで、C種合成樹脂の場合の塗付量は、2.20（kg/㎡）とする。

所体工事
既存躯体 ＋ 既存鉄骨構造物

課長	係長	主任

仕上詳細リスト S 1:10

床	1 モルタル塗	4 磁器タイル	5 玉石石	6 フローリング	6⑦ 6-㊇ 縁甲板張り フローボード	9 ジュータン敷	10 畳敷
巾木	1 木製	2 木製					
壁	3 ジュラク壁	4 タイル貼	6 縁付合板張り	9 9ⓔ クロス貼 ビニルクロス貼			
回縁	1-A 木製	1-B 木製	1-C 木製	1-D 木製 目透シ	9 目透シ		
天井	4ⓒ 敷目板貼	4 竿縁	5 打上げ	9 9ⓒ クロス貼 ビニルクロス貼			



	敷居	柱	鴨居	長押	回縁
玄関 内玄関 廊下	柱(無節)	柱(無節)	杉(無節)		杉(無節)
居間	柱(無節)	杉(無節)	杉(無節)		杉(無節)
縁側	柱(無節)	杉(無節)	杉(無節)		杉(無節)
居間	柱(無節)	杉(無節)	杉(無節)		杉(無節)
手入側	柱(無節)	杉(無節)	杉(無節)		杉(無節)
和室 ハ間 ヨ間	柱(無節)	杉(無節)	杉(無節)	杉(無節)	杉(無節)
入側	柱(無節)	杉(無節)	杉(無節)		杉(無節)
和室 ハ間	柱 上小節	柱 上小節	柱 上小節		柱 上小節

※ 本仕様原則として畳の高さ3尺

付柱 1/100×100 柱(無節)

巾木 柱(無節)

縮尺不明

外部 仕上表

屋根	日本瓦葺 野地 ヒノキ板 ルーフ ヒノキ板 鋼板一文字葺 ロの3 (五月堂州高町A邸)
土台 胴縁	鋼板一文字葺 ロの3
軒裏	化粧野地板 ヒノキ形 形化粧板 形ヤ目敷目板貼
軒柱	鋼板ロの4 加工 月桂 受共
窓柱	鋼板ロの4 加工 月桂 受共
玉関ポーチ	玉石石張り
外壁	ラスモルタル リシン かき落し
巾木	杉板張り モルタル塗 刷毛引

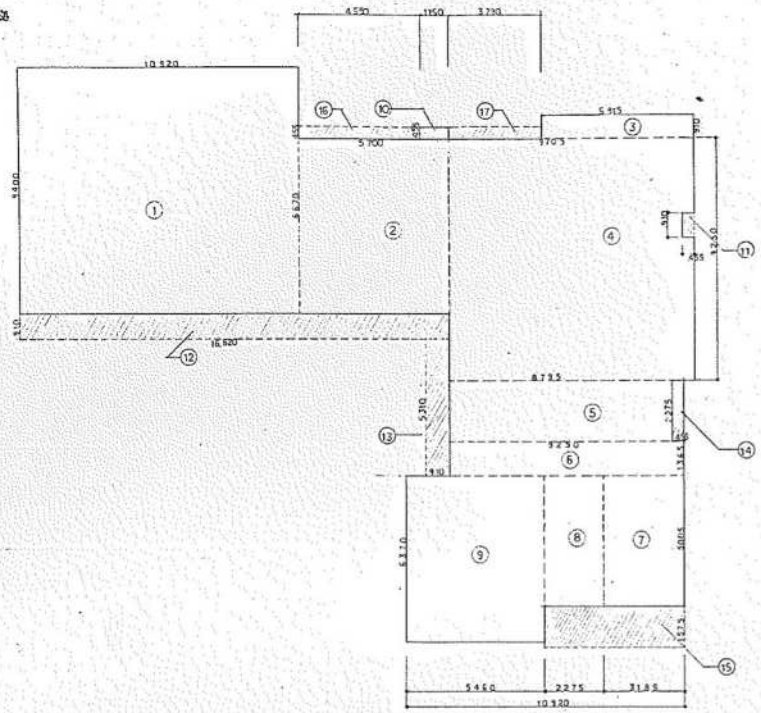
内部 仕上表

	床		巾木		壁		窓枠		天井		建具
玄関	5ⓒ	玉石石張り	4	御影石 本磨(厚20~25)	3	ジュラク	1-B	木製	4ⓒ	敷目板貼	下足箱
内玄関	5ⓒ	玉石石	4	御影石 本磨(厚20~25)		壁紙貼 ボード ジュラク	1-B	木製	4ⓒ	敷目板貼	
ホール	6㊇	縁甲板(ヒノキ)	1	木製(同)	3	ジュラク	1-B	木製	4ⓒ	敷目板貼	
応接室	9	ジュータン敷	2	木製(ヒノキ)	6	化粧合板張り	9	目透シ	9	クロス貼	中門開
客間 1間	10	畳		畳寄セ(杉)	3	ジュラク		竿縁(ヒノキ)	4	竿縁(ヒノキ)	押入
縁側	6	縁甲板		縁側板(杉)	3	ジュラク	1B	木製	4	竿縁	
内玄関	5ⓒ	玉石石	4	御影石 本磨	3	ジュラク	1-C	木製	4ⓒ	敷目板貼	下足箱
廊下	6㊇	縁甲板	1	木製(同)	3	ジュラク	1-C	木製	4ⓒ	敷目板貼	洗面所 ドア
洗面所 1	6㊇	縁甲板	1	木製(同)	9ⓒ	ビニルクロス貼	1-B	木製	4ⓒ	敷目板貼	ドレッシングテーブル 鏡
おもてなし室 和室	10	畳		畳寄セ	9ⓒ	ビニルクロス貼	1-B	木製	4ⓒ	敷目板貼	押入 アルミ窓枠
おもてなし 洗面所	6	フローリング	1	木製(同)	9ⓒ	ビニルクロス貼	9	目透シ	9ⓒ	ビニルクロス貼	洗面化粧台
おもてなし 浴室		タイル(内部) 白磁タイル		—	4	内部タイル 白磁タイル		アルミ ウッドブロック		ハンマード	浴槽
おもてなし 便所 2	6	フローリング	1	木製(同)	9ⓒ	ビニルクロス貼	9	目透シ	9ⓒ	ビニルクロス貼	
台所 1	6ⓒ	フロアーボード	1	木製(同)		合板ラミ	1-C	木製		合板ラミ	棚
台所 2	6ⓒ	フロアーボード	1	木製(同)		合板ラミ	1-C	木製		合板ラミ	棚
配膳室	6	フローリング	1	木製(同)ベニ	9ⓒ	ビニルクロス貼	9	目透シ	9ⓒ	ビニルクロス貼	中棚 ガラス戸
廊下	6	フローリング	1	木製(同)ベニ	9ⓒ	ビニルクロス貼 (ヒバ ビニルクロス)	9	目透シ	9ⓒ	ビニルクロス貼	ふすま ドア
食堂	6	フローリング	1	木製 ベニ (ヒバ)	9	クロス貼	9	目透シ	9	クロス貼	中棚
客間	10	畳		畳寄セ	3	ジュラク	1-A	木製	4	竿縁(ヒバ)	行灯 欄間 ふすま 襖
手入側	10	畳		畳寄セ	3	ジュラク	1-B	木製	4	竿縁(ヒバ)	
和室 ハ間	10	畳		畳寄セ	3	ジュラク	1-A	木製	4	竿縁(ヒバ)	押入
和室 ヨ間	10	畳		畳寄セ	3	ジュラク	1-A	木製	4	竿縁(ヒバ)	押入 床の間
入側	10	畳		畳寄セ	3	ジュラク	1-B	木製	4	竿縁(ヒバ)	
玄関	6	縁甲板	1	木製(同)	9ⓒ	ビニルクロス貼	9	目透シ	9	ビニルクロス貼	中棚
化粧室	6	縁甲板	1	木製(同)	9ⓒ	ビニルクロス貼	9	目透シ	9	ビニルクロス貼	洗面化粧台
浴室	4	タイル貼		—		内部タイル	1-D	木製 目透シ	5	打上げ(杉)	浴槽
便所 洗面	6	縁甲板	1	木製(同)	9ⓒ	ビニルクロス貼	1-D	木製 目透シ	5	打上げ(杉)	洗面化粧台
便所 3	6	縁甲板	1	木製(同)	9ⓒ	ビニルクロス貼	1-D	木製 目透シ	5	打上げ(杉)	ドレッシングテーブル

鈴寄椅 和室の 外壁 は 縁甲板

押入 床 部屋の畳と同じ 側板 小節ヒノキ 壁 合板ロの4 天井 目透合板

昭和62年度 三校公舎 建築工事設計図	仕上詳細リスト 内部 外部 仕上表	番号 5			
	針谷建築事務所				



1	10.92 × 9.4	= 102.648
2	5.7 × 6.67	= 38.019
3	5.915 × 0.91	= 5.383
4	(9.705 × 9.25) − (0.91 × 0.455)	= 89.357
5	8.195 × 2.255	= 18.483
6	3.23 × 1.965	= 12.626
7	6.005 × 1.185	= 7.116
8	6.005 × 2.275	= 13.661
9	6.37 × 5.46	= 34.780
10	1.15 × 0.455	= 0.523
計		= 330.496

11	0.91 × 0.455	= 0.414
12	16.62 × 0.91	= 15.124
13	5.31 × 0.91	= 4.832
14	3.275 × 0.455	= 1.489
15	1.575 × 5.46	= 8.600
16	4.55 × 0.455	= 2.070
17	3.79 × 0.455	= 1.724
計		= 33.799

33.799 + 330.496 = 364.295 ㎡

床面積 330.496 ㎡ (99.98 坪)　　延床面積 364.295 ㎡

探光 換気 排煙チェック

	床面積 (A) ㎡	A/7	必要開口面積 ㎡	実開口面積 ㎡	A/20	有効開口面積 ㎡
玄関 1階	4.55 × 3.64 = 16.562	A/7 = 2.366	7/10 W×K5 7/10 × 1.82 × 3.525 = 4.491 ∴ ok			
和室 8階	3.64 × 3.64 = 13.250	A/7 = 1.893	7/10 × 1.82 × 3.525 = 4.491 ∴ ok	−46.375 × 1/20 = 2.319	3.525 × 2 × 2 × 0.5 = 7.03 ∴ ok	−46.375 × 1/20 = 0.340	0.275 × 3.525 × 0.5 × 2 = 0.362 ∴ ok
〃 4階	1.55 × 1.82 = 2.821 2.28 × 1.37 = 3.122 12.153						
居間 12階	3.64 × 5.46 = 19.874	A/7 = 2.843	7/10 × 3.345 × 1.82 = 6.810 ∴ ok	−26.624 × 1/20 = 1.331	2 × 3.345 × 0.5 = 3.345 ∴ ok	−26.624 × 1/20 = 0.532	0.25 × 3.345 × 0.5 = 0.838 ∴ ok
〃 入口 4階	1.06 × 6.37 = 6.752						
寝室 1階	3.64 × 4.55 = 16.107	A/7 = 2.301	7/10 × 3.525 × 1.82 = 4.491 ∴ ok	−22.7 × 1/20 = 1.135	2 × 3.525 × 0.5 = 3.525 ∴ ok	−22.7 × 1/20 = 0.454	0.255 × 3.525 × 0.5 = 0.456 ∴ ok
仏間	1.06 × 6.22 = 6.593						
台所	5.46 × 6.37 = 34.780	A/7 = 4.969	3.525 × 2.1 = 7.403 ∴ ok	34.78 × 1/20 = 1.739	3.525 × 2.1 = 7.403 ∴ ok	34.78 × 1/20 = 0.696	0.368 × 3.525 = 1.297 ∴ ok
食堂	3.79 × 3.79 = 14.364	A/7 = 2.052	1.8 × 1.3 = 2.340 ∴ ok	14.364 × 1/20 = 0.718	1.8 × 1.3 = 2.340 ∴ ok	14.364 × 1/20 = 0.287	1.8 × 0.2 = 0.360 ∴ ok
浴室	3.64 × 4.55 = 16.562	A/7 = 2.366	1.9 × 1.28 = 2.432 ∴ ok	16.562 × 1/20 = 0.828	1.9 × 1.28 × 0.5 = 1.216 ∴ ok	16.562 × 1/20 = 0.331	0.28 × 1.9 × 0.5 = 0.741 ∴ ok
玄関室	3.79 × 2.275 = 8.622	A/7 = 1.23	(1.6 × 0.71) + (0.74 × 0.533) = 1.530 ∴ ok	8.622 × 1/20 = 0.431	1.6 × 0.71 × 0.5 = 0.568 ok	8.622 × 1/20 = 0.172	0.22 × 1.6 × 0.5 = 0.176 ∴ ok
エントランス室	3.64 × 2.73 = 9.937	A/7 = 1.420	1.6 × 1.134 = 1.814 ∴ ok	9.937 × 1/20 = 0.497	1.6 × 1.134 × 0.5 = 0.907 ok	9.937 × 1/20 = 0.199	1.6 × 0.27 × 0.5 = 0.216 ∴ ok

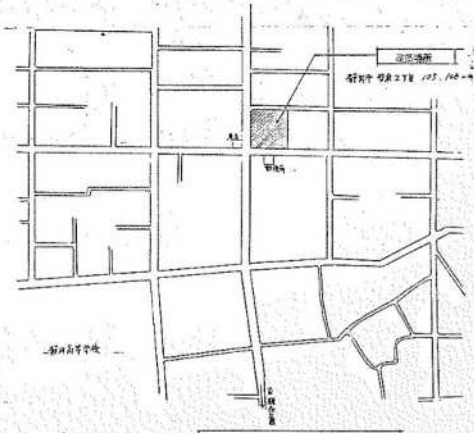
敷地面積	1406.526 ㎡

	木造平屋建		カーポート
建築面積	364.295 ㎡	8 〃	17.576 ㎡
合計	389.871 ㎡		
床面積	330.496 ㎡	8 〃	17.576 ㎡
合計	356.072 ㎡		

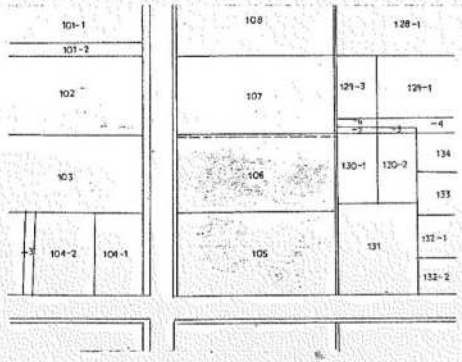
縮尺不明

昭和62年度 三段公舎 建築工事設計図	探光 換気 排煙チェック 面積求積図	縮尺	6

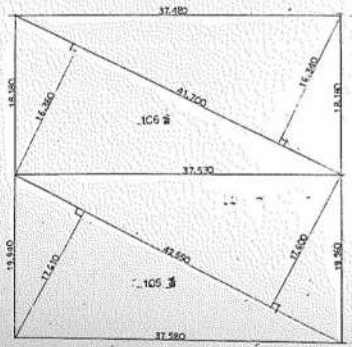
針谷建築事務所



案内図 S1:2500



公園等 S1:600



敷地求積図 S1:300

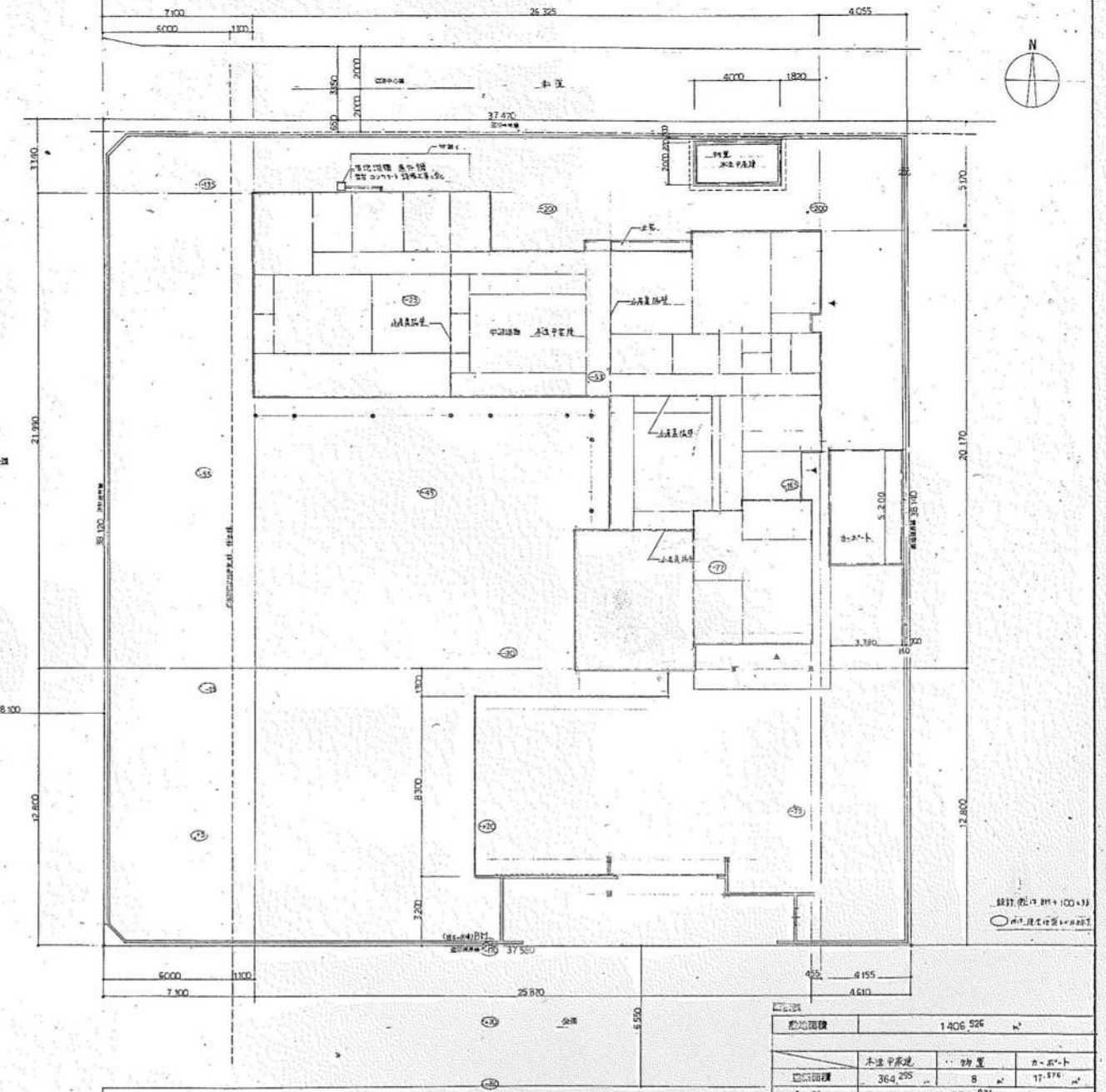
41,700 × 16,340 = 681,378
41,700 × 16,340 = 682,212
2S = 1363,590
S = 681,795 ㎡

42,550 × 17,600 = 748,880
42,550 × 17,610 = 749,3055
2S = 1498,1855
S = 749,0927 ㎡

105番 + 106番 = 1430,888 ㎡

37,480 × 0,650 = 24,362 ㎡

敷地面積 1406,526 ㎡



配置図 S1:100

敷地面積	1406.526 ㎡		
	本造平家建	物置	カーポート
建築面積	364.295 ㎡	8 ㎡	17.576 ㎡
合計	389.871 ㎡		
床面積	330.496 ㎡	8 ㎡	17.576 ㎡
合計	356.072 ㎡		

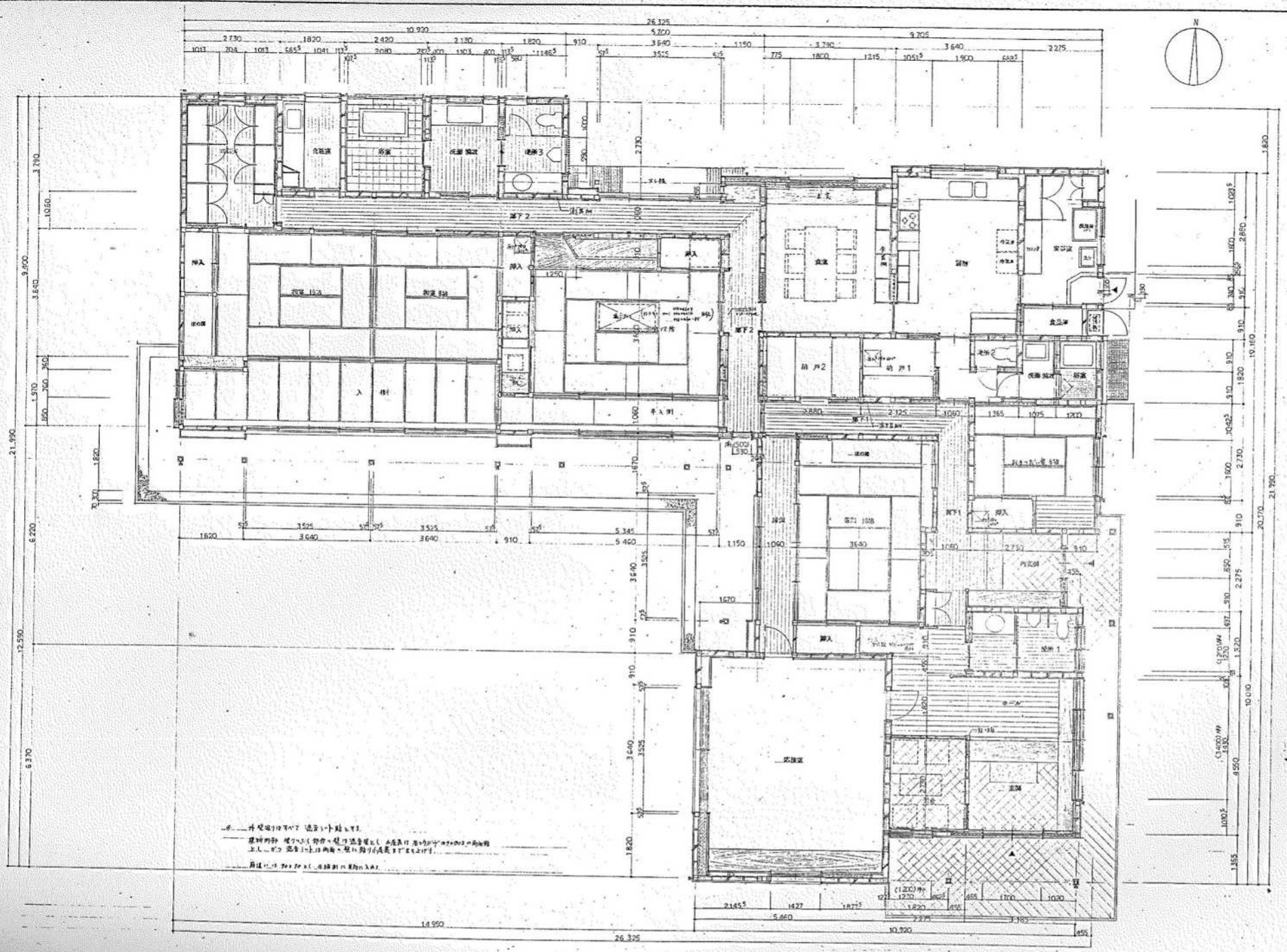
縮尺不明

昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図

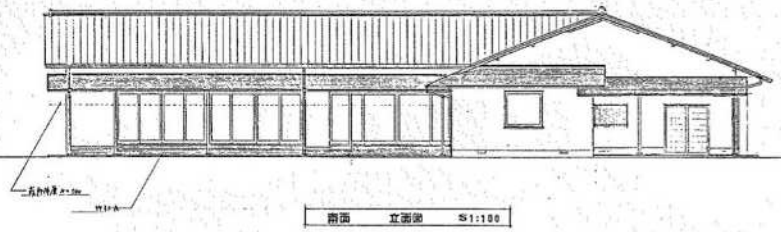
配置図 案内図 公園等 敷地求積図 面積表

縮尺 7

針谷建築事務所

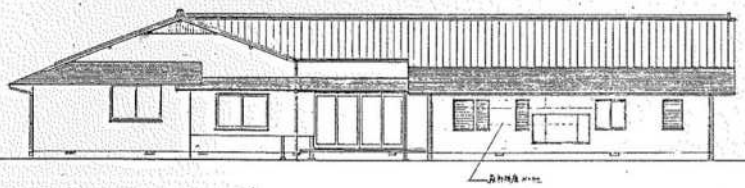


縮尺不明

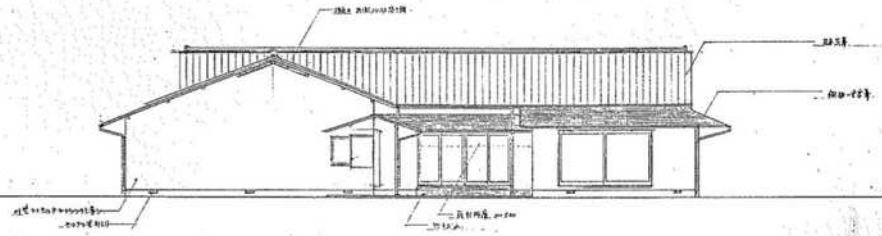


南面　立面図　S1:100

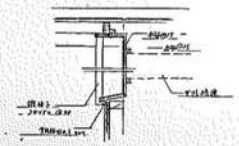
東面　立面図　S1:100



北面　立面図　S1:100



西面　立面図　S1:100

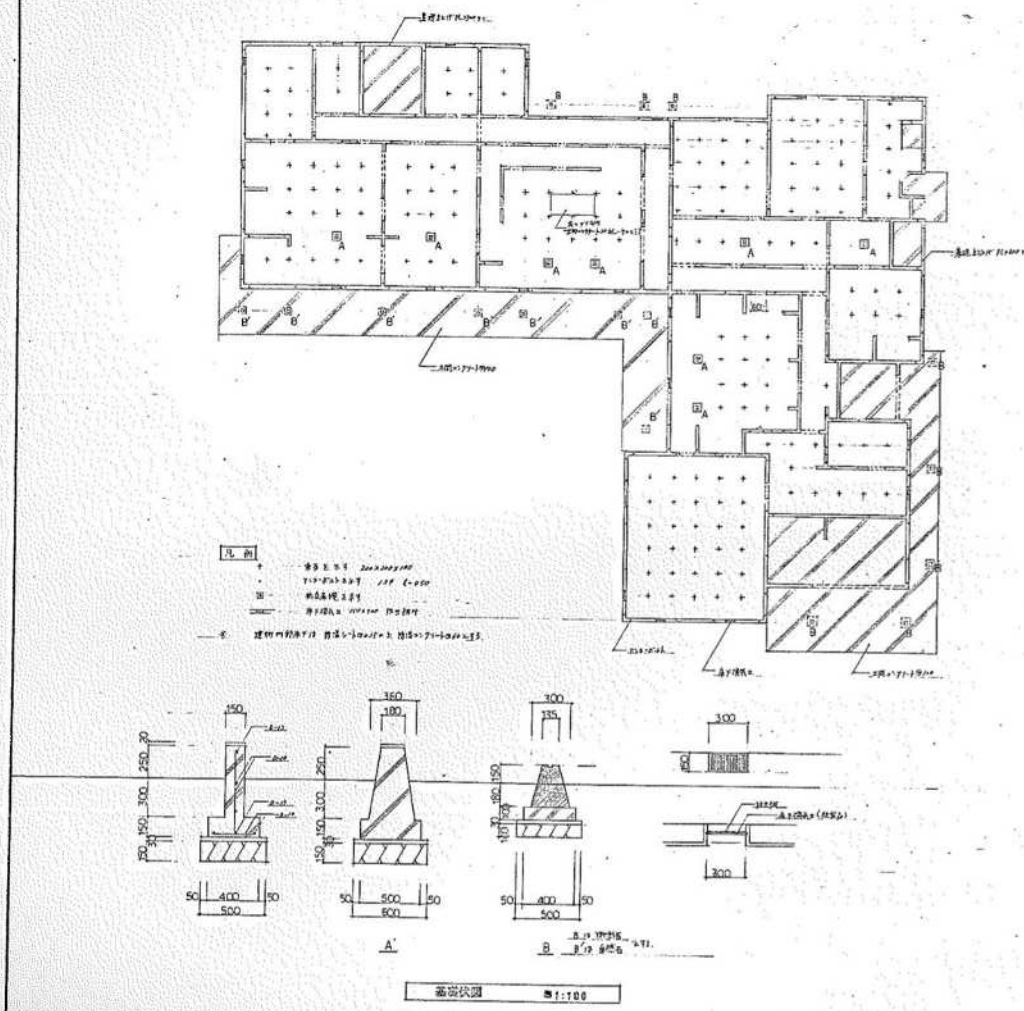


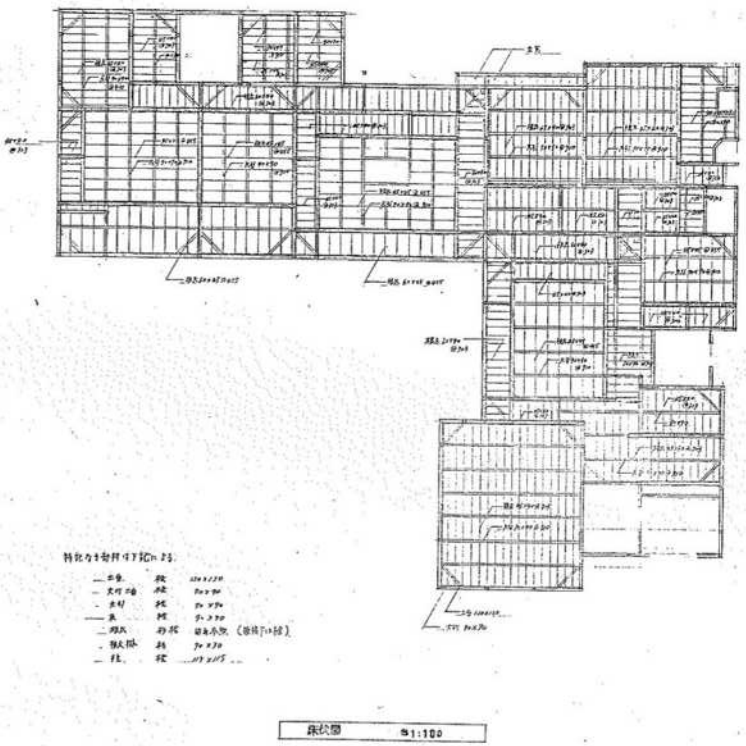
北部 事務室 詳細図 S1:20

縮尺不明

静岡県総務部管財課

昭和62年度 三段公舎 建築工事設計図	立面図	縮尺 9	針谷建築事務所

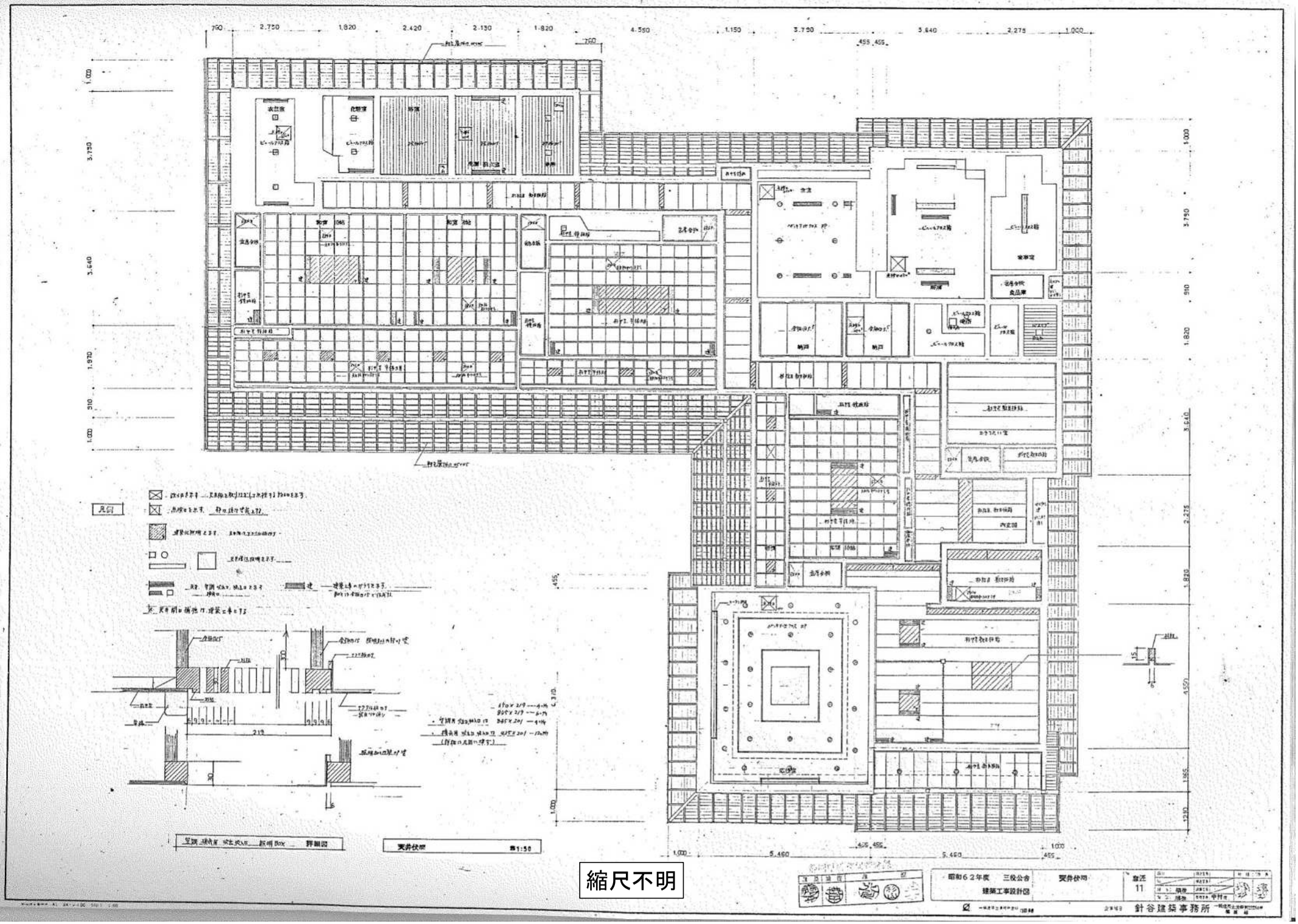


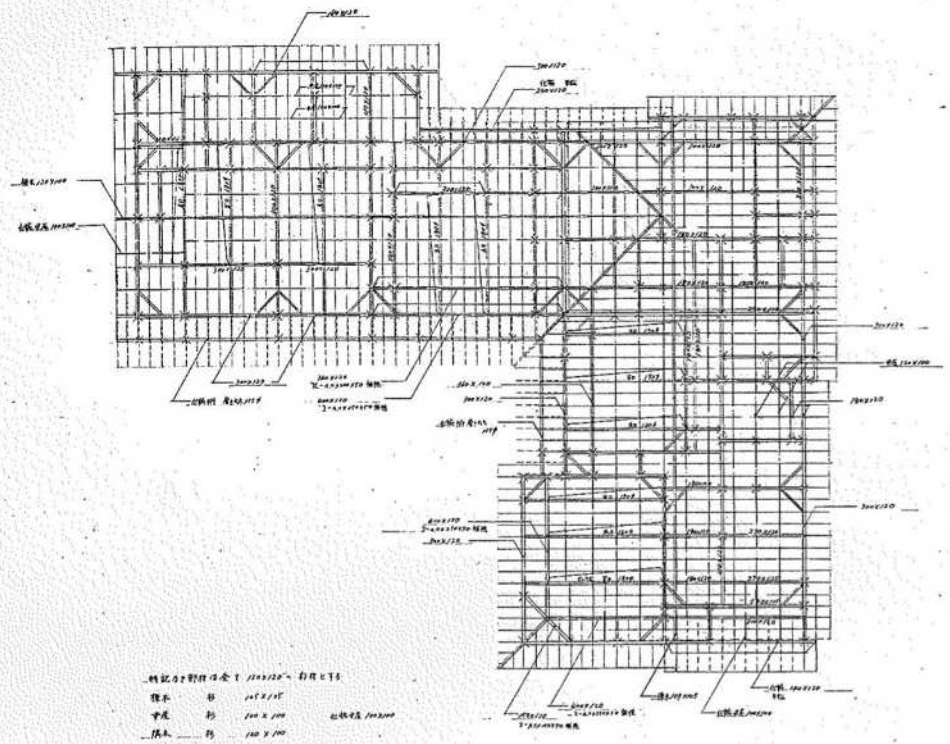


縮尺不明

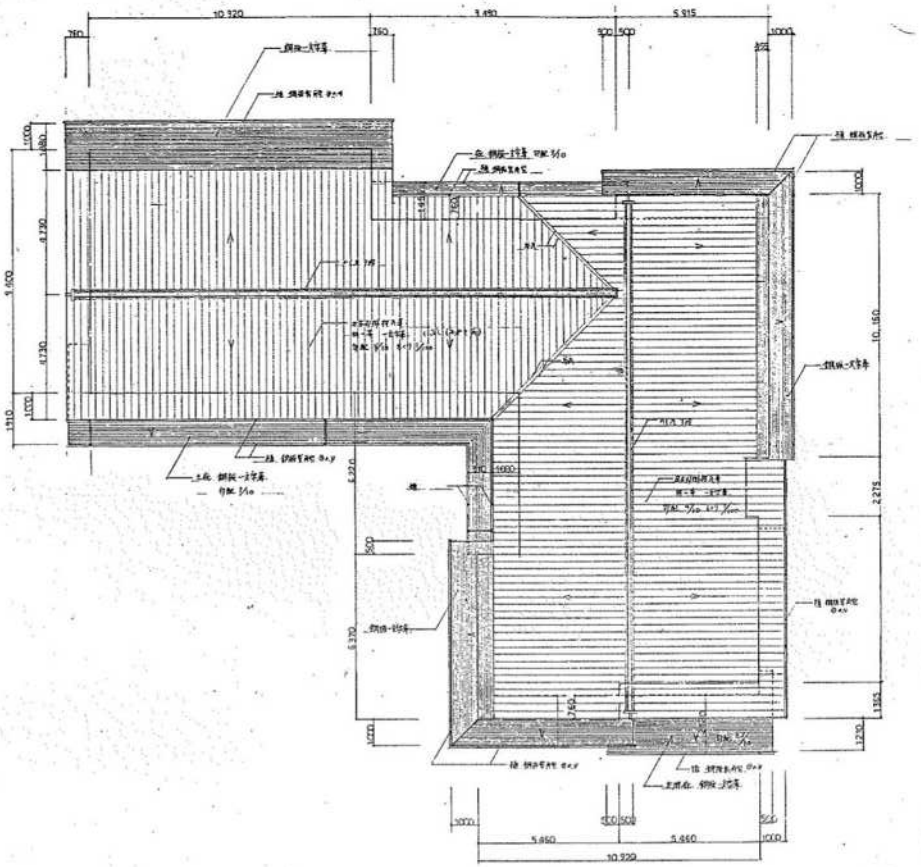
昭和62年度 建築工事設計図	三役公舎	基礎伏図 床伏図	室匿 10

針谷建築事務所


縮尺不明
昭和62年度 三役公舎
建築工事設計図
受井伏間
針谷建築事務所



小屋伏図 S1:100

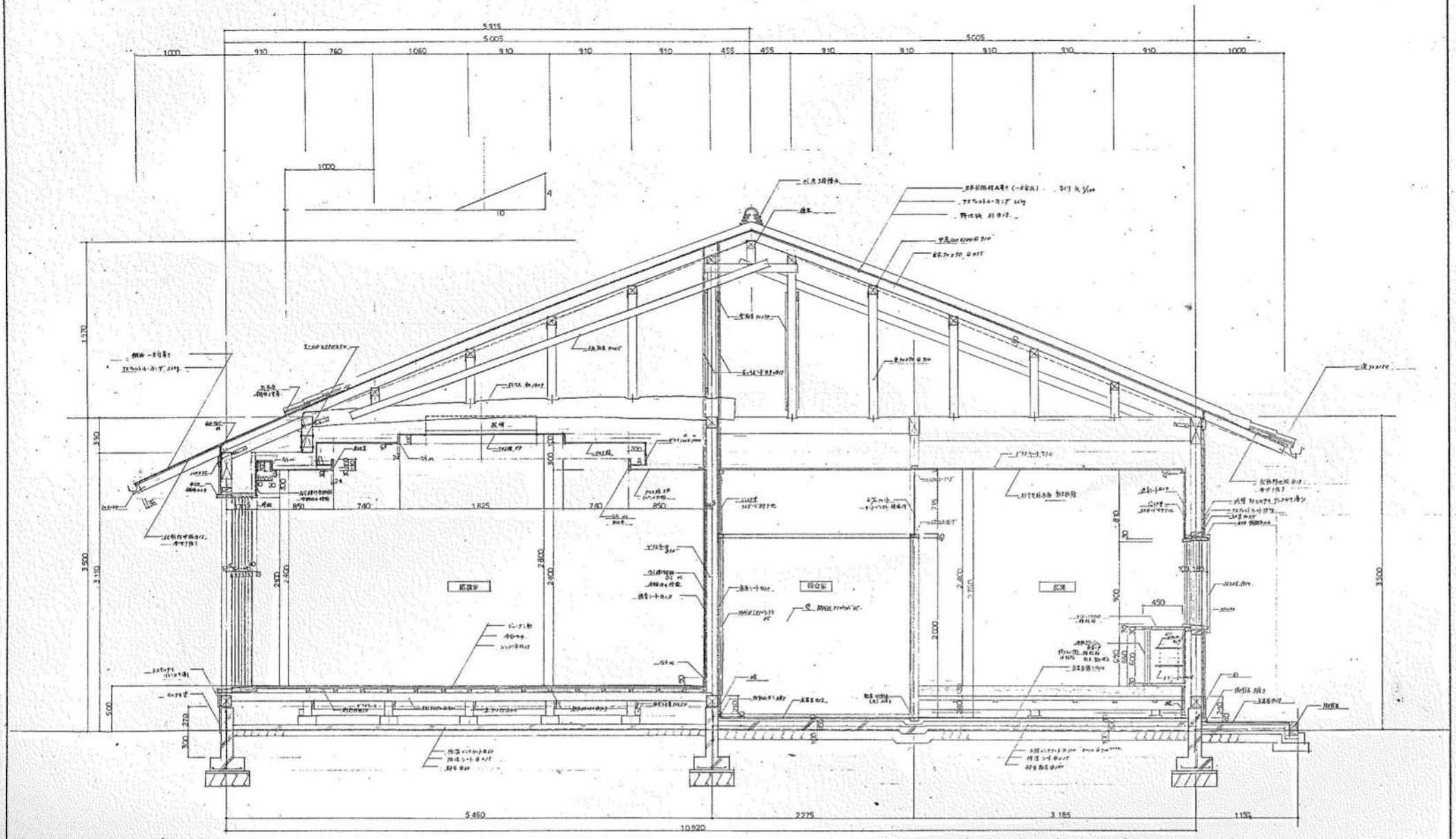


屋根伏図 S1:100

縮尺不明

静岡県総務部管財課

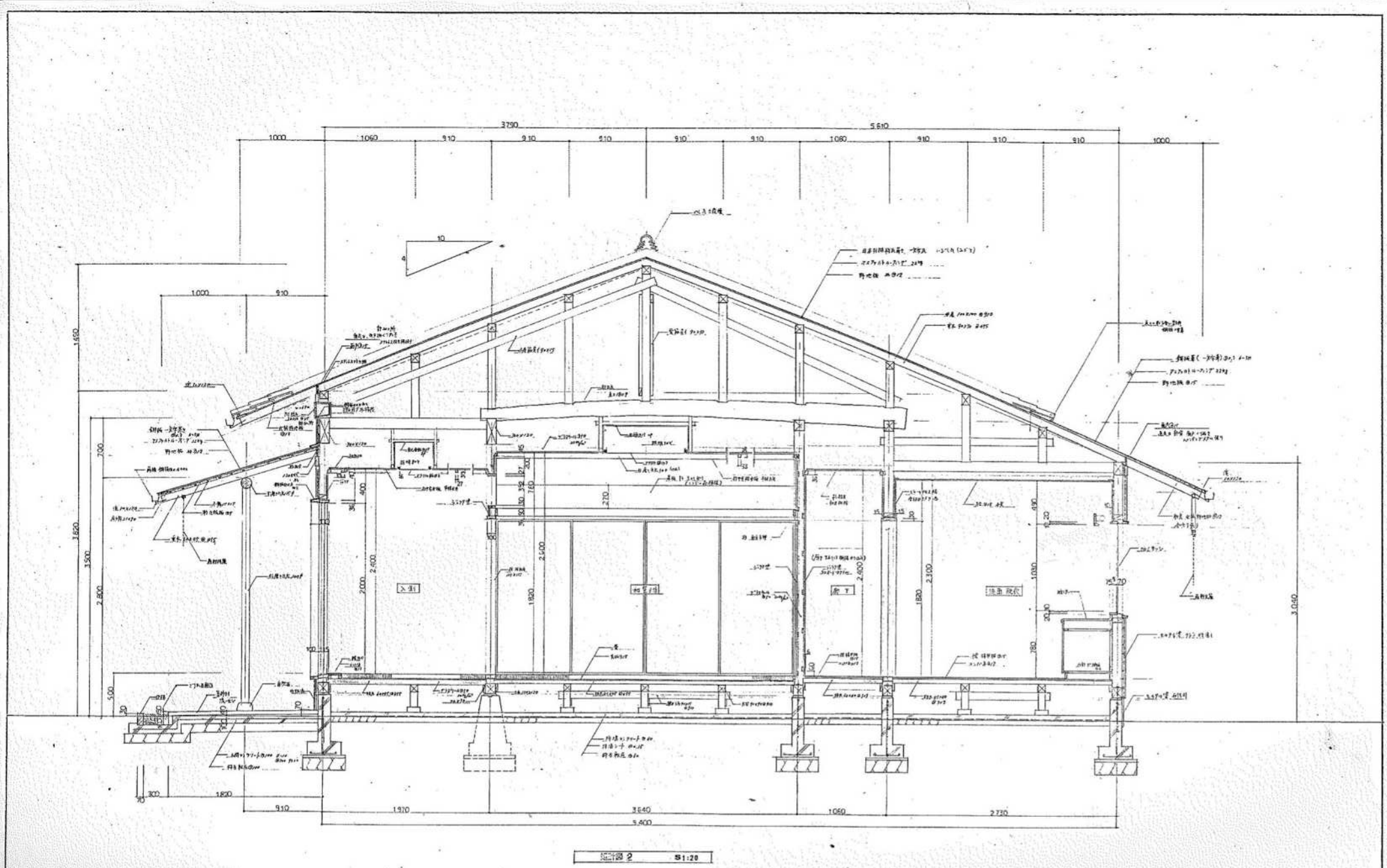
昭和62年度 三校公舎 建築工事設計図	小屋伏図 屋根伏図	図面 12	針谷建築事務所



矩計図 1　S1:20

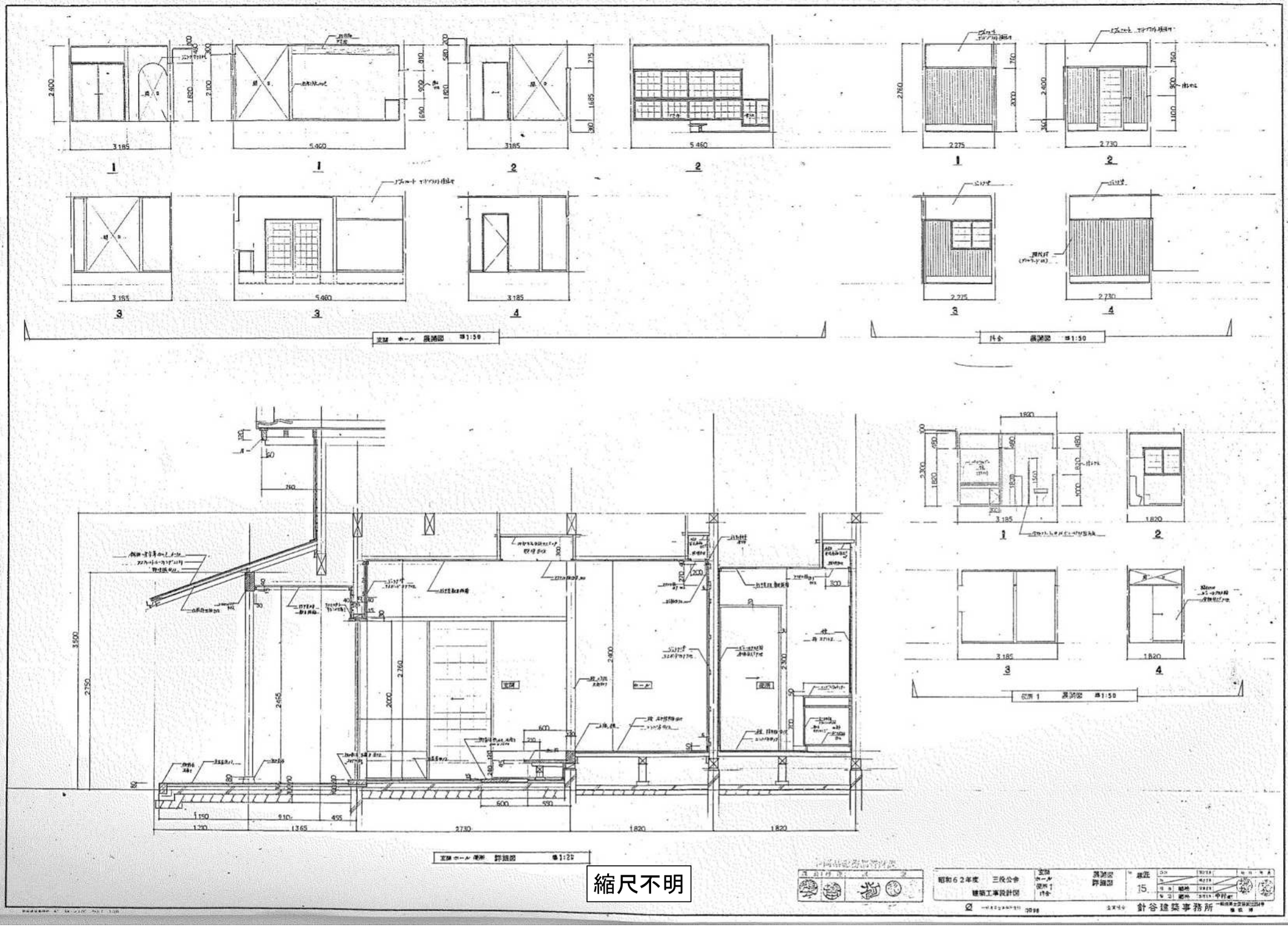
縮尺不明

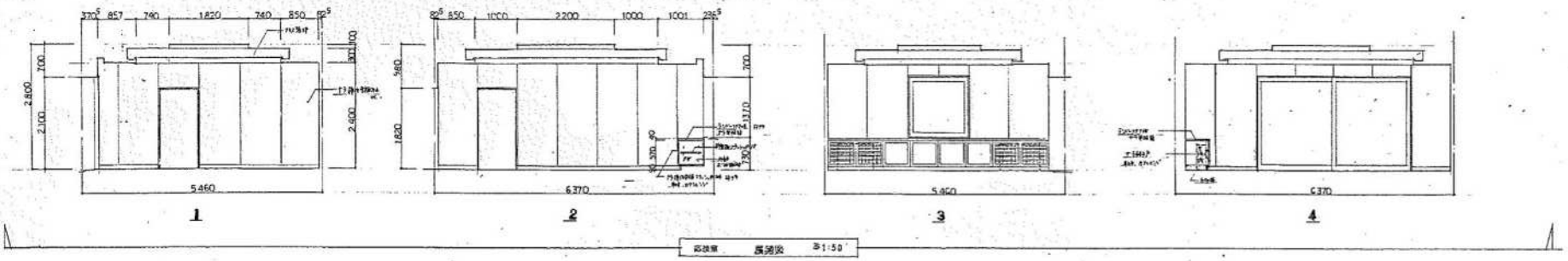
昭和62年度　三俣公舎 建築工事設計図	矩計図　1	縮尺 13	針谷建築事務所



縮尺不明

昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図	矩計図 2	図歴 14	針谷建築事務所


支館 ホール 展開図 縮1:50
1
2
3
4
1
2
3
4
1
2
3
4
1
2
3
4
支館 ホール 便所 詳細図 縮1:20
縮尺不明
昭和62年度 三役公舎
建築工事設計図
支館 ホール 便所1 浴室
展開図 詳細図
15.
針谷建築事務所



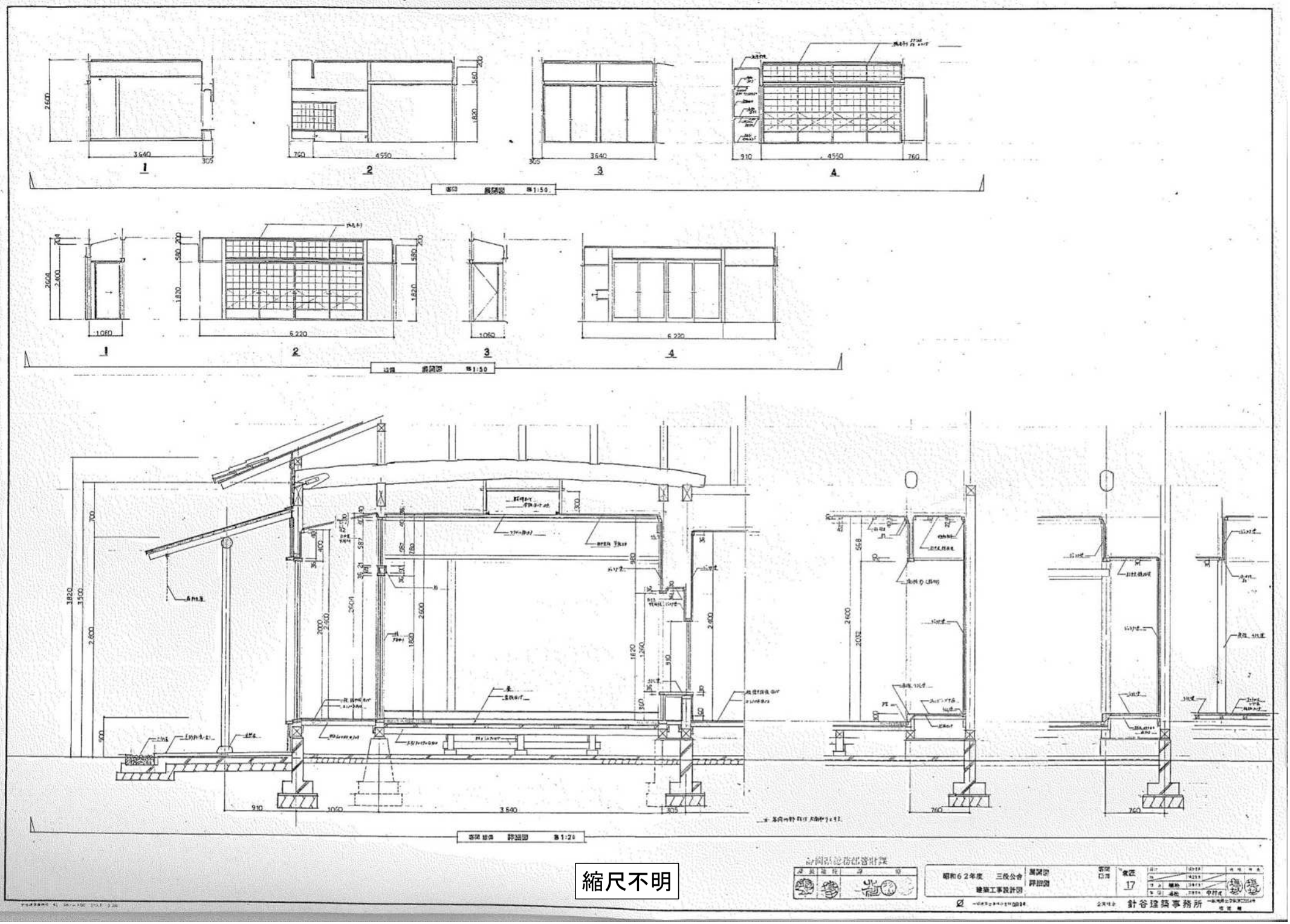
縮尺不明

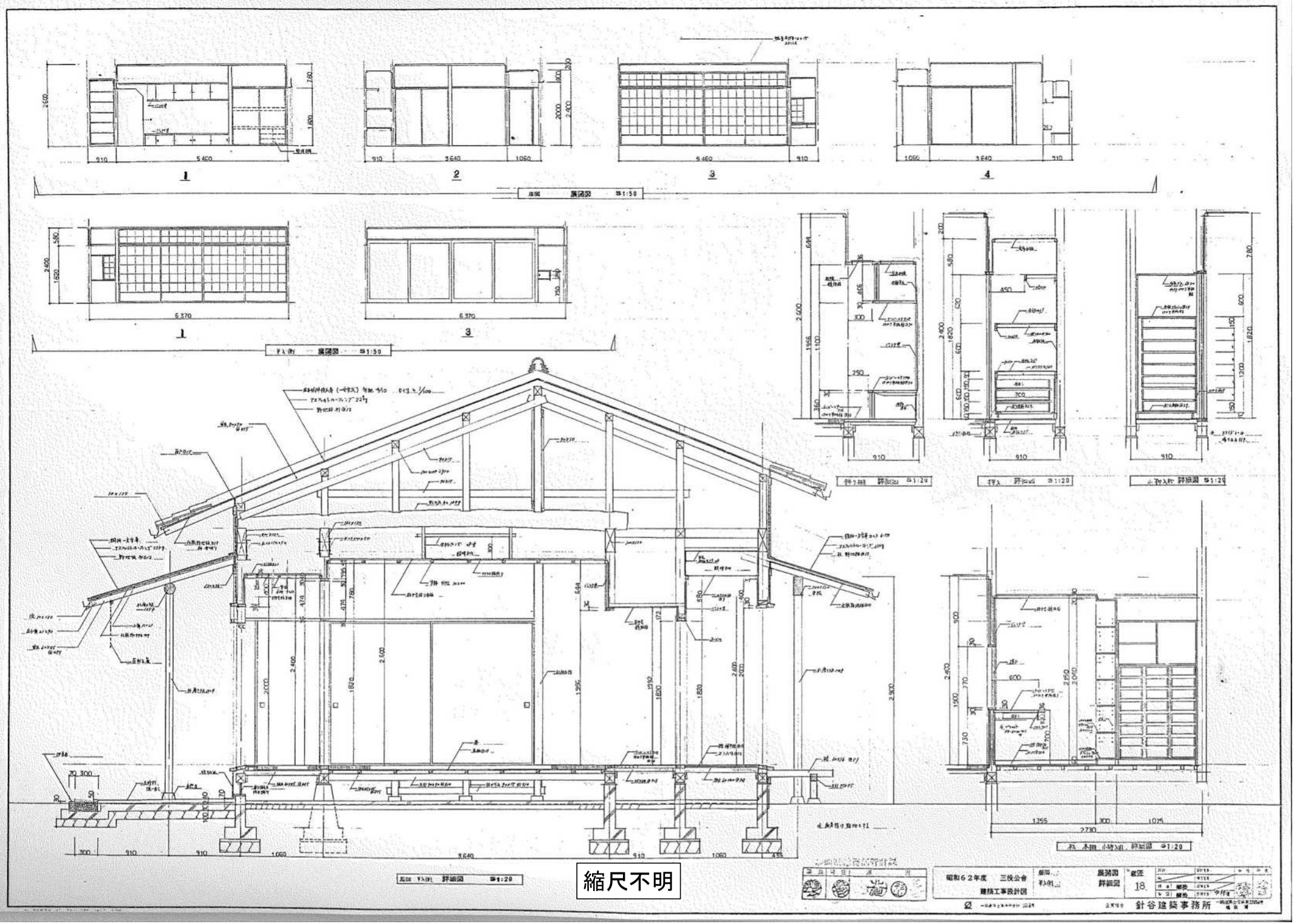
昭和62年度　三役公舎
建築工事設計図

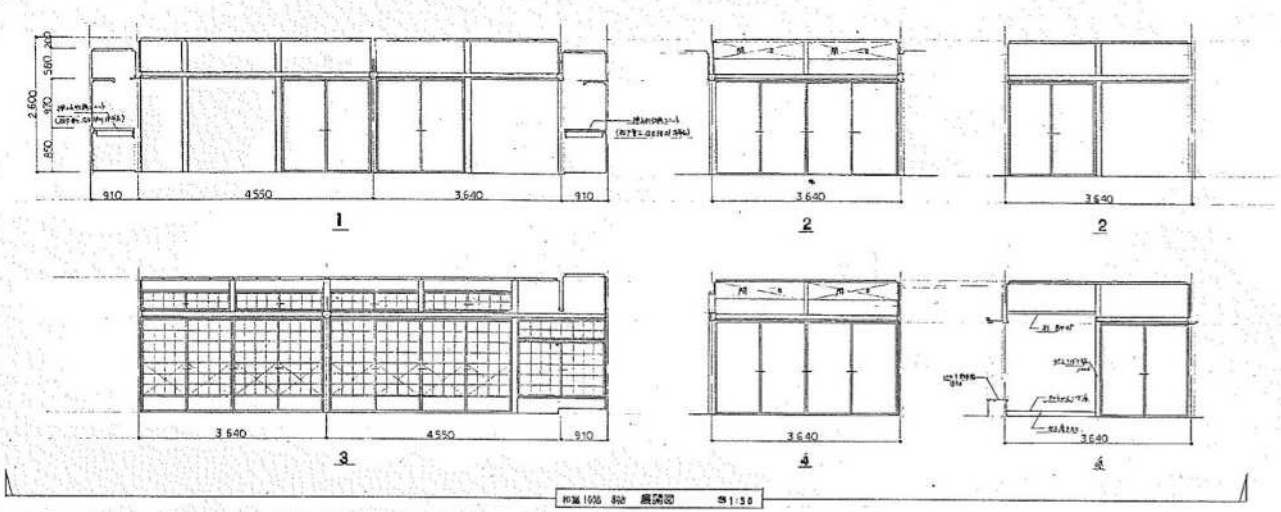
応接室　展開図

縮尺 1/6

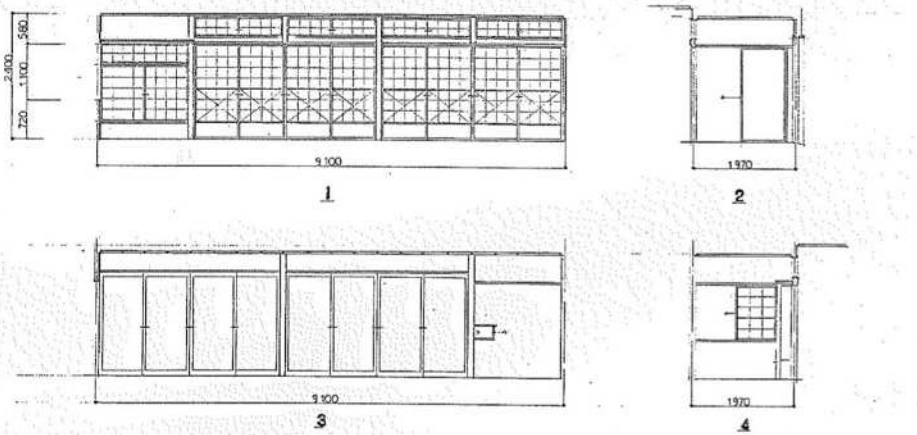
針谷建築事務所


縮尺不明
昭和62年度 三役公舎
建築工事設計図
展開図
詳細図
17
針谷建築事務所

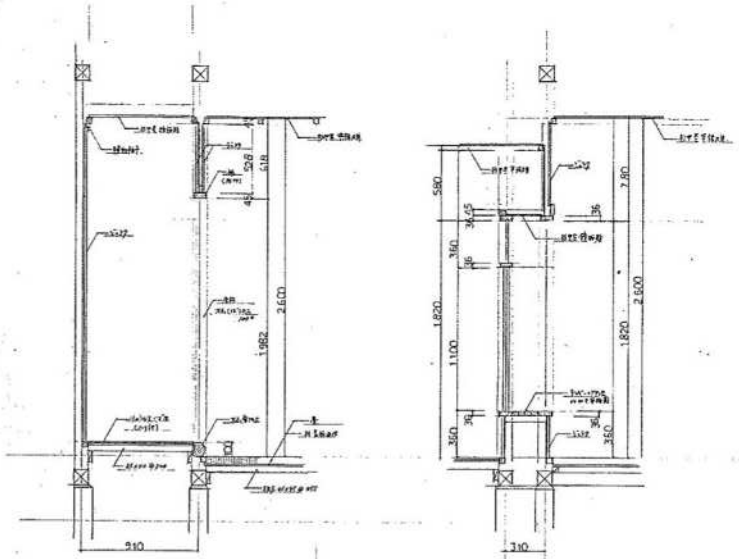

縮尺不明
昭和62年度 三役公舎
建築工事設計図
展開図
詳細図
18
針谷建築事務所



和室10畳 和室 展開図 S1:50



入口 展開図 S1:50



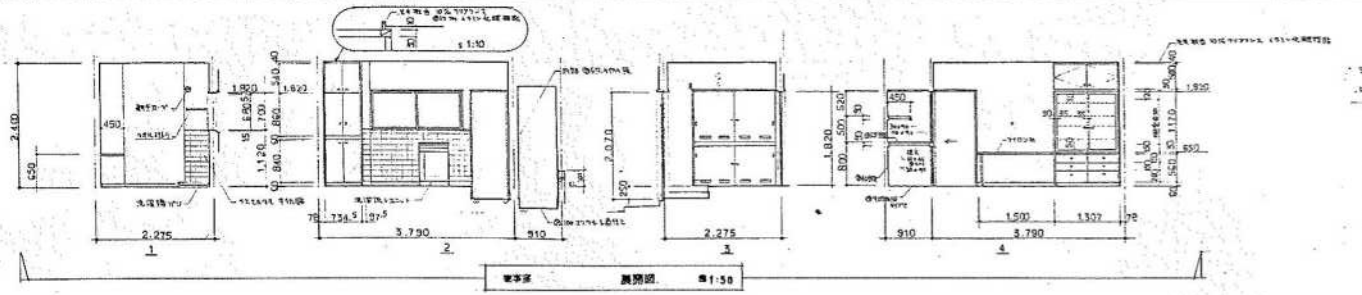
玄関 手洗 詳細図 S1:20

縮尺不明

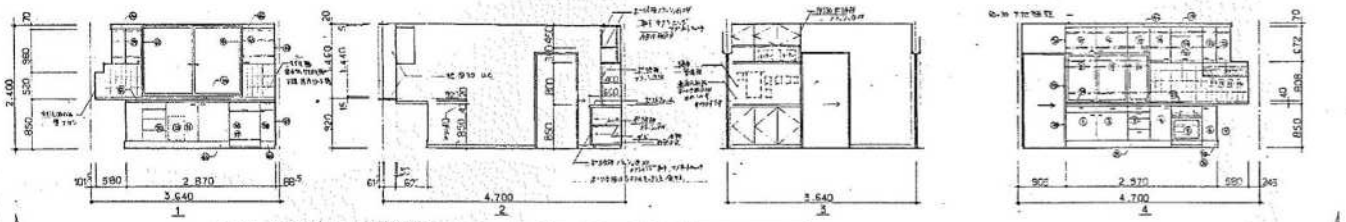
静岡県総務部管財課

昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図	和室10畳 和室 玄関 入口	展開図 詳細図	縮尺 1/19

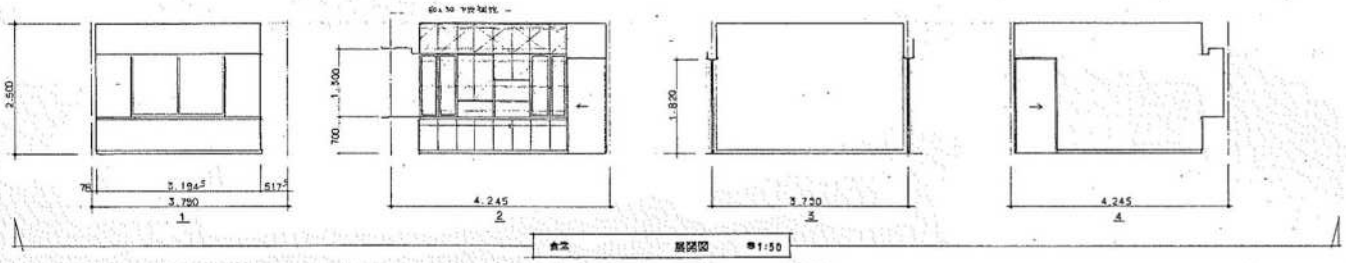
針谷建築事務所



東事室　展開図　S1:50



保護　展開図　S1:50



食堂　展開図　S1:50

・システムキッチン仕様書

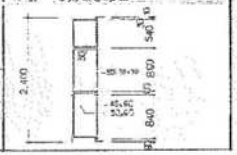
・システムキッチン　ヤマハ DK-7シリーズ　特注品。

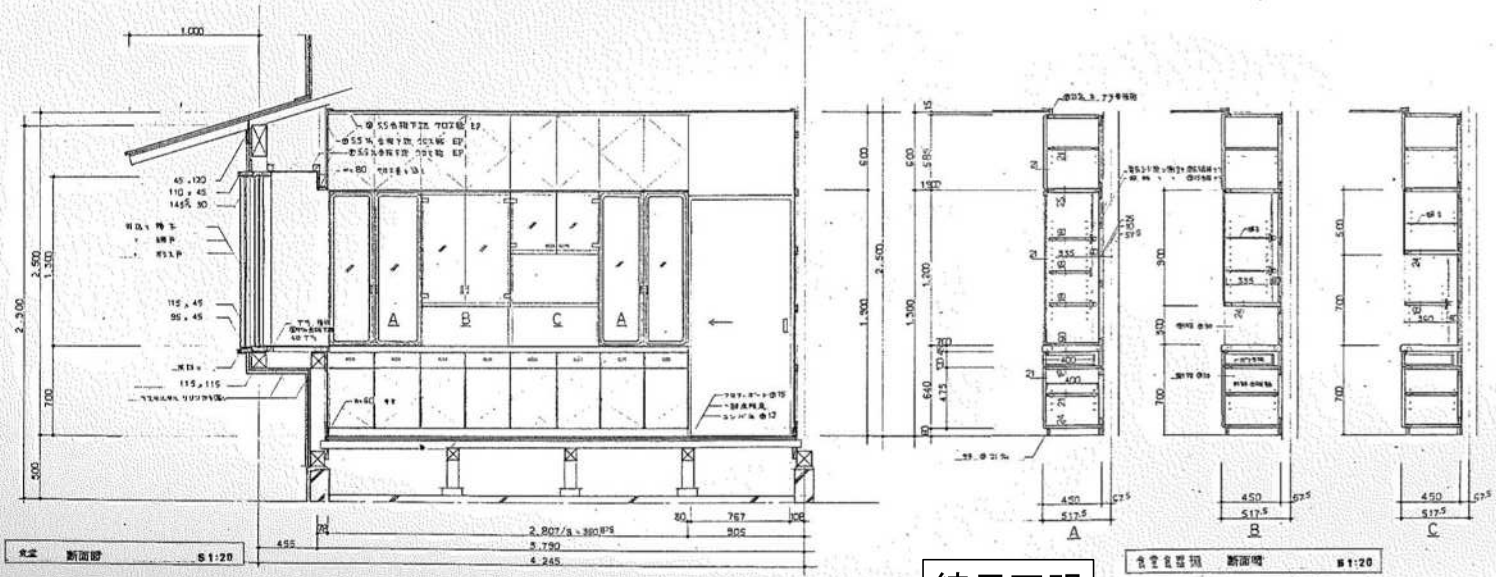
NO	機器名	品番	数	NO	機器名	品番	数
1	マーケットビネット	KBT — 60BL	1	26	化粧側板	NKB— 45	1
2	〃	KBT — 60BR	1	27	〃	NKB— 96	1
3	〃	KBT — 45D	1	28	〃	NKO— 69	1
4	〃	KST — 40AL	1	29	台輪	DC — 120～85	2
5	30°コル.コンロ(ガス)	RBR — 350EWV	1	30	〃	DC — 120～55	1
6	マーケットビネット	KBO — 40AR	1	31	〃	DS — 240～30	1
7	〃 用ダクト	CC — 80X	1	32	ペーパーキャビネット	KBT— 45D	1
8	ロングフォールキャビネット	KLS — 60BL	1	33	〃	KBS— 120A	1
9	〃	KLS — 60SR	1	34	米びつ	MK — 45	1
10	〃	KLS — 45SR	1	35	米ビン	K — 15B	1
11	コンソールスコット	KDS — 45RL	2	36	化粧側板	KE — B200SK	1
12	ハイフード	HP — 120B	1	37	〃 化粧側板	NBW — 36	1
13	ハイフード用5段カゴ	HP — 5K	1	38	マンションキャビネット	KBT — 30BR	1
14	スパイスコンテナ	DG — 15	4	39	ミドルフォールキャビネット	KMS— 30DL	1
15	ウォールキャビネット	KWS — 60DL	1	40	〃	KMS— 40DR	1
16	〃	KWS — 60DP	1	41	化粧側板	NKB— 67	2
17	〃	KWS — 45DR	1	42	カウンター	MWA — 360-L-W	1
18	ミドルフォールキャビネット	KMS — 40DL	1	43	台輪	DC — 120～85	1
19	フーレー物入れ	TK — 50X	1	44	〃	DC — 60～55	1
20	フード	KWK — 61D	1	45	巾木 2×10 銀黒		
21	〃 ダクト機能用	DP — 23Y	1	46	幕板		
22	ミドルフォールキャビネット	KMS — 30DR	1		※コンセントビネットは内部配線を完成品で発注のこと。		
23	〃	KMC — 60DR	1		60×30の下部補強を施工		
24	台輪	DL-60— 4	3				
25	カウンター	MWA — 360-R-G	1				

・壁 タイル INAX 200×100 セラモットシリーズ 張り品

食堂家具仕様

A　アイランド・ワゴン類	B　既存入
寸法　1910W × 1500 × 450 × 650	寸法　7145 × 510 × 2,400
ワゴン類　1307 × 450 × 2,400	用途　食器・調理
用途　アイランド　サーブ	材質　ビニル系タイルフェルト張り
ワゴン類　引き戸 6mm 強化ガラス戸棚	45　メラミン化粧板
食器・調理	金物　スライドレール
材質　アイランド　ホワイトコーヒーメラミン化粧板張り	マグネットフック
〃　天板　40mm スチール枠内蔵 合板 5mm	取手　HR 15090
ワゴン類　ガラス入フラッシュ構造 パンフ40mm	内部　ウレタン系塗装
棚板　8mm 強化ガラス	
ワゴン類　ガラス戸棚　棚・仕切板 強化ガラス 5mm	
手掛け金具	
45　メラミン化粧板	





食堂　断面図　S1:20

食堂家具類　断面図　S1:20

食堂家具仕様

寸法　2,807/2,455　3,500

材質　ガラス入木枠・ドア類

取手 ① 真鍮 HR 0415

内部　金属フラッシュドア構造

4 ロ　ドア・金属製ドア構造

仕様 A　ガラス コート・表面ハードガラス

〃　B　6mm 強化ガラス

〃　C　6mm 強化ガラス

表面　B・C　強化 表面ハードガラス

ガラス入木枠 強化ガラス 6mm

金物　スライドレール　(ガラス戸用)

棚受　表面 ホワイトブロンズメッキ ガラス用

フック　マグネットフック

ステンマグネットフック (小型 φ25 L=25)

取手　表面ステンレス L=150 W=18 取付穴

内部　ドア

仕様　10W 蛍光灯　蛍光灯カバー

ステンレス製 ステンレス製 ステンレス製 取付金具

静岡県総務部管財課

課長	課長補佐	係長	担当

縮尺不明

昭和62年度　三役公舎
建築工事設計図

東事室・保護・食堂
展開図

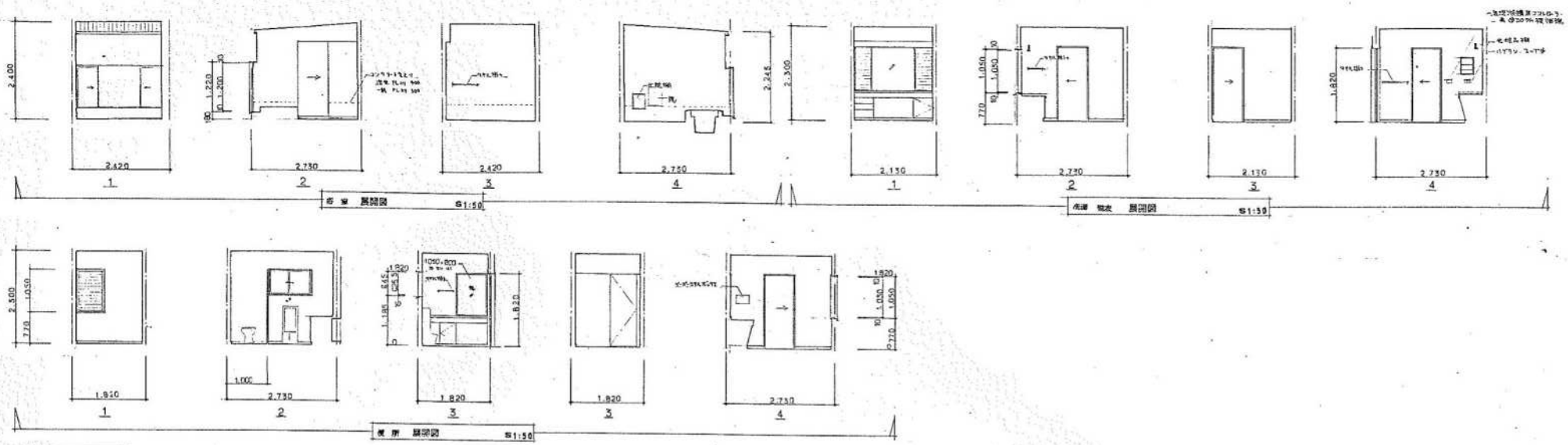
図面 20

針谷建築事務所

縮尺不明

静岡県総務部管財課

昭和62年度 三段公舎 建築工事設計図	おきつだい4階・便所2・廊下 便所 男女室・浴室・納戸1-2 展開図	縮尺 21	針谷建築事務所



設備工事 設計一覧

衛生		
カウンター	マーブルライトカウンター (ML05-DH(KE2,N1))	TOTO
鏡	5% 耐食鏡 面W. 広角鏡	—
ペーパーホルダー	1本 長 L=380 ステン	手持製 KK
ゴミバケツ	90L用 ビア 30L付タイプ	市上
ハンドソープ	CCY-11	市上
浴室		
浴槽 (洗髪シャワー付)	1100 ホ・D・系浴槽 FBH140R/LPW	TOTO
鏡	5% 耐食鏡 浴室用鏡 363×455	市上
棚	棚 ステンレス L=600 W=150 3段	市上
ペーパーホルダー	埋込 A351 L=600	市上
化粧鏡	〃 S181 470×310× (中 埋込)	市上
洗面・脱衣		
カウンター	マーブルライトカウンター (ML05-DH(KE2,N1))	TOTO
鏡	5% 耐食鏡 スタンド付	—
洗面水栓	15% シングル	
ペーパーホルダー	マーブルライト M A 300 L=600	TOTO
〃	M A 351 L=600	TOTO
ゴミバケツ	90L用 ビア 30L付タイプ	手持製 KK
ハンドソープ	CCY-11	市上
便所		
カウンター	マーブルライトカウンター (ML05-DH(KE2,N1))	TOTO
鏡	5% 耐食鏡 手持 ヒンジ付	—
ペーパーホルダー	マーブルライト M A 300 L=600	TOTO
ペーパーホルダー	2843 埋込 ダイヤカット製	・ライン工KK
給湯室		
流し台 バッ	LA-600 W 600 D 390 H 840	TOTO
〃 ユニット	PW 40 600×750×45	市上
ペーパーホルダー	TS 113 P1 L=300	市上
物ホルダー	2501	ライン工KK
洗面・脱衣		
化粧台	LDS-8770 CN	TOTO
ペーパーホルダー	TS 115 P2 L=600	市上
浴室		
浴槽 (洗髪シャワー付)	FBH 31 WR/L 900×700×660	TOTO
化粧鏡	S110 730×450×110 (中埋込)	市上
ペーパーホルダー	TS 115 P2 L=600	市上
便所 (多目的トイレ)		
ペーパーホルダー	TS 113 P1 L=300	TOTO

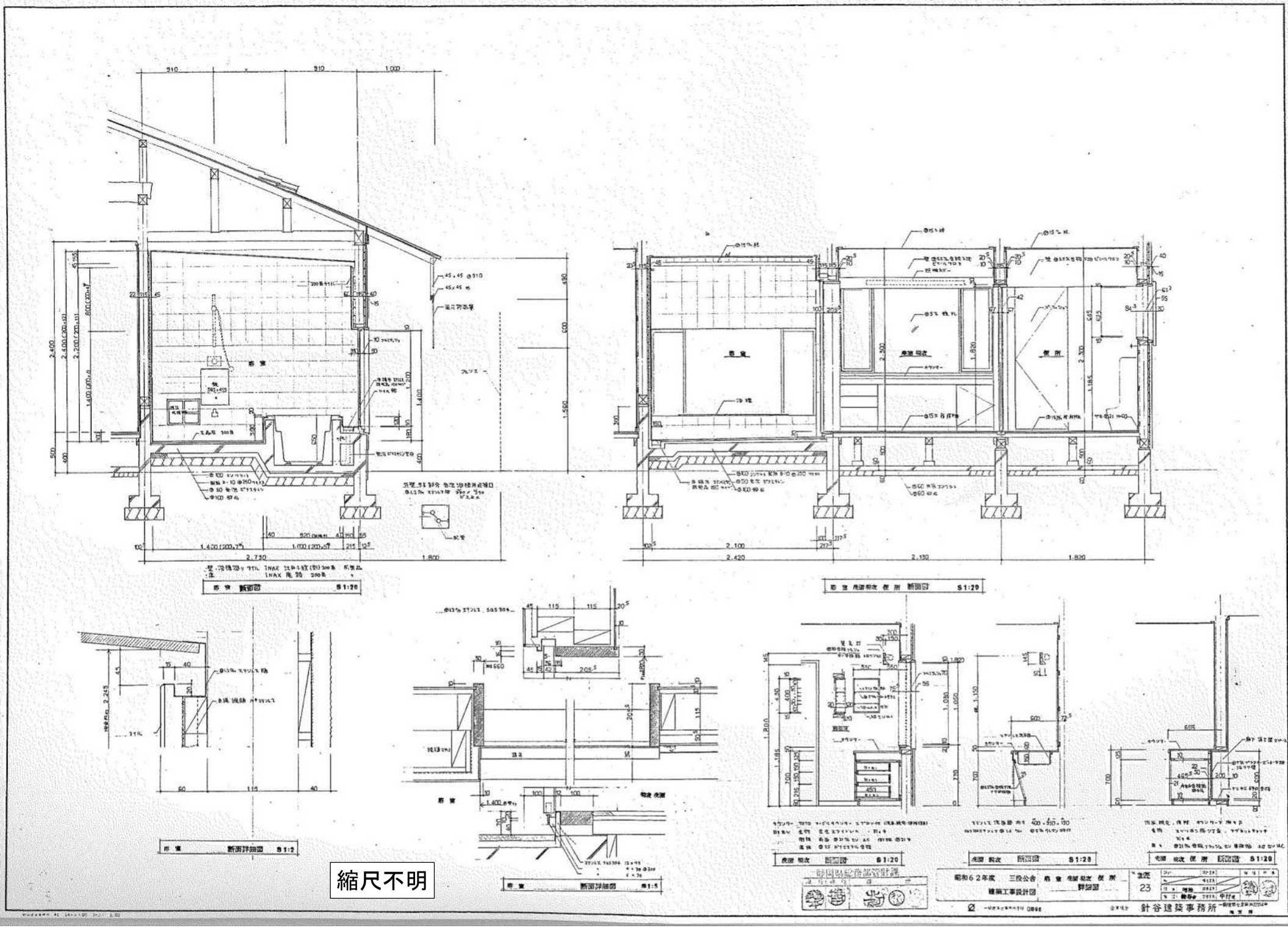
便所 (男女共)		
カウンター	マーブルライトカウンター (ML05-DH(KE2,N1))	TOTO
鏡	5% 耐食鏡 スタンド付	—
ペーパーホルダー	2843 埋込 ダイヤカット製	ライン工KK

※) 上記、無表記品は 市上。

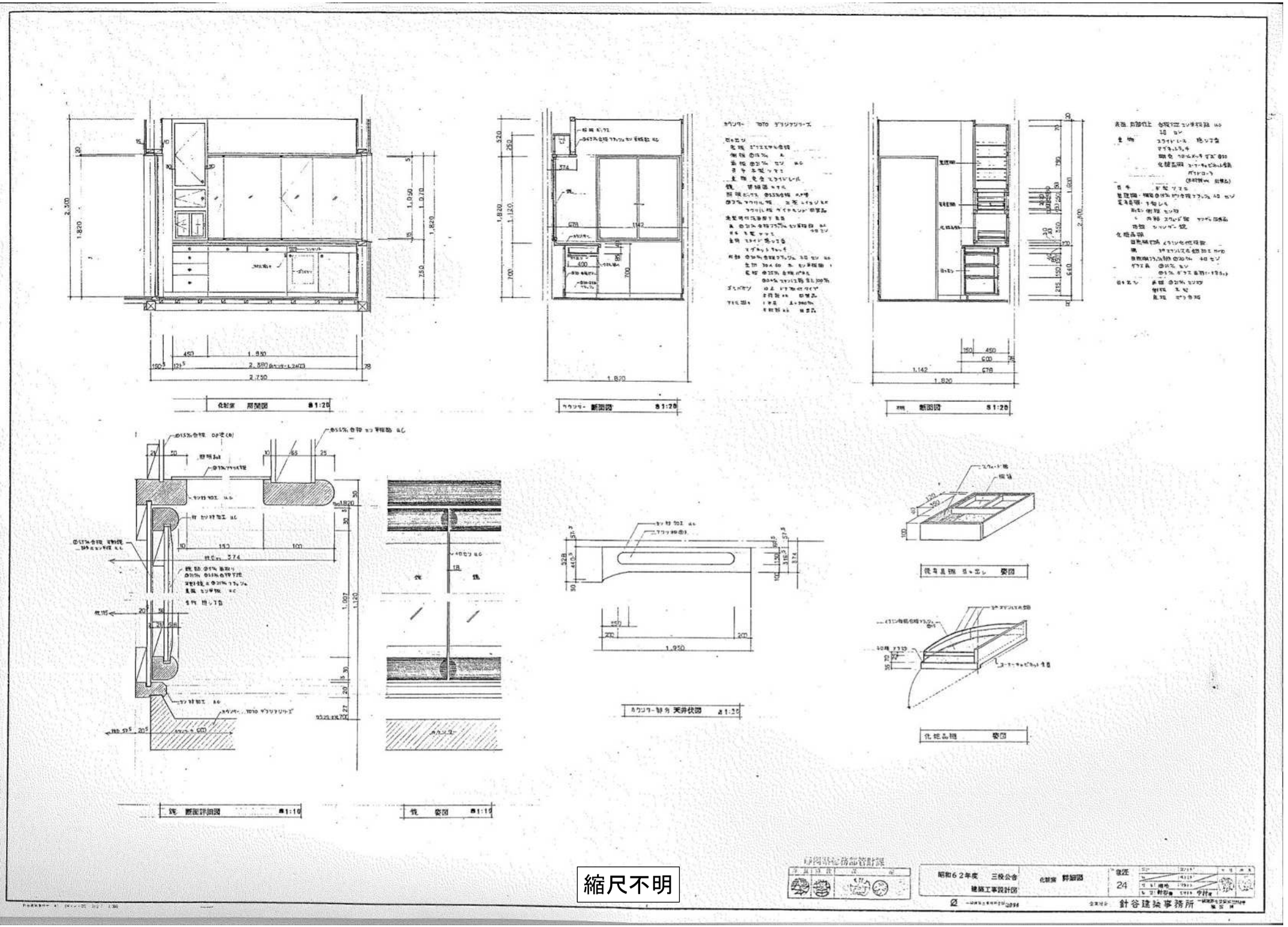
縮尺不明

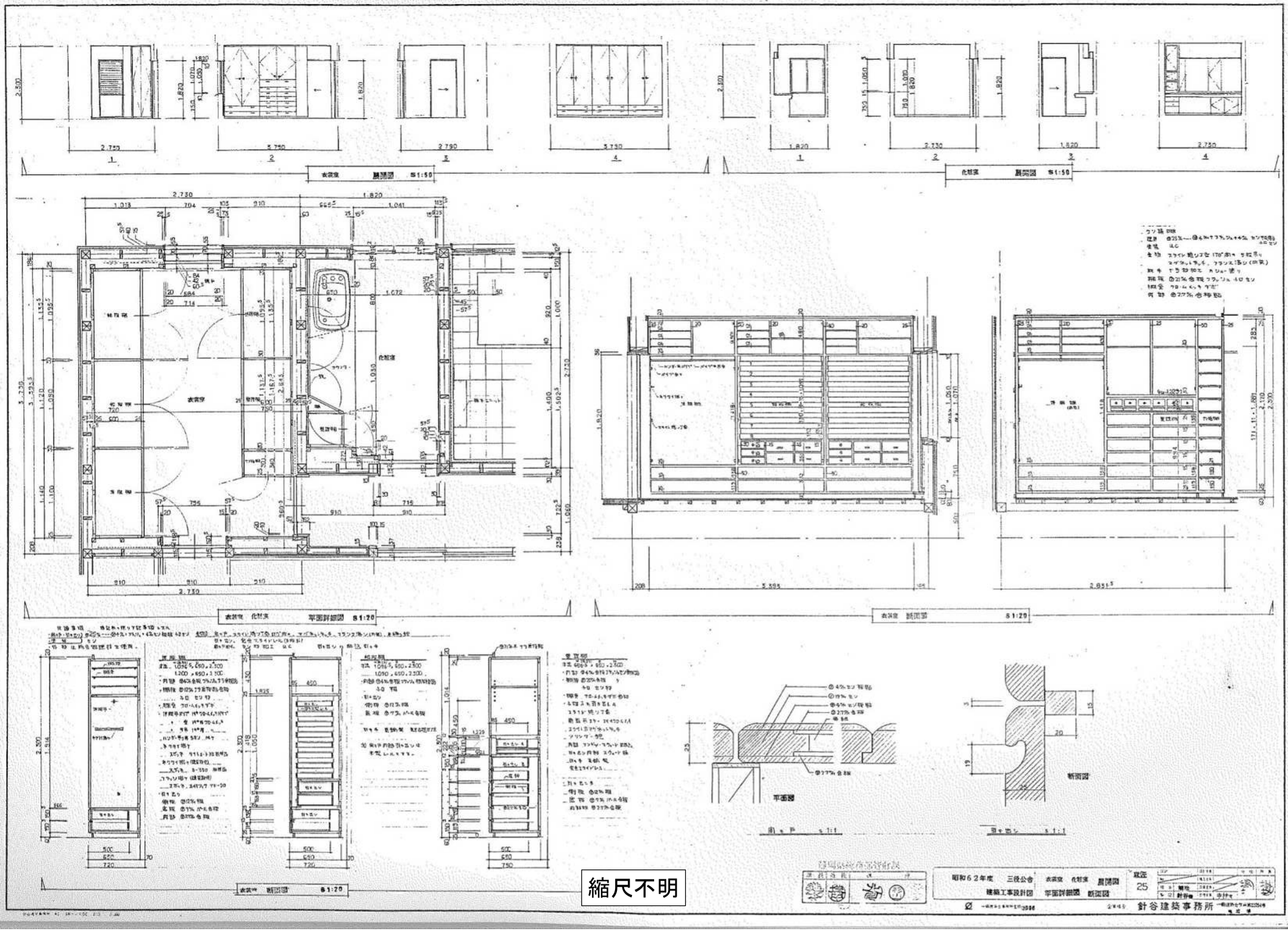
静岡県総務部管財課

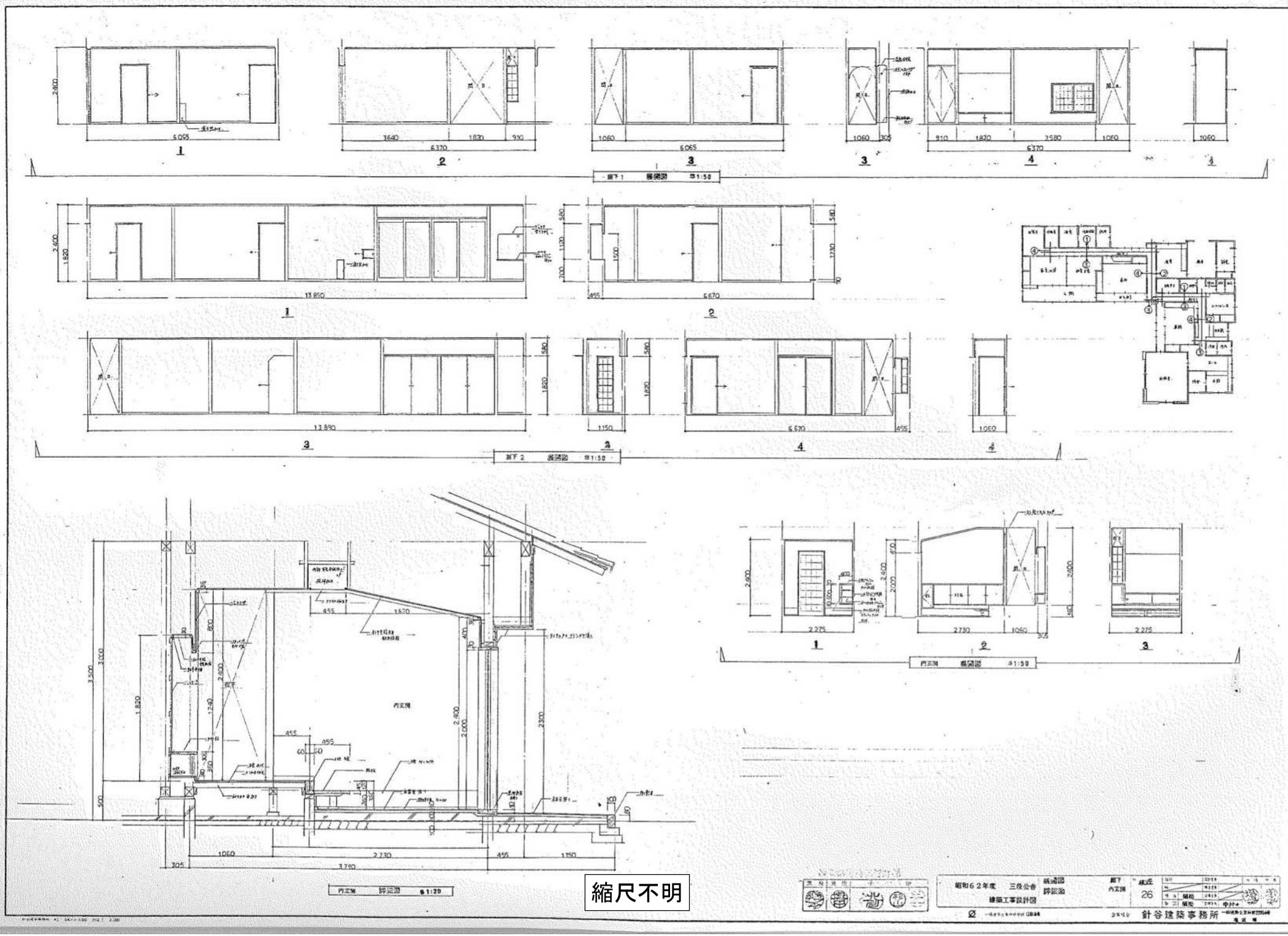
昭和62年度 三役公舎 倉庫・便所改・便所 建築工事設計図	展開図	図面 22	針谷建築事務所

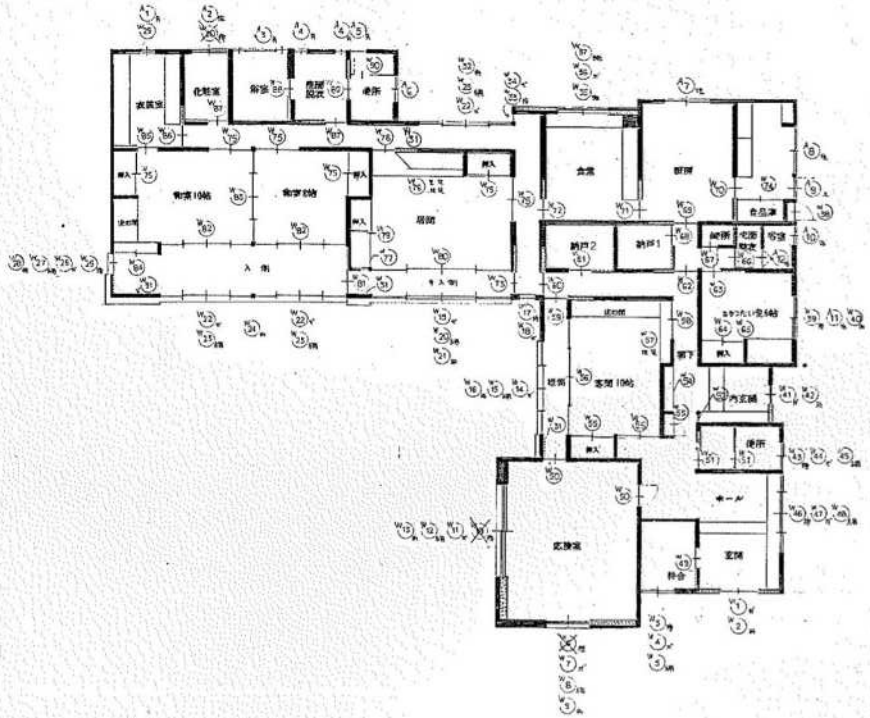

断面図 S1:20
断面詳細図 S1:2
断面詳細図 S1:5
S1:20
S1:20
S1:20
S1:20
昭和62年度 三役公舎 倉室 便所 新設
建築工事設計図
詳細図
23
針谷建築事務所

縮尺不明


化粧室 展開図 S1:20
カウンター 断面図 S1:20
棚 断面図 S1:20
鏡 断面詳細図 S1:10
鏡 姿図 S1:10
カウンター部分 天井伏図 S1:20
洗髪器具 ヨッコシ 姿図
化粧品棚 姿図
縮尺不明
昭和62年度 三校公舎 建築工事設計図
化粧室 詳細図
24
針谷建築事務所


展開図 S1:50
平面詳細図 S1:20
展開図 S1:20
断面図 S1:20
平面図
断面図
縮尺不明
昭和62年度 三俣公舎
建築工事設計図
展開図
平面詳細図
断面図
25
針谷建築事務所


縮尺不明
昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図
展開図
詳細図
針谷建築事務所

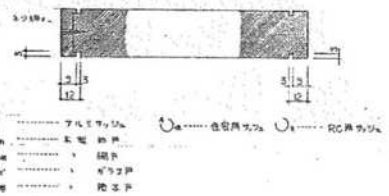


特記仕様書

・この建具表に示された建具寸法(窓枠部分)は全て室内側より見たものであり、躯体・敷居・鴨居及び柱の内法寸法である。
・アルミサッシは住宅用サッシ及び、RC用サッシを使用のカラーサッシとする。
・網戸に使用する網は全てレックスネット製とする。
・引手・取手・錠・鍵は機能の有無にかかわらず見本を提出の上使用する事。
・施錠類は美和ロックXKまたは同等品とする。(見本提出)
・蝶番類は黒平(ブラス)の現本とする事。
・雨戸の戸袋雨戸には上げ下げ、下ろすを設ける。黒本を使用。
・ドアの長い台と柱は丸印板とする。
・ドアの釘は個釘又は首細釘を使用。
・ドアの特殊出部分はチリカエシ、木口しを設ける。
・内部建具の枠は桐。
・ガラリは木製(桐)
・物の寸法リスト表

種別	寸法(mm)	本数
窓 引き	1	1
〃 ガラリ	1	2
扉 開き	2	1
扉 ガラス	1	—
雨戸 開き	2	1
下記以外計	7	5

・各部の地板は桐下地板色塗りとする。仕上はカシュー・樹脂塗装を施し仕上とする。
・自区戸は建具製作部分取り外しとする。



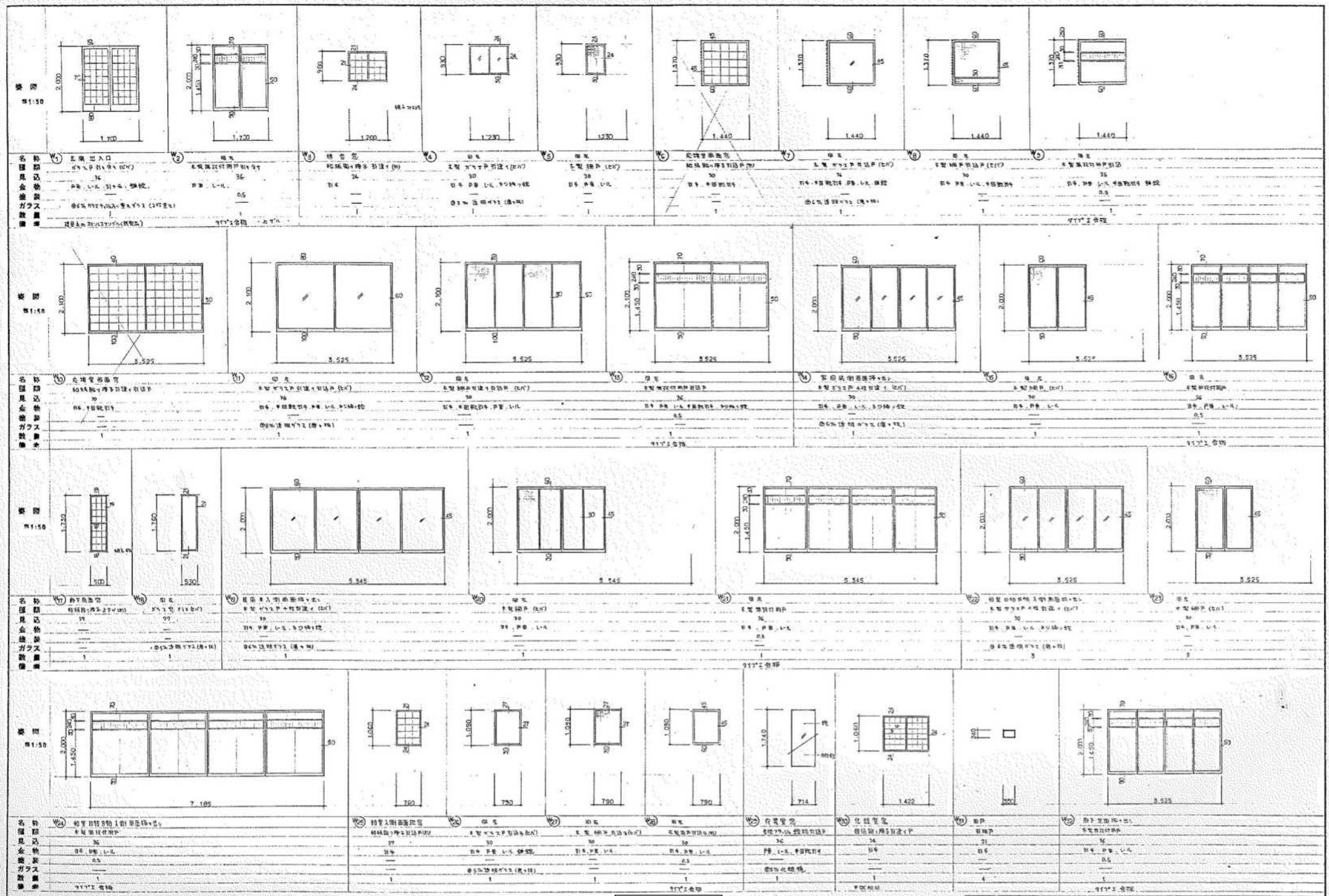
・戸当りには外部に面するレールは黒錆、内部レールは黒錆マラッカ・シール
・木製ガラス戸、木製 網戸 の 丸 部は モヘタ カット付き。

縮尺不明

静岡県総務部営繕課

昭和62年度	三役公舎	建具表付図	建具 27
	建築工事設計図		

一級建築士事務所 針谷建築事務所

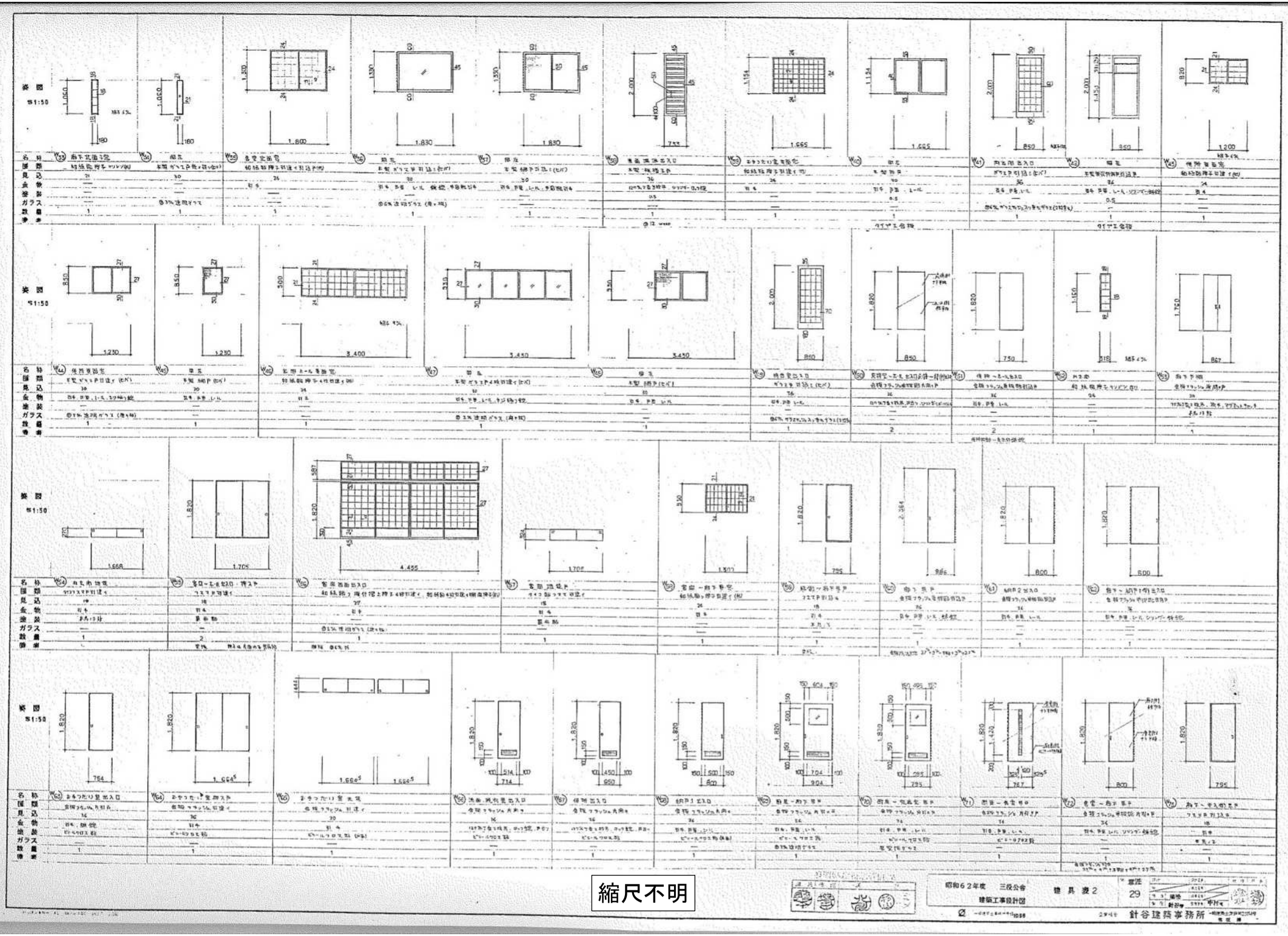


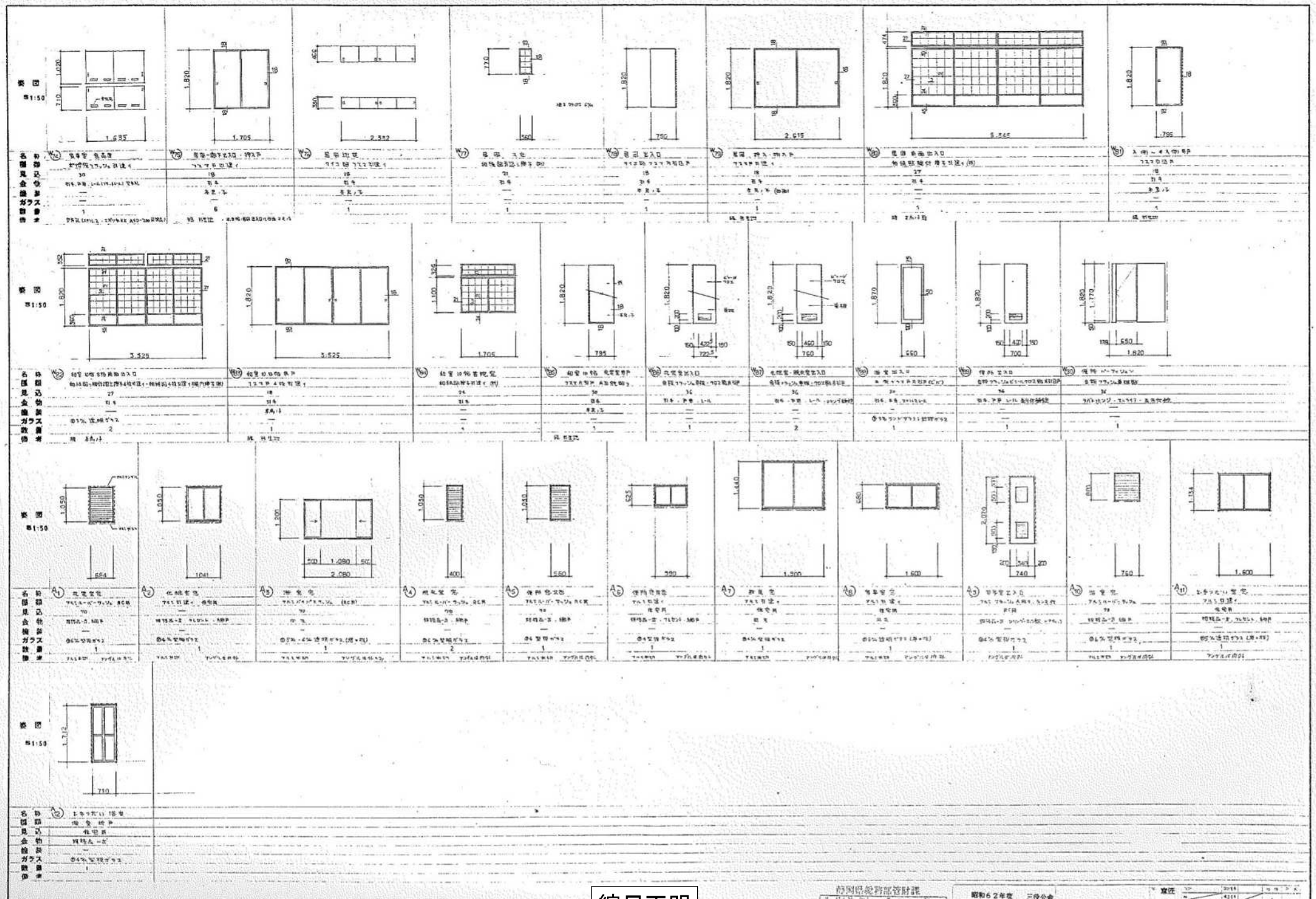
縮尺不明

静岡県総務部資財課

昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図	建具表1	図番 28

設計 針谷建築事務所


縮尺不明
昭和62年度 三役公舎
建築工事設計図
建具表2
29
針谷建築事務所



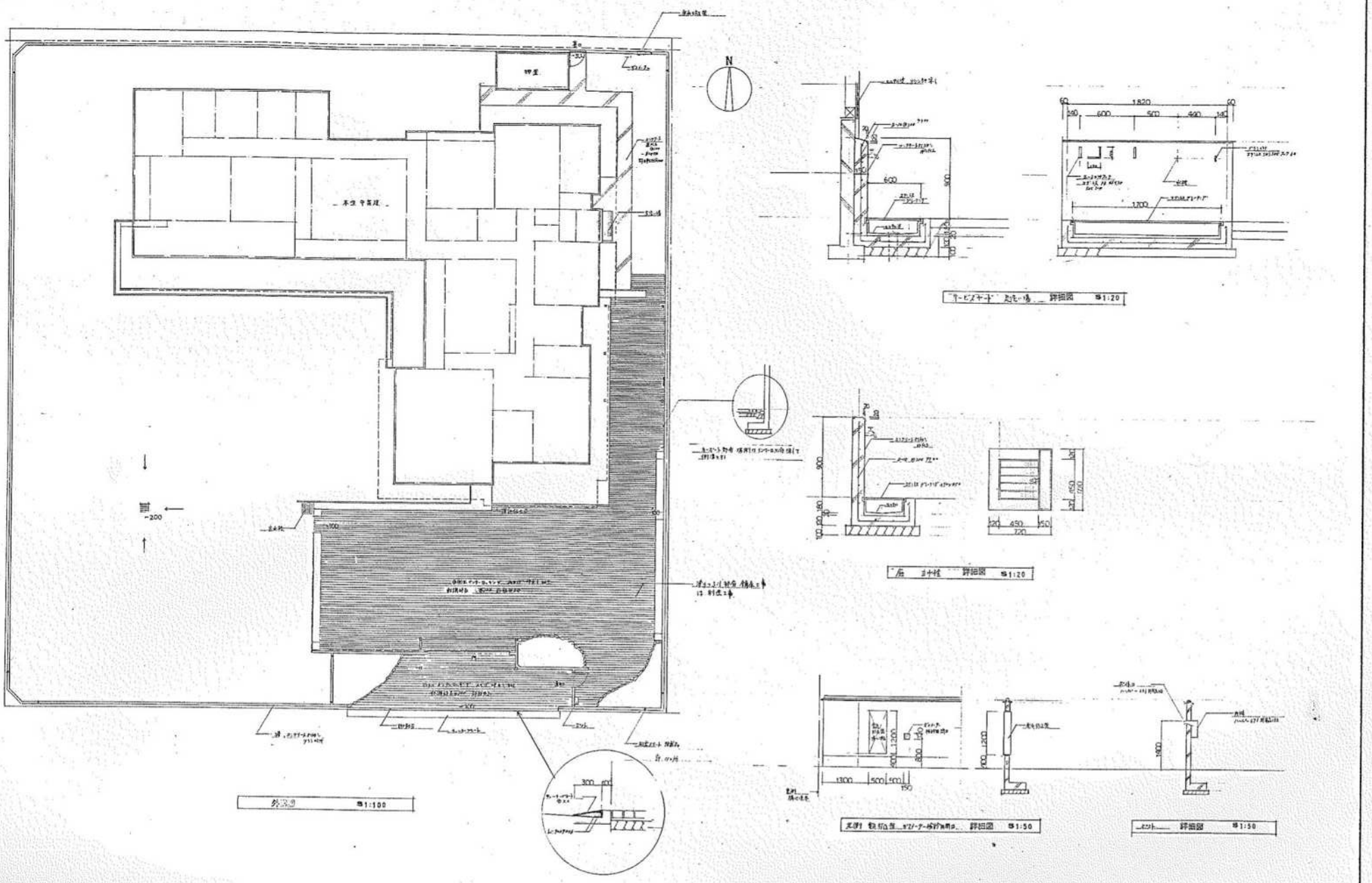
静岡県総務部管財課

昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図

建具表3

30

針谷建築事務所



縮尺不明

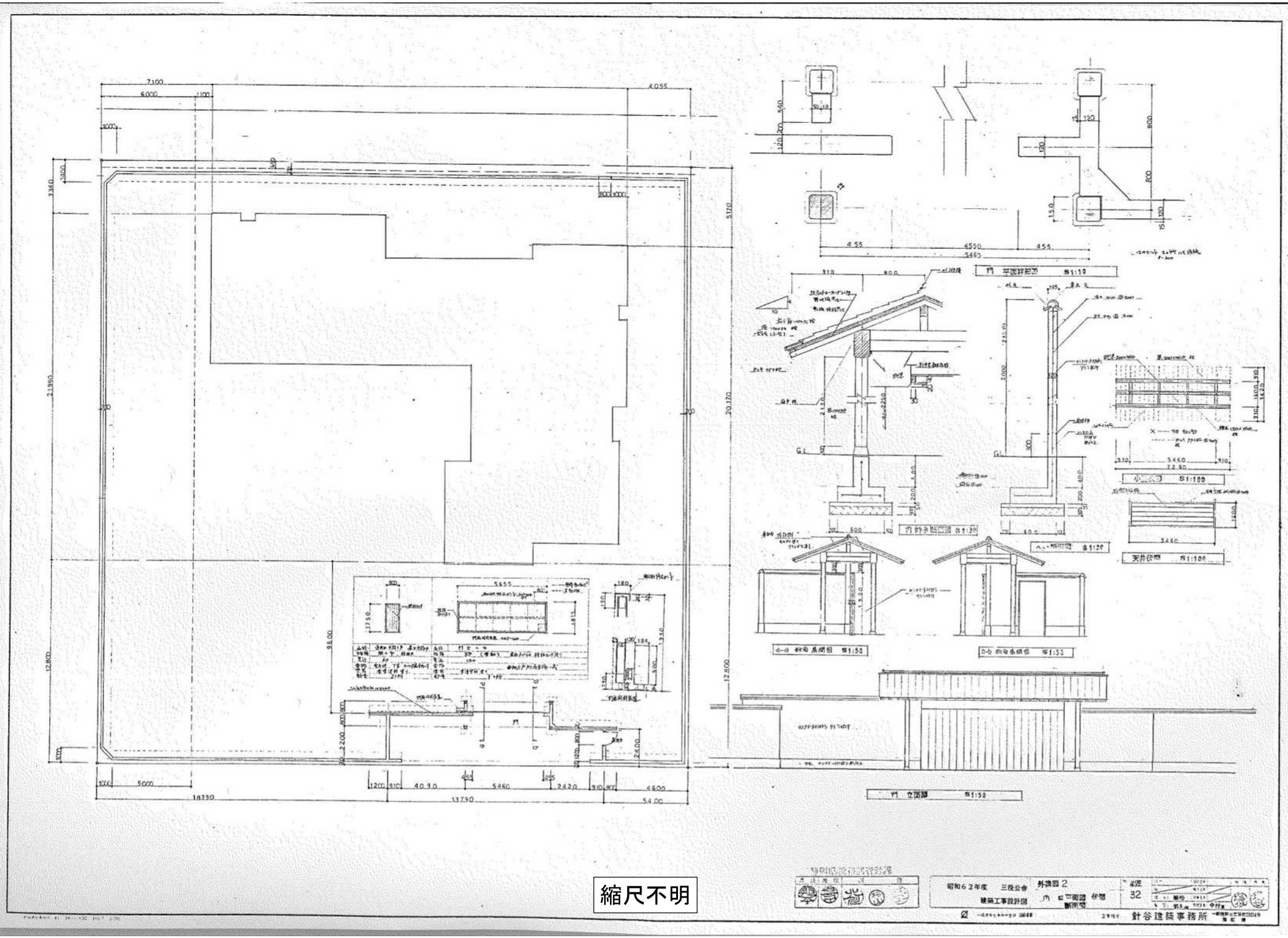
静岡県総務部管財課

昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図

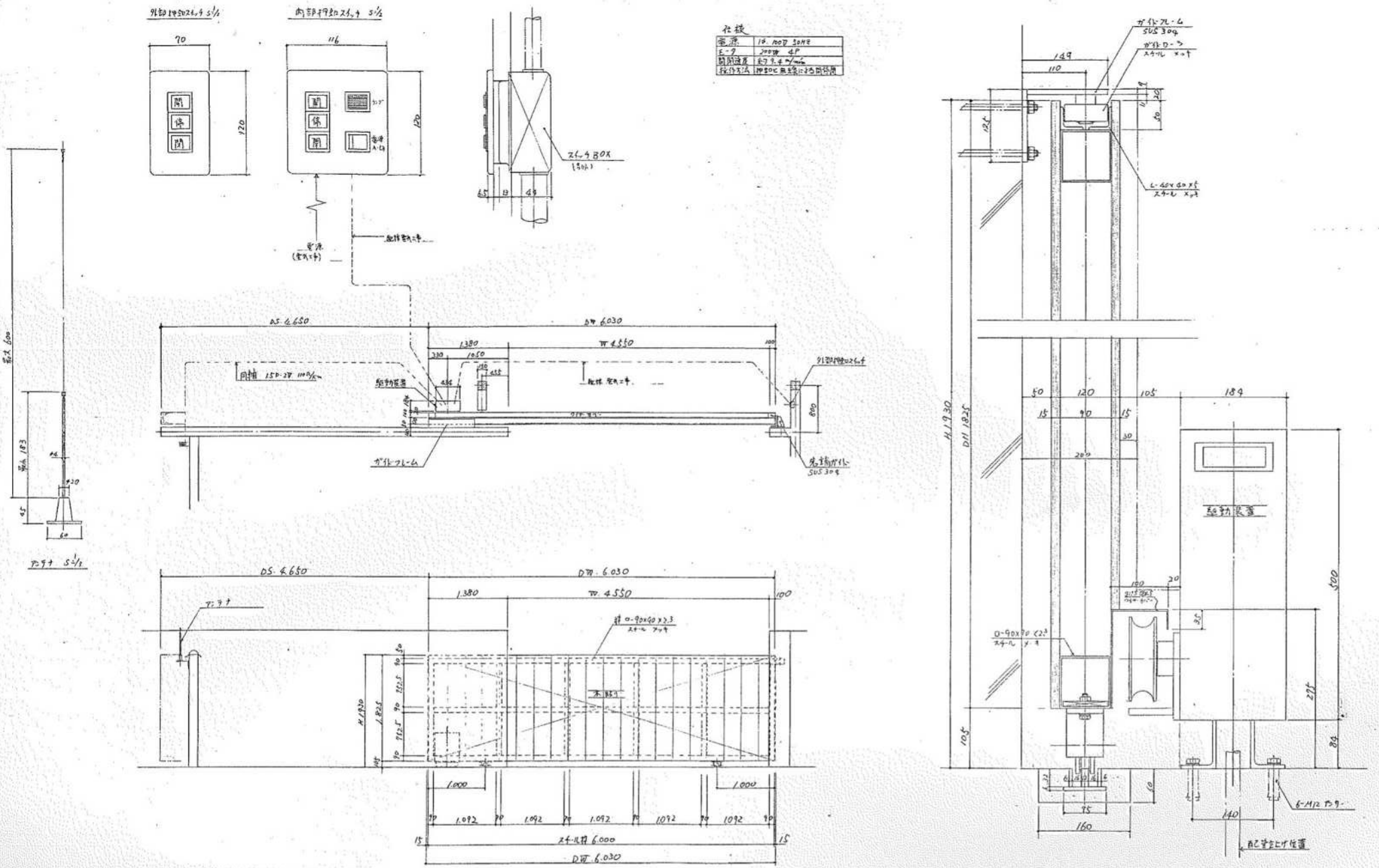
外観図 詳細図 1/100 1/20 1/50

改定 31

針谷建築事務所


門 平面詳細図 S1:10
門 鉄骨詳細図 S1:20
S1:100
天井伏図 S1:100
d-d 断面詳細図 S1:50
b-b 断面詳細図 S1:50
門 立面図 S1:50
昭和62年度 三校公舎
建築工事設計図
外構図2
32
針谷建築事務所

縮尺不明



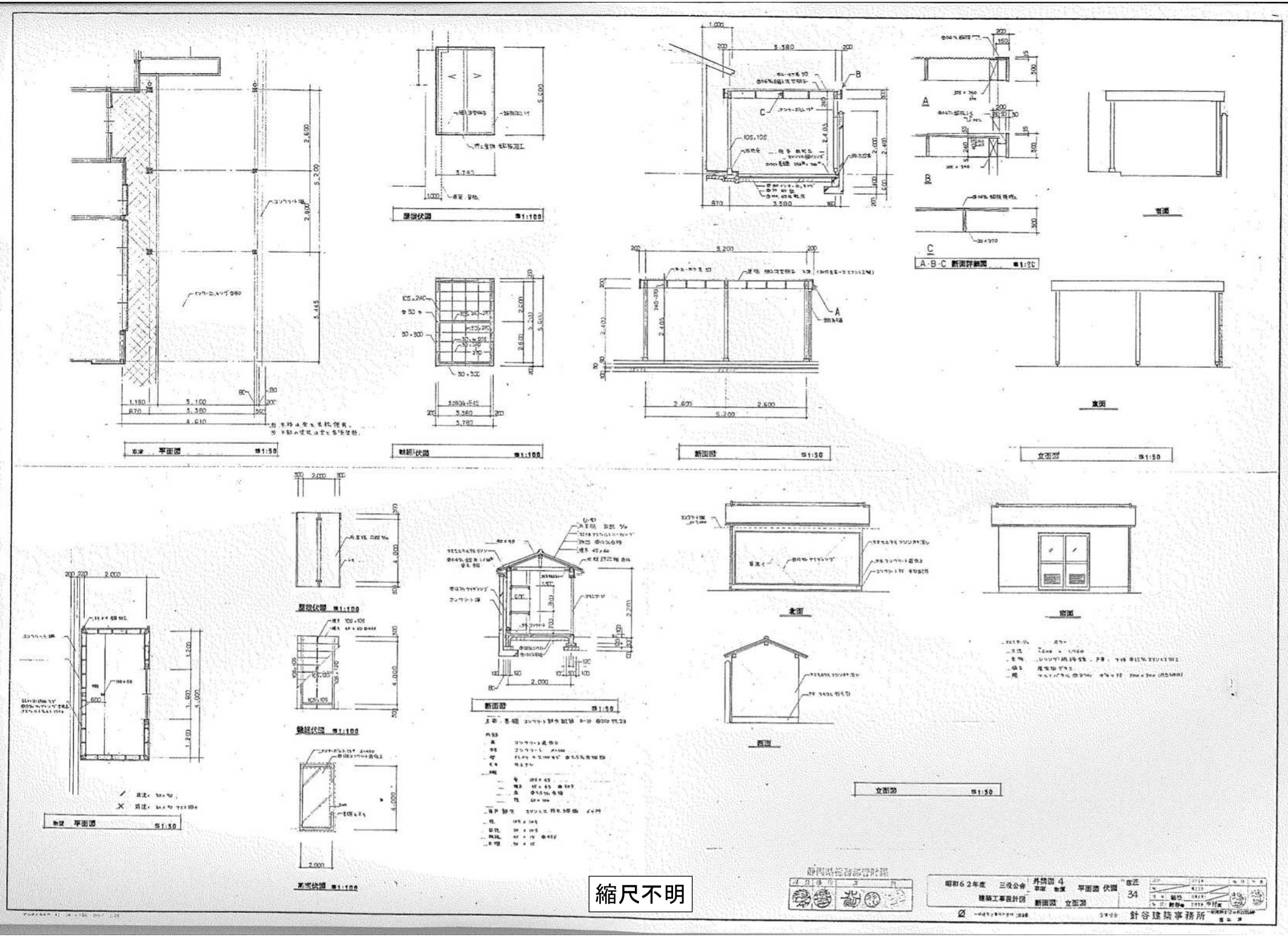
縮尺不明

昭和62年度 三役公舎 建築工事設計図

外構図 3

不燃方位金物図 33

針谷建築事務所


平面図 S1:50
屋根伏図 S1:100
躯体伏図 S1:100
断面図 S1:50
A・B・C 断面詳細図 S1:20
立面図 S1:50
基礎 平面図 S1:50
屋根伏図 S1:100
躯体伏図 S1:100
基礎伏図 S1:100
断面図 S1:50
立面図 S1:50
縮尺不明
昭和62年度 三役公舎 外構図 4
建築工事設計図
平面図 伏図
断面図 立面図
34
針谷建築事務所

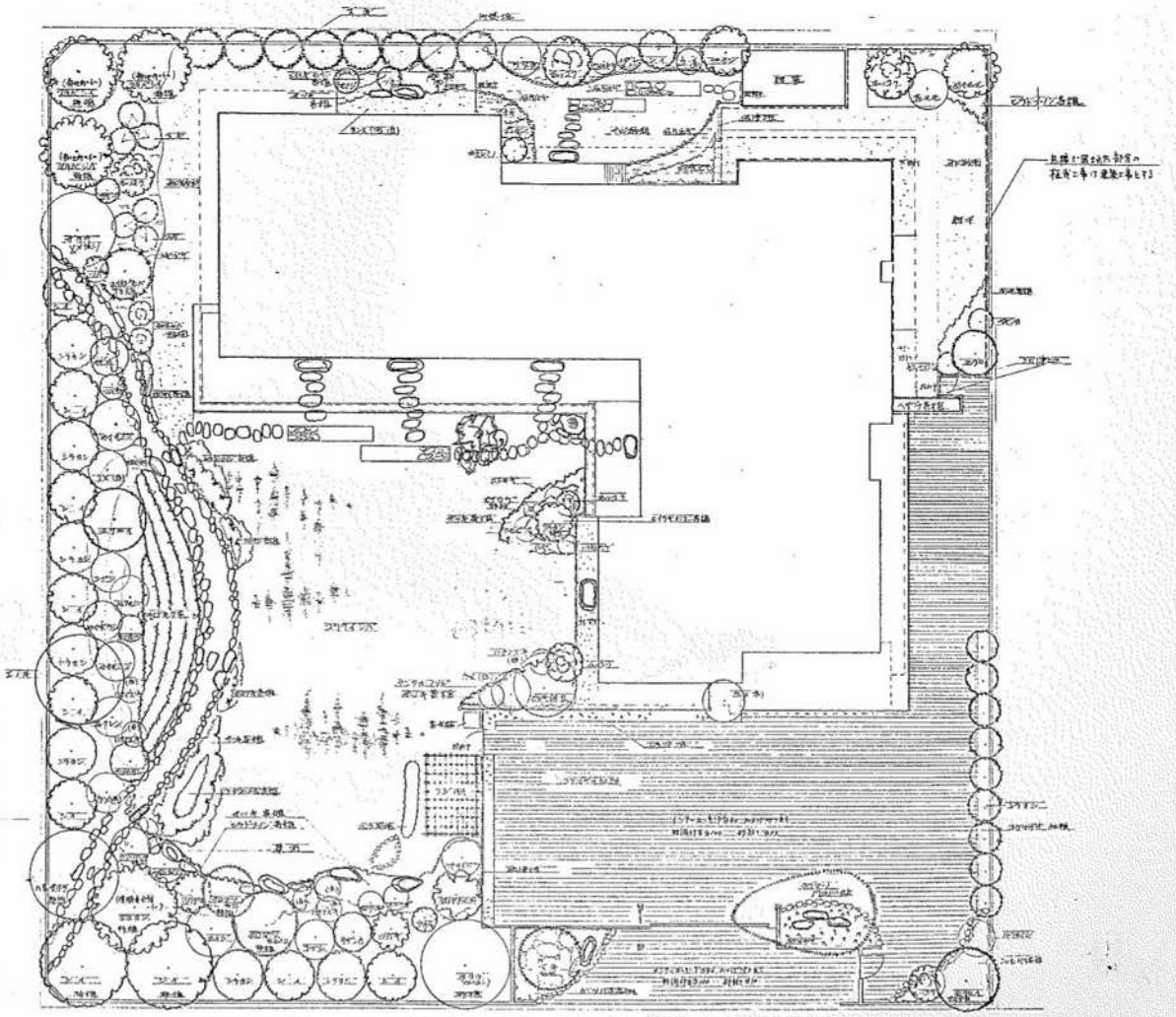
材料表

品名	規格 寸法	数量	単位	備考
ソメイヨシノ	6.0 0.63	1	本	移植 竹支柱
ハナカイドウ	2.0	1	〃	竹支柱
クロガネモチ	2.5 0.17	1	〃	移植 〃
アオキ	2.0 —	1	〃	移植 〃
ソバキ	2.5	1	〃	〃
ヒロシタ	1.0	1	株	
タニウツギ	1.0	1	〃	
イイヤンカ	2.5 0.2	1	本	移植 竹支柱
コブシ	4.0 0.3	1	〃	〃
ハイビスカス(白)	3.0 0.15	3	〃	
クロマツ(花芽付)	3.0 0.7	1	〃	移植 竹支柱
〃 〃	1.7 0.55	1	〃	移植 竹支柱
メイキバシ	2.5 0.18	1	〃	移植 〃
ソバキ	2.5 0.12	1	〃	〃
ヤルスベリ	3.0 0.15	1	〃	〃
ヤツデハキ	4.0 株立	1	株	〃
シイ	6.0 0.8	2	本	竹支柱
シラカシ	6.0 0.3	5	〃	〃
シイ	8.0 0.95	1	〃	移植 〃
〃	8.0 1.2	1	〃	移植 〃
マサキン	6.0 0.9	1	〃	移植(株立ち) 〃
ハ重ボウ	6.0 0.6			〃
ウメ(赤)	3.0 0.3	1	〃	移植 竹支柱
ナツミカン	2.0	1	〃	〃
ハイビスカス(赤)	3.0 0.15	2	〃	〃
モクレン(白)	4.0 0.2	1	〃	〃
コブシ	3.0 0.15	1	〃	〃
カンカン	1.0	1	〃	〃
ヒロボウシ	4.0 株立	1	株	〃
ムラサキシキブ	3.0 0.12	1	本	〃
コバシ	4.0 0.3	1	〃	〃
ホンモクロイ	3.5 0.5	1	〃	移植 竹支柱
ウメ(白)	2.5 0.3	1	〃	竹支柱
ガボジュウ	1.0	1	株	
ヤブムラシ	4.0 0.35	1	本	竹支柱
ソバキ	2.0	1	〃	〃
イザンカ	2.5 0.15	1	〃	移植 〃
ヤルスベリ	1.8 0.3	2	〃	移植 〃
ダイトウチク	2.5 0.02	1	〃	移植 〃
ソバキ	2.5	1	〃	〃
スギ	2.5	6	〃	〃
モッコク	3.0 0.3	1	〃	移植 〃
イザンカ	2.0 0.1	1	〃	移植 〃
ソメイヨシノ	6.0 0.35	1	〃	(株立ち) 竹支柱
マサバシイ	6.0 0.45	3	〃	移植 〃
スギ	6.0	8	〃	移植
キミシ	2.5	1	〃	竹支柱
ソバ	2.0	1	〃	〃
クロキク	3.0 竹支	3	株	
ヤブキ	1.0	1	〃	
ヒメキン	1.0	1	〃	
カイヒ	2.0	1	本	竹支柱
ウメ(赤)	3.5 0.3	1	〃	〃
モッコク	2.0 0.3	1	〃	移植 〃
ウメモドキ	2.2 0.1	1	〃	移植 〃
シダレヒイラギ	2.0	1	本	〃
ウメ(白)	2.5 0.3	1	〃	〃
サザンカ	4.0 株立	1	株	〃
○モッコク	3.5 0.5	1	本	移植 竹支柱
○カエデ	2.0	1	〃	竹支柱
○イヌツゲ	4.0 0.4	1	〃	〃
○ヒサカキ	2.0	1	〃	〃
○ホクロイ	3.5	1	〃	移植 竹支柱
○ガウイジュ	2.0	1	〃	竹支柱
シラカシ	5.0 0.3	9	〃	竹支柱
ハラボウシ	2.5	1	〃	竹支柱

品名	規格 寸法	数量	単位	備考
ウバメガシ(株立ち)	6.0 0.5	6	本	竹支柱
モクレン	6.0 0.21	1	〃	移植 〃
モッコク	2.5 0.12	1	〃	竹支柱
クロマツ(芽出し仕立)	4.0	1	〃	竹支柱
〃 〃	3.0	1	〃	〃
ウメ(赤)	2.0 0.1	1	〃	竹支柱
ウメ(白)	4.0 0.45	1	〃	移植 竹支柱
イヌマキ	6.0 株立 3.0	1	株	〃
ウメ(白)	2.5	1	本	竹支柱
ハイビスカス(白)	2.5	1	〃	〃
モッコク	3.5	1	〃	〃
マユミボウシ	2.5 0.2	1	〃	移植 〃
シラカシ	6.0 株立	1	株	竹支柱
ムクノキ	6.0 株立	1	〃	〃
ヒラクダイコク	1.0	1	〃	移植
ユキヤナギ	1.0	1	〃	移植
クロマツ	3.0 株立	1	〃	竹支柱
ミツバツツジ	2.0 0.2	1	本	移植 〃
ボケ	1.5	1	〃	移植 〃
イヌカン	6.0	1	株	竹支柱
モッコク	2.5	1	本	竹支柱
アカヒ	2.5	1	〃	移植 〃
ハギ	1.5	1	株	移植
ニシキギ	1.0	1	〃	
ベロニカ苗	0.6	500	本	25ポット
オリヒメ	0.3	400	株	9ポット
ヒラドツツジ	0.5	300	〃	15ポット
ヒイラギナンテン	0.6	50	〃	15ポット
ベタグキ	0.6	30	〃	15ポット
マツバイ	0.6	30	〃	15ポット
ドウダンツツジ	0.6	20	〃	15ポット
クチナシ	0.6	20	〃	15ポット
カンツバキ	0.3	60	〃	9ポット
コクタイ(ヒメ)		30	㎡	44ポット
ウキツゲ		10	〃	
ハコネシダ	3株分	11	〃	44/㎡
シャガンカイ	0.3	45	〃	9ポット
ハボタン(ミキシタ)	H=0.3	60	本	30ポット
エノキ	8.0 0.8	1	〃	竹支柱
コウライシバ		300	㎡	
〃				
石ロカワ(伊那産)	3分	240	袋	7.5kg×25袋
カンスイ(カ)	3分	9	袋	7.5kg×25
キビタ石	甲武石(ミキシタ)	13	t	40/m³
のべ石	秩父石	4	枚	
縁側石	60cm	200	個	
コジ石	秩父産	1	式	
踏込石	H=15	33	〃	
竹垣	H=2.0m	8	〃	
敷板		4	組	2.1×0.9×1.8
畑土		220	m³	2.1×0.9×1.8
バーク堆肥	20kg/袋	1150	袋	575/㎥ 2.1×0.9×1
竹ボチ(竹製支柱)	40cm	65	組	2.1×0.9×1
丸太支柱	竹ボチ 0.6m	33	〃	2.1×0.9×1
東京丸太	〃 1.0×2.0m	1	〃	
竹材支柱	7.5cm 竹ボチ	33	〃	
景石	甲武石 1m 25kg	33	〃	
客石	〃 H=1.5m 15kg	33	〃	
踏石	自然石	1	袋	竹炭(袋詰め)
ソクバイ	〃	1	〃	竹炭(袋詰め)

○のついている植栽は建築工事に含む

●のついている植栽は一般建築工事に含む



縮尺不明

昭和62年度 三校公舎 建築工事設計図	植栽図	縮尺 35	針谷建築事務所

昭和62年度

三役公舎造園工事設計図

造園工事 特記事項

* 植栽工事は 静岡県緑化工事 共通仕様書による
* 造園工事とは次のとおり。 樹木は 建築、電気、衛生関係工事 雨水と 地下埋設工事 等を 地下埋設工事前に 仮植えを 清水のように 植えること。
* 樹木植栽について 植栽樹木が工事完了後 引渡数以後 (1年以内に 枯死した 樹木が 発生した場合 または 枯死不良 または 枯死が 発見の 三分の二以上になった 場合または 発見の 三分の一以上を 枯死 枯れた場合)となった 場合、 請負者は 当初植栽した 樹木等と 同等または それ以上の 規格のものに 補植 又は 補充する。

縮尺不明

静岡県総務部管財課

検印	調査	課長

昭和62年度 三役公舎 造園工事設計図	表紙	No. 1	設計 / 製図 / 検図 / 監督 / 監図

一級建築士事務所 静岡県知事 [illegible]

企業組合 針谷建築事務所 一級建築士事務所 静岡県知事 [illegible]

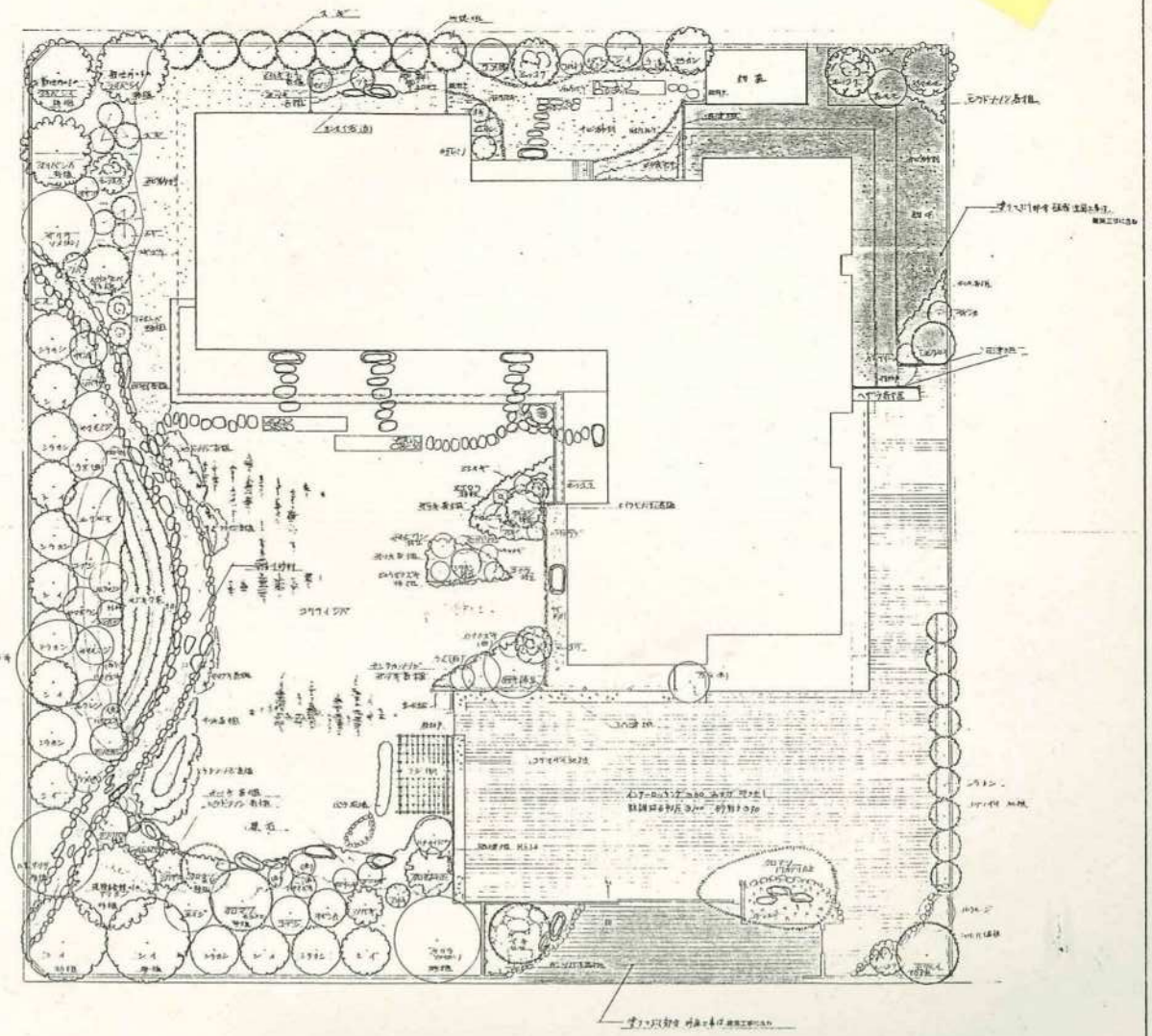
材料表

品名	規格 寸法	数量	単位	備考
ソメイヨシノ	6.0 0.63	1	本	移植 [illegible]
ハナカイドウ	2.0	1		[illegible]
クロガネモチ	2.5 0.17	1		移植
アオキ	2.0	1		移植
ツバキ	2.5	1		
モミジ	1.0	1	株	
タニウツギ	1.0	1		
ボケ(白)	2.5 0.2	1	本	移植 [illegible]
コブシ	4.0 0.3	1		
ハイビャクシン(白)	3.0 0.45	3		
クロマツ 仕立物	3.0 0.7	1		移植 [illegible]
〃 〃	1.7 0.55	1		移植 [illegible]
メタセコイア	2.5 0.18	1		移植
ツバキ	2.5 0.12	1		
サルスベリ	3.0 0.15	1		
イヌツゲ 植込	4.0	1	株	
〃 〃	3.0 0.8	7	本	[illegible]
シラカシ	3.0 0.3	5		
〃 〃	8.0 0.95	1		移植
〃 〃	8.0 1.2	1		移植
ウラボシ	6.0 0.9	1		移植
八重ボケ	6.0 0.6			
ウメ(赤)	3.0 0.3	1		移植 [illegible]
ホルトノキ	2.0	1		
ハイビャクシン(白)	3.0 0.45	2		
モクレン(白)	4.0 0.2	1		
コブシ	3.0 0.15	1		
モミジ	1.0	1		
メタセコイア	4.0 植込	1	株	
ムラサキシキブ	3.0 0.12	1	本	
コブシ	4.0 0.3	1		
[illegible]	3.5 0.5	1		移植 [illegible]
ウメ(白)	2.5 0.3	1		[illegible]
[illegible]	1.0	1	株	
メタセコイア	4.0 0.15	1	本	[illegible]
ツバキ	2.0	1		
ボケ(白)	2.5 0.15	1		移植
[illegible]	1.8 0.2	2		移植
ダイハクヒバ	2.5 0.32	1		移植
ツバキ	2.5	1		
スギ	2.5	6		
モッコク	3.0 0.3	1		移植
イヌマキ	2.0 0.1	1		移植
ツバキ	6.0 0.35	1		[illegible]
タイハクヒバ	6.0 0.45	3		移植
スギ	6.0	8		[illegible]
モミジ	2.5	1		[illegible]
ツバキ	2.0	1		
クロマツ	2.0 [illegible]	3	株	
[illegible]	1.0	1		
ガンチク	1.0	1		
カクレミノ	2.0	1	本	[illegible]
ウメ(赤)	2.5 0.3	1		
モッコク	3.0 0.3	1		移植
ウメモドキ	2.5 0.1	1	株	移植
ヒメトベラ	2.0	1	本	
ウメ(白)	2.5 0.3	1		
サカキ	4.0 植込	1	株	
○ モッコク	3.5 0.5	1	本	移植 [illegible]
○ [illegible]	2.0	1		[illegible]
○ ヤマモモ	4.0 0.4	1		
○ ボケ(白)	2.0	1		
○ [illegible]	3.5	1		移植 [illegible]
○ ガンカイジュ	2.0	1		[illegible]
ヒラカシ	5.0 0.3	9		[illegible]
ムラサキシキブ	2.5	1		[illegible]

品名	規格 寸法	数量	単位	備考
クロベ[illegible] 仕立物	3.0 0.5	4	本	[illegible]
モクレン	6.0 0.71	1		移植
モッコク	2.5 0.12	1		[illegible]
クロマツ 門冠仕立	4.0	1		[illegible]
マキ 仕立物	3.0	1		
ウメ(赤)	2.0 0.1	1		[illegible]
ウメ(白)	4.0 0.45	1		移植 [illegible]
ツバキ	6.0 根巻 3.0	1	株	
ウメ(白)	2.5	1	本	[illegible]
ハイビャクシン(白)	2.5	1		
ホルトノキ	2.5	1		
ヒメシャラ	2.5 0.2	1		移植
[illegible]	3.0 根巻	1		[illegible]
[illegible]	4.0 根巻	1		
[illegible]	1.0	1		移植
[illegible]	1.0	1		移植
[illegible]	3.0 根巻	1		
[illegible]	2.0 0.2	1	本	移植
[illegible]	1.5	1		移植
[illegible]	3.0	1	株	[illegible]
[illegible]	2.5	1	本	[illegible]
[illegible]	2.5	1		移植
[illegible]	1.0	1	株	移植
[illegible]	0.6	550	本	[illegible]
● ボケ	0.3	900	株	[illegible]
● [illegible]	0.5	300		[illegible]
[illegible]	0.6	50		[illegible]
[illegible]	0.6	20		[illegible]
[illegible]	0.6	20		[illegible]
[illegible]	0.6	20		[illegible]
[illegible]	0.6	20		[illegible]
[illegible]	0.3	60		[illegible]
[illegible]		30	m²	[illegible]
[illegible]		10		
[illegible]	3リュウ	11		[illegible]
[illegible]	0.3	45		[illegible]
○ [illegible]	H=0.3	60	本	[illegible]
[illegible]	80 0.8	1		[illegible]
[illegible]		200	m²	
● [illegible]	3分	280	束	[illegible]
[illegible]	3分	9	束	[illegible]
[illegible]	[illegible]	13	束	[illegible]
[illegible]	[illegible]	4	枚	
[illegible]	900mm	200	枚	
[illegible]	[illegible]	1	式	
[illegible]	H=1.4m	23	m	
[illegible]	H=2.0m	8		
● [illegible]		2	組	[illegible]
● [illegible]		230	m²	[illegible]
● [illegible]	20m/m	1150	束	[illegible]
● [illegible]	[illegible]	85	組	[illegible]
● [illegible]	[illegible] 0.60m	37		[illegible]
[illegible]	L=2.2m	1		
[illegible]	[illegible]	23	列	
[illegible]	H=2.5m	22	列	
[illegible]	[illegible]	52	枚	
[illegible]	[illegible]	1	基	[illegible]
[illegible]	[illegible]	1		[illegible]

○ カッコ付き 側木は 建築工事に含む

● カッコ付き 灯籠は 一般建築工事に含む



注図．植栽図 ※1:100

静岡県総務部管財課

課長	補佐	課	係

昭和62年度 三役公舎 注図 工事設計図

注図．植栽図

2

針谷建築事務所

縮尺不明

昭和62年度　三役公舎

電気設備工事設計図

静岡県総務部管財課

昭和62年度　三役公舎 電気 設備工事設計図	表紙	電気 1	設計 本部　作図 本部 検図 甲斐　承認 中村

企画設計　針谷建築事務所

電気設備工事特記仕様書

1 工事名　昭和62年度　三段公舎　電気　設備　工事

2 工事場所　静岡　郡　村字東2丁目105.106の内　先

3 建物概要

建物(棟)名称	構造	階数	延床面積	備考
住宅	木造	1	330.47㎡	
物置	〃	1	8	
サーポート	〃	1	26.44㎡	

4 工事種別　(　)内に数字のあるもの)

)受変電設備	一式	6)電気錠設備	一式		
)低圧幹線設備	一式	)			
1)電灯設備	一式	)火災報知設備	一式		
)動力設備	一式	)自動閉鎖防火設備	一式		
)避雷設備	一式	)業務設備	一式		
)自家発電設備	一式	7)防犯監視設備	一式		
)		8)テレビ共同受信設備	一式		
2)電話設備	一式	)監視制御設備	一式		
)電気時計設備	一式	)構内交換設備	一式		
)拡声設備	一式	)構内配電線路	一式		
)表示設備	一式	)構内通信線路	一式		
3)インターホン設備	一式				
4)テレビ共同受信設備	一式				
5)放送マイク共用	一式				

5 仕様

1. 設備及び特記仕様書に記載されていない事項は、建設大臣官房官庁営繕部監修　電気設備工事共通仕様書(昭和60年度版)による。
2. 設計図書に明記がない場合、又は指定される場合は、原則として監督員の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
   (1)現場説明書(現場説明に対する質疑回答書を含む。)　(2)特記仕様書
   (3)設計図　(4)内訳明細書の記載事項　(5)共通仕様書
3. 特記仕様
   (i) ○印を付けたものを適用する。
   (ii) ○印のないものは図印のものを適用する。
   (iii) ○印と図をつけたものは、共に適用する。

一般事項

①. 施工その他
(1) この工事は、工事に関係する法令、条例及び慣行等に基づいて施工する。官公署の検査を必要とする工事にあっては、工事完成時に検査済証等を提出する。
(2) 工事に関係する諸手続き、試験、検査等に要する費用は請負者の負担とする。

②. 工事用水電力等　本工事に必要な工事用電力・水等は請負者の負担とする。

③. 工事用仮設物　敷地内に作ることが　出来る　・できない

④. 施工計画書
提出を要する施工計画書
(1)総合仮設施工計画書
(2)工種別施工計画書　(○印があるもの)
・受変電設備　○電力設備工事　・自家発電設備　○通信設備工事
・防災設備工事　・監視制御設備　・拡声線路設備

⑤. 使用機材の選定　工事に使用する機材は、原則として電気・機械設備工事数材制御共通仕様(59年度版)に記載してあるところにより選定し、その工事の着手前に、使用機材(機器)概念図を監督員に提出して承諾を受ける。

⑥. 工事写真　工事写真は、共通仕様書によるほか「工事写真撮影要領」による。

⑦. 提出する完成図その他
(1)完成図　原図の他製本した図面等部3部(2つ折製本2部、B5製本1部)
その他の完成図書(保守及び利用に関する説明資料を含む)　3部。
申請書、届出書等の控え、許認可書、試験成績書　1部。
(2)完成写真　(原版はカラー)
原引延し用　1部　(工事写真帳に綴る)
○竣工説明　1部　(写サービス版　・キャビネ版)
・完成報告用　1部　(写サービス版　・キャビネ版)
別製貼り用　1部　(サービス版)
・ネガフィルム

8. かし担保期間　請負契約約款第36条第2項に定める、設計図書で周知を定める工事は次のものとする。
屋外電灯に用いる蛍光管及び自然電球(尖光電球を含む)　期間　6ヶ月

9. 発生材の処理　引渡しを要するもの(　)

共通事項

①. 土工事　共通仕様書によるほか次による。
(1) 掘削を敷設する部所は平坦に埋め戻す。
(2) 現地測し及び盛り上(○で囲むもの)
○現切り土　・現込み土(　)
(3) 残土処分(○で囲むもの)
○構内敷地し　・構内たい積　・構外搬出

②. コンクリート工事　共通仕様書によるほか次による。
(1) 図示がない場合のコンクリートの設計基準強度は180kgf/cm2以上スランプは21cm以下とする。
(2) コンクリート圧縮強度試験は、監督員の指示による。

③. 埋戻工事
(1)埋戻工事の埋地部分は、原則として掘土量の90パーセントは下の層とする
(2)屋内の埋戻部は、900mm×900mm厚さ1.5m以上の割栗とし、管材又は構成の埋戻部は割又は鋼筋割栗地盤もしくは異質鋼材とする。

④. 関連する工事との施工区分
(1) 開口補強
天井及び壁等の器具による開口部は次による。
ア) ボード、合板等の切り込み ― 天井---建築工事 / その他---本工事
イ) 金属及び木下地のすき間及び開口補強-----建築工事
(2) 躯体スリーブ補強等
コンクリート躯体のスリーブ等は次による。
ア) スリーブ入れ　---本工事
イ) スリーブ鉄筋補強　---建築工事
ウ) 分電盤等の埋入れ　---本工事
エ) 床上の鉄筋補強　---建築工事
(3) 壁のボックス取り付け用の下地　----本工事
(5) 自動閉鎖装置を取りつける防火戸の切込み、補強　----建築工事
(6) 盤、機械等の基礎
躯本工事　・別途(　)工事
(7) 配線用のトラフ、ピット
・本工事　躯別途(建築　)工事
(8) 別途機械への接続
躯本工事　・別途(　)工事
(9) 自立アンテナの基礎
・本工事　躯別途(建築　)工事

⑤. 分電盤・制御盤配電盤等　共通仕様書によるほか次による。
(1) 分電盤・端子盤及び制御配管部品のキャビネットは、壁の周部又は壁の左右に、15～25mm程の作を有するものとする。
(2) 壁の厚が、分電盤・端子盤及び制御配管部品にあっては、650mm、制御盤及び配電盤にあっては800mmをこえるものにあっては、壁は原則として両開きとする。
(3) 構造は、寸法・重量等を考慮した丈夫なものとし十分な耐久性を保つ構造とする。
(4) 盤所用の盤類は水が侵入しない構造とし、計器窓は開入りガラスとする。
(5) 盤類の塗装は、別に定めるところによるほか原則として次による。ただしこれと同等以上の性能及び仕上がりを有する方法によるときはこれによらないことができる。
ア. 下地処理(素地ごしらえ)
切断調や出角などは、塗装の塗り膜厚さが十分保られるように加工し溶接部のスラッグは完全に除去し、角凸や面は整正して、よごれ・油脂・さびなどを除去した後、りん酸塩処理する。屋内用の鋼でりん酸塩処理鋼板を用いるときは、加工時に制鋼又は損傷した処理下地を補修する。
イ. 下塗り
中塗りの付着性及び防錆効果の良いプライマー塗装を行う。
凹凸がある場合は、パテ付け等によって平らな下地をつくる。
ウ. 中塗り
上塗りの付着性が良く、平滑な仕上げを可能にするサーフェーサーとする。
エ. 上塗り(仕上げ)
次の区分によって、"2回以上の塗布をし、平滑美麗な旋付仕上げとする。
(a)屋内用の盤類は、メラミン樹脂系、アクリル樹脂系、エポキシ樹脂系等で塗装強度の高い塗料とする。
(b)盤外用の盤類は、アクリル樹脂系、エポキシ樹脂系、ポリエステル樹脂系等で、耐候耐湿性、耐薬品性が高く、塗膜強度の高い塗料とする。
オ. 見えがかり部分以外の部分については、上記(イ)のパテ付け等及び(エ)の工程は、これによらないことができる。
カ. 下塗り、中塗りの工程において、必要に応じ、水研ぎ等を行い表面を均一とする。
キ. 各工程における塗装水分は完全に乾燥して次の工程を行う。
ク. (エ)による塗色は特に指定又は指示なき場合、マンセル2.5YR/2に相当するものとする。又は指示により塗色見本を提出し、承諾を得る。

⑥. 空配管　空配管には挿入線(1.6mm以上のビニル被覆鉄線)を入れる。ただし、短小な空配管は除く。

⑦. 耐震対策
耐震施工又は耐震対策を必要とする工事は次による。
(1) 配管、配線及び機器等の耐震対策又は耐震施工は、共通仕様書によるほか地上3階以上の建築物に設置される機器・配管等は「建築設備耐震設計・施工指針」(建設省住宅局建設指導課監修)を参考にして行う。
(2) 機器の固定に関する設計用水平地震力は下表による。
なお、設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とする。

機器等の設置フロアの区分	地階、1階	2階以上の階	最上階、塔屋、屋上
耐震度の高い設備機器	0.4	1.0 (1.3)	1.5 (2.0)
その他の設備機器	0.4	0.6	1.0

( )内は、特殊変形又は、高架支持のものに適用する。
耐震度の高い設備機器は次のものを言える。
非常用発電設備(配分電盤、自家用発電装置、蓄電池設備)、電話交換設備
非常放送設備、火災及びガス漏れ受信機、防災設備監視制御
(3) その他の設備機器で100kg以下の機器なものは(1)の「設計」及び(2)にかかわらず、取付下地を入念に施工し電気的に取付ける。

⑧. 地中配線　地中配線類の防蝕には次の事項を織込みとする。
地中配線類の用途(電気、電力、通信等)、安全問題、「静岡県」

電力設備工事

①. 配線器具
(1) 通用形のスイッチ及びコンセントは、図面に表示なき場合、原則として大角形とする。
(2) フラッシュプレート(○で囲むもの)
○新合成　・ステンレス　・合成樹脂
(3) フロアプレート　水平埋設調整付　空配防止形とする。
鋼黄銅製　・アルミ製
(4) 埋材コンセント(○で囲むもの)
・上下式2P15A2ヶ口　・ファブ式2P15A2ヶ口
・ / 図による。

②. 照明器具
(1) 蛍光灯器具　(非常用照明器具、誘導灯器具を除く)
ア. 点灯方式、力率、電源電圧は、図示なき場合次表による。

直管	40W 以上	ラピッドスタート式	高力率	100V・200V
	20W 以上	グロースタータ式	高力率	100V
	15W 以下	グロースタータ式	低力率	100V
型	20W以下の防雨・防湿形	グロースタータ式	低力率	100V
環形ランプ		グロースタータ式	高力率	100V
ホームライト		グロースタータ式	低力率	100V

イ. 40W1灯用以上の器具は、別に指示がなければ電力型安定器を使用する。
ウ. ランプは次による。　鋼電電力型　・一般型
(2) 白熱灯器具
白熱電球の定格電圧は原則として110Vとする。
(3) 非常用照明器具
建築基準法の規定による非常用照明器具は次による(○で囲むもの)
・電池内蔵形　・電源別置形

③. 器具等の取付高
機器等の取付高さは次を標準とし、監督員と協議の上決定する。

器具等	部位	取付高さ m/m
取引用計器	地上－上部	2,000
引込開閉器	〃	1,800
分電盤、手元開閉器	床上－中心	1,500
	上端	1,900以下
整備形制御盤	床上－中心	1,500
スイッチ	床上－中心	1,200～1,300
コンセント(一般)	〃	300
コンセント(和室)	床上－中心	200
〃 (台上)	台上－中心	150
換気用押釦	床上－中心	1,200～1,300
ブラケット	〃	2,000～2,400

④. 予備配管　予備回路を有する分電盤については、接続分電盤の壁辺の天井内との間に予備配管を施す。

通信設備工事

①. 共通事項
(1) 電のふね
通信用ケーブルを収容する電源の1区間の屈曲部所は3箇所以内で曲げ角度の合計は180°以内とする。ただし、海岸及び電内の電線の引替えが容易に行えるように施工する場合はこの限りでない。
(2) 機器の取付高さ
機器の取付高さは次を標準とし、監督員と協議の上決定する。

	機器名	制点	取付高さ mm
電話	保安器	地上－中心	2,200
	端子盤	床上－下端	500
	住宅用ボックス(一般)	床上－中心	300
	〃 (和室)	〃	200
	〃 (洋室)	〃	1,500
時計	電波形親時計	床上－中心	1,500
		上端	1,900以下
拡声	子時計・電波スピーカー	天井面	×0.8～0.9
	電話付アッテネーター	床上－中心	\1,200～1,300
表示	表示盤	天井面	×0.8～0.9
	ブザー・ベル	〃	〃
電鈴	電鈴用住宅・押釦	床上－中心	1,200～1,300
インタホン	住宅用ボックス(一般)	床上－中心	300
	〃 (和室)	〃	200
	〃 (洋室)	〃	1,500
テレビ共聴	機器収容箱	床上－中心	1,800～2,100
	端子盤(一般)	〃	300
	〃 (和室)	〃	200

②. 電話設備
(1) 配管工事及び保安用接地は、本工事とする。
(2) フロアプレート、本工事
黄銅製、水平高低調整付(空配防止形又は工具埋付形)
(3) ローテンションスタッド、本工事
黄銅製　単一般形　・ボタン電話形
(4) フラッシュプレート(○で囲むもの)
○新合成　・ステンレス　・合成樹脂

電気時計設備工事

3. 電気時計設備
(1) 親時計　(○で囲むもの)
親時計の種類　( )親　( )子機　・壁掛形　・自立形
組込機器　・時報器　・チャイム　・プログラムタイマー
・ / 図による
(2) 子時計　次表による。

記号	仕様	記号	仕様
A	SWA33-GP B2	D	SWA33-NSPLJ1
B	SWA33-SPLB2	E	SEA33-NJ2
C	SWA33-SMB2		

拡声設備工事

4. 拡声設備
(1)増幅器　(○で囲むもの)
形式　・一般形　・非常放送用　・兼用　( )親
・卓上形　・ロッカー形　・AM、FMラジオ
・ / 図による。
定格出力　W、出力制御器　回線、入力回線その他図示
(2)マイクロホン　ダイナミック形、単一指向性、 I 級
・卓上形　・スタンド形　・ / 図による。
(4)スピーカー　次表による。

	記号	(例記)		仕様		
a		1a	3a	SW1Ⅱ－	1V3	3V3
b		1b	3b	SW2Ⅱ－	1V3	3V3
c		1c	3c	SC4Ⅱ－	1V0	3V0 －K
d		1d	3d	SC5Ⅱ－	1V0	3V0 －K
e		1e	3e	SC5Ⅱ－	1V3	3V3 －K

5. 表示装置
(1) 表示盤　/ 図による。
(2) 発信器　・埋込形(S3F－1)　・卓上形(S3Dv－1)

防災設備工事

⑥. インターホン装置
(1) 形式　ドアホン　用途
(2) 種類　さ　所数　j、3
(3) 子機　と　他 / 図による。
(4) 電源電圧　MAC100V　・(　)

⑦. テレビ共聴受信装置
(1) テレビ機器収容箱
ブースターを収容する収容箱は、共出コンセント(2P15A 2ヶ口)を内蔵し、図には、防熱に有効なガラリ等を備えたものとする。
(2) テレビ共聞受信器
VHFアンテナ　12素子　MAV－1　・AV－2
UHFアンテナ　20素子　MAU－1　・AU－2
増幅器　MMC－UV－7　・M－UV－7
増幅器　MUV－2　・UV－1
直列ユニット(中継)　MSU－7F－7　・SU－7－7
(端末)　MSU－7F－R　・SU－7－R
(3) アンテナマスト　・自立形　・壁面形　◎ [illegible]
標準個人の寸法　3000　物 / 図による。

1. 共通事項
(1) 機器設置
通信設備工事に準ずる。
(2) 機器の取り付け高さ
機器の取り付け高さは次を標準とし、監督員と協議の上決定する。

火災報知・防災設備	受信機・副受信機	床上－操作部	800～1,500
	総合盤	床上－中心	〃
	発信機	〃	〃
	ベル	天井面	×0.8～0.9
	消火栓表示灯	床上－中心	1,200～1,800

2. 火災報知装置
(1) 受信機　P型　B　回線予備電源付(壁掛形・自立形)
複合盤の場合は図示する。
(2) 副受信機　表示窓数　窓(壁掛形・自立形)
(3) 発信機　P型　B　形
(4) 蓄電池設備　・配線形　・貫出形　・埋戻性電線配線形(○で囲むもの)
(5) 消火栓ポンプ始動表示灯　・常閉　・常開と兼用

3. 自動閉鎖装置
(1) 連動制御装置　回線(複合盤の場合は図示する。)
(2) 動作仕様　(○で囲むもの)
ア. 動作方式　・多回線順次作動　・単独作動
イ. 防煙ダンパ　・手動復帰　・遠方復帰

4. 非常警報設備
(1) 非常警報設備　・埋込形　・貫出形
(2) 起動装置(押ボタン)・埋込形　・貫出形
(○で囲むもの)

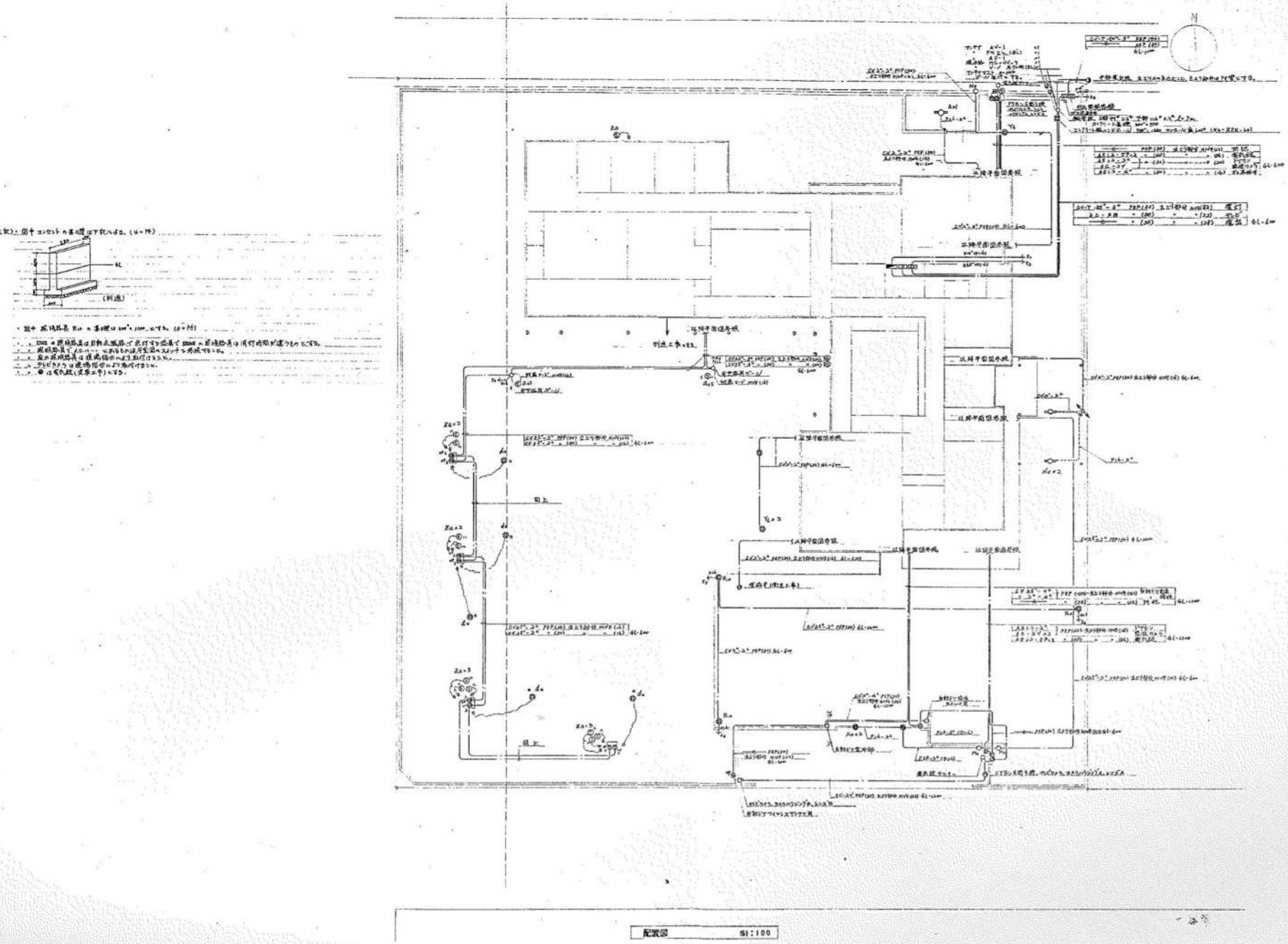
5. ガス漏れ警報設備
(1) 受信機　回線　予備電源付(・壁掛形　・自立形)
複合盤の場合は図示する。
(2) 検知器　・都市ガス　・液化石油ガス
電源　・AC100V　・DC24V
(3) 中継器　電話表示灯　・あり　・なし
(○で囲むもの)

その他

承認	検印	調査

静岡県	総務部管財課	検図	作図
昭和62年度　三段公舎　電気　設備			工事設計図
日付	縮尺 ――	図名	電気設備工事特記仕様書

図番 電気 2/7



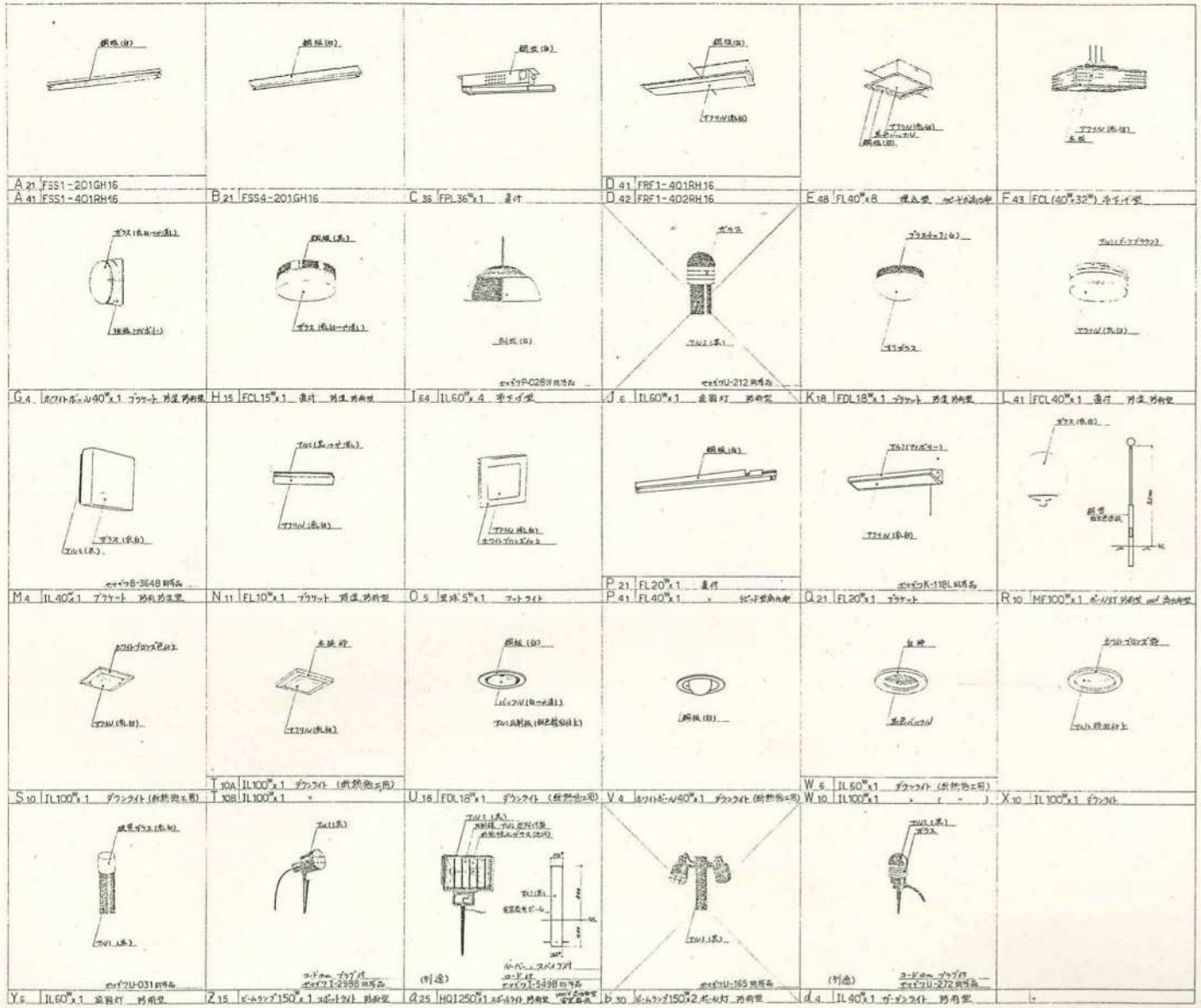
配置図　S1:100

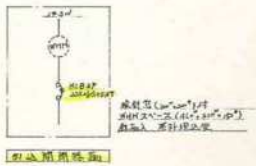
縮尺不明

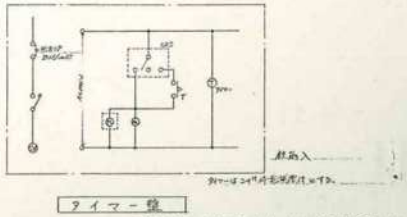
静岡県総務部管財課

昭和62年度　三役公舎	配置図	No. 3	
電気設備工事設計図			

針谷建築事務所





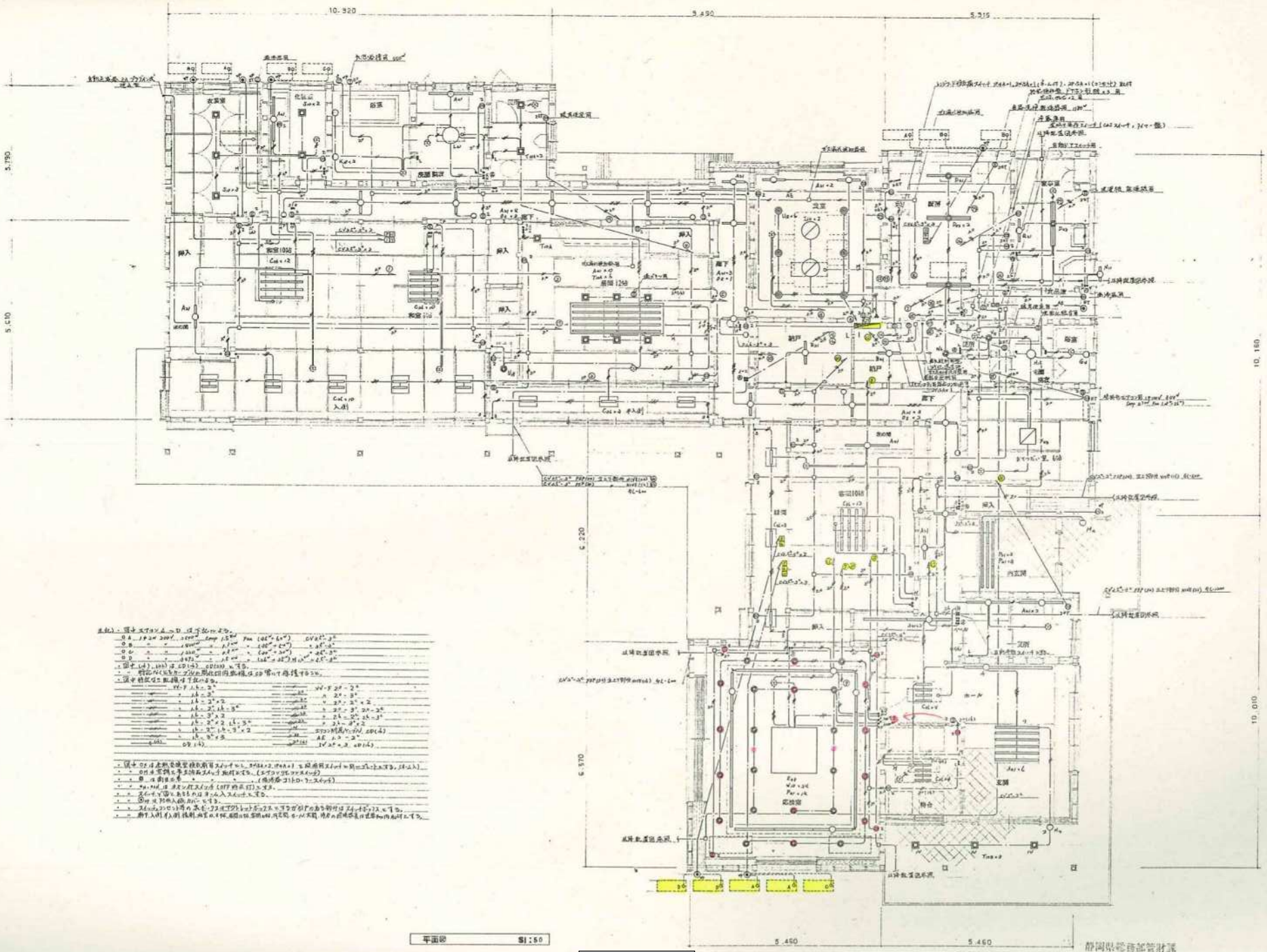


縮尺不明

静岡県総務部管財課

昭和62年度 三役公舎	照明器具姿図	縮尺	4
電気設備工事設計図	分電盤結線図		

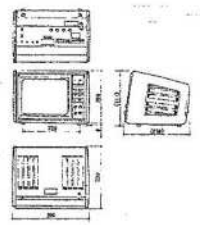
針谷建築事務所


10,920
9,490
5,315
5,790
5,610
6,220
6,570
10,160
10,010
5,460
5,460
平面図
S1:50
静岡県総務部管財課
昭和62年度 三役公舎
電気設備工事設計図
電灯設備配線図
5
針谷建築事務所

縮尺不明

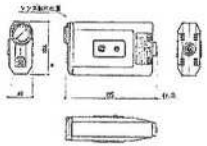
監視カメラ設備

・モニターテレビ



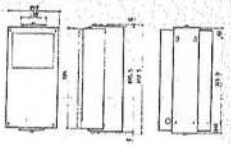
定格	
電源	AC100V
消費電力	6W
使用ブラウン管	9"(画面 [illegible])
映像入力	VS1.0Vp-p/75Ω BNC端子
映像出力	VS1.0Vp-p/75Ω BNC端子
内蔵電源表示灯	赤電源表示灯
外部入力切換	表示入力
映像切換	自動切換 [illegible]
自動切換周期	約2~4秒 (調整可能)
スキップ機能	自動スキップ (カメラのない [illegible])
スタンバイ機能	映像なしのとき [illegible]
自動連続録画	[illegible]
録画	[illegible]
録画集信号	[illegible]
水平走査周波数	[illegible]
垂直走査周波数	60Hz
走査線数	625本
同期方式	内部同期
周囲温度	[illegible]
S/N比	[illegible]
画面調整	自動絞り方式 (10mm~16mm:1)
画質調整	[illegible]
画質調整	[illegible]
映像出力	VS1.0Vp-p/75Ω BNC端子

・テレビカメラ

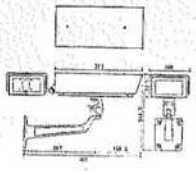


定格	
電源	[illegible]
消費電流	[illegible]
撮像管	[illegible]
トランスマウント	[illegible]
走査方式	[illegible]
水平走査周波数	[illegible]
垂直走査周波数	[illegible]
走査線数	[illegible]
同期方式	[illegible]
周囲温度	[illegible]
S/N比	[illegible]
画面調整	自動絞り方式 (10mm~16mm:1)
画質調整	[illegible]
画質調整	[illegible]
映像出力	VS1.0Vp-p/75Ω BNC端子

・カメラハウジング (屋外形) A

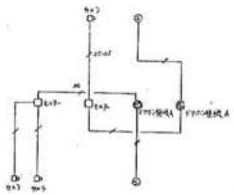


・カメラハウジング (屋外形) B



・自動絞り付望遠監視用レンズ A(広角), B(標準)

定格	A	B
適用撮像	[illegible]	
焦点距離	[illegible]	[illegible]
最大口径比	[illegible]	
撮像サイズ	[illegible]	
画角 水平	[illegible]	[illegible]
画角 垂直	[illegible]	[illegible]
最短撮影距離	[illegible]	[illegible]
マウントピッチ	[illegible]	
実物換算範囲	[illegible]	
絞り	[illegible]	
入力電圧	[illegible]	
最大消費電流	[illegible]	
入力信号	[illegible]	
入力インピーダンス	[illegible]	
絞り機構	[illegible]	
外観	[illegible]	
焦点調整	[illegible]	
絞調整	[illegible]	
絞調整	[illegible]	
マウント	[illegible]	
外形寸法	[illegible]	

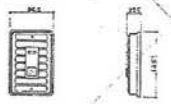


監視カメラ系ドアホン

チャイム設備

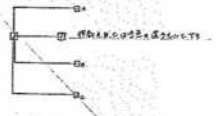
・チャイム機器

・押釦スイッチ



定格	
定格容量	AC100V 電流容量 [illegible]
動作電流	[illegible]
寸法	[illegible]
色調	[illegible]
用途	[illegible]

材質：[illegible]
色：チョコ

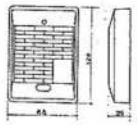


この様な系統となる。

チャイム

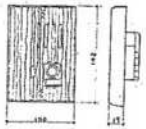
ドアホン設備

・ドアホン呼出外線スピーカ



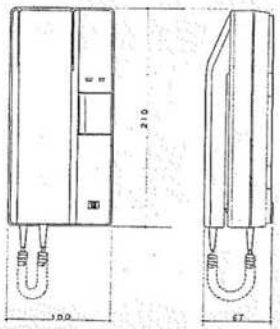
材質：ABS樹脂
色：ライトブラウン・ホワイト・ホワイトカッパーレン

・ドアホン 玄関子機



材質：アルミ合金
色：マロイカバー

・ドアホン親機 A(横幅1:3倍)
B(〃 1:3)



A.

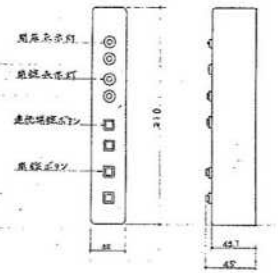
定格	
電源	AC100V 電源導入口
消費電力	最大15W 待受時3W
通話方式	電話スピーカ内蔵同時通話式
呼出方式	音階4点打鍵電子チャイム方
材質	PS HI樹脂
色調	クロスティックホワイト＋ブレーズカーントン

B.

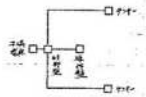
定格	
電源	AC100V 電源導入口
消費電力	最大15W 待受時3W
通話方式	電話スピーカ内蔵通話式
呼出方式	1階玄関→電源一音階4点打鍵電子チャイム方
	〃 2階 〃 一音階2点打鍵電子チャイム方
	〃 3階 〃 一音階2点電子チャイム方
材質	PS HI樹脂
色調	クロスティックホワイト＋ブレーズカーントン

電気錠設備

・操作盤



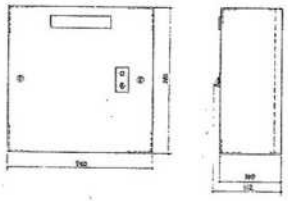
材質：PS HI樹脂
色：クロスティックホワイト＋ブレーズカーントン



この様な系統となる。

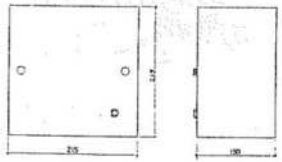
電気錠

・制御盤



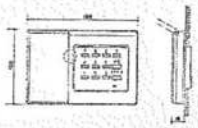
定格入力：AC100V
定格出力：DC24V
回路数：2回路
ランナー：2ヶ所

・予備電源盤



定格入力：AC100V
電池：12V7AH電池(2ヶ)
回路数：2回路

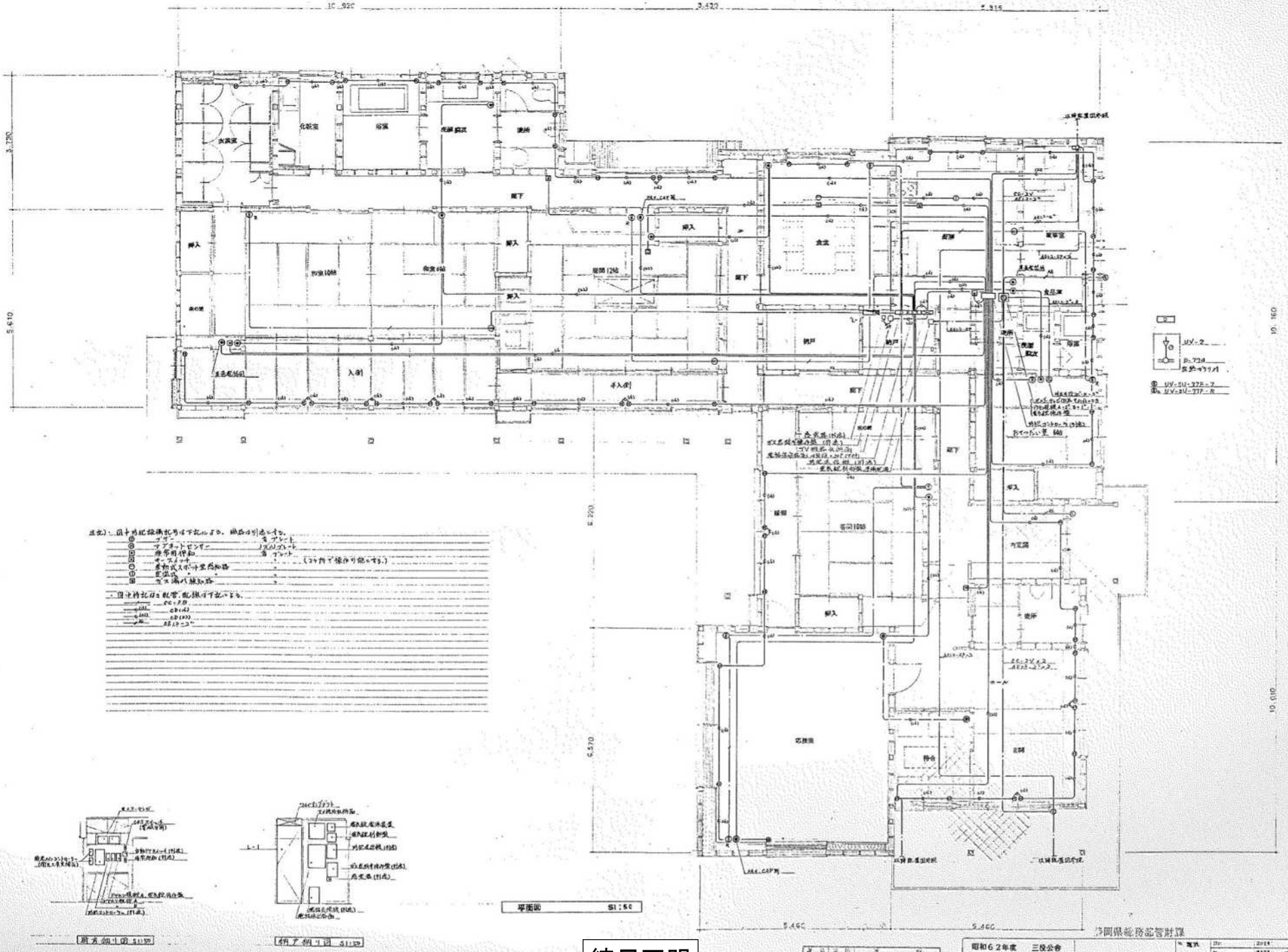
・サンキー



材質：亜鉛ダイキャスト
色：クロームメッキ
操作：キオンプッシュ
底：ゴム

寸法は寸法はすべて参考寸法とする。

縮尺不明


平面図 S1:50
昭和62年度 三役公舎
電気設備工事設計図
屋電設備配線図
7
針谷建築事務所
縮尺不明

昭和62年度　三役公舎

機械設備工事設計図

静岡県総務部管財課

昭和62年度　三役公舎 機械設備工事設計図	表紙	1	鈴木

針谷建築事務所

機械設備工事特記仕様書

昭和42年度

1. 工事名称　[illegible]工事

2. 工事場所　静岡　市　静　安東　町　17番　地内

3. 建物概要

建物名称	構造	階数	面積(㎡)	備考
住宅	木造	1	[illegible]	
〃	〃	1	8000	

4. 工事種目（（）印内に数字のあるものを適用する。）

(1) 衛生器具設備	一式	(7) ガス設備	一式
(2) 屋内給水設備	一式	(8) し尿浄化槽設備	一式
(3) 屋外給水設備	一式	(9) 空気調和設備	一式
(4) 屋内排水設備	一式	(10) 換気設備	一式
(5) 屋外排水設備	一式	( )	
( ) 消火設備	一式	( )	
(8) 給湯設備	一式	( )	

5. 仕様

1. 図面及び特記仕様書に記載されていない事項はすべて建設大臣官房官庁営繕部監修機械設備工事共通仕様書（昭和60年版）による。
2. 設計図に内容の明記がない場合、又は相違ある場合は、原則として請負の指示によるほか、次の優先順位により判定する。
   1)現場説明書　2)特記仕様書　3)設計図　4)共通仕様書
3. 特記仕様は下記による。
   1)○印をつけたものを適用する。
   2)○印のない場合は※印を適用する。

種目	項目	特記事項
一般共通事項	1. 使用器材の選定	・使用器材は静岡県土木部、都市住宅部発行の電気、機械設備工事器材製造所指定表（59年度版）に記載してあるものより選定し工事着手前に使用器材報告書を監督員に提出し承諾を受けた後使用する。
	2. 技能士	・1級及び2級技能士、又これと同等の技能者に施工させる。
	3. 工事用電力・水その他	・本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用は、すべて請負者の負担とする。
	4. 工事用仮設物	・構内につくる事が　⊙できる　・できない
	5. 計画書	・総合計画書　工事種別　⊙給水設備⊙排水設備⊙衛生器具設備・消火設備⊙給湯設備⊙空調機器設備⊙換気設備・冷暖房設備⊙防露、保温設備・
	6. 工事写真	・工事写真取扱要領による。
	7. 完成図・その他	・原図　1部　2つ折製本　2部　B5版製本　1部 完成図書（保守に関する取扱案内書等を含む）　3部
	8. 完成写真	※サービス版のカラー　※引渡し用　1箱　※官庁検査用　1箱 ネガ（・要※不要）　・実績報告用　1部　※支払用　1部
	9. 容量等の表示	・機器類の能力、容量等は原則として表示された数値以上とする。
	10. 耐震施工	・耐震施工の範囲はつぎによる。 ※地上3階以上の建物に設置される重量 100kg以上の機器 ・明記された機器＿＿＿＿＿＿＿＿
		・設計用水平地震力は、つぎに示す割増に設備機器の重量を乗じたものとする。 最上階床（屋上及び塔屋床を含む）　※ 1.0・1.5・2.0 2階床以上　※ 0.6・1.0・1.3 地階及び1階床　※ 0.4・0.6・
		・設計用鉛直地震力は、設計用水平震度の1/2とする。
		・耐震施工上の地域係数　※ 1.0　・＿＿
		・耐震施工の方法は、共通仕様書・標準図及び「建築設備耐震設計・施工指針」（建設省住宅局建築指導課監修 1982年版）による。
	11. 防振吊り金物及び防振支持金物	・設ける　65A 以上の配管（防外及びピット内等を除く。） ・冷温水　・冷却水　・蒸水
		※設けない
	12. 振れ止め支持（配管）	・振れ止め支持は、口径65A 以上の配管とし、範囲及び種別は、つぎに示す。 3階以上の建物の最上階床（屋上及び塔屋床を含む）は、A種とする。 上記以外の階は、A種又はB種とする。
	13. 建物導入部の変位吸収施工	・建物導入配管（給水、消火、ガス）は、つぎに示す十分な可とう性を有する施工を行う。 標準図建物導入部の変位吸収装置　※(a)・(b)・(c)・(d)
	14. 地中埋設標	・※設ける（標準図によるものの又は表面仕上 100mmのアルミニウム製とする。）
		・設けない
	15. 地中埋設用テープ	・設ける
		※設けない
	16. 鋼板製外部	・ライニング弁を（※使用しない　・使用する）
	17. 管の防食	・保温を施さない鋼管類で、コンクリート埋込み部及びコンクリート壁等の貫通部は、防食用ビニールテープ巻き1/2 重ね1回巻きとする。
	18. 掘削、埋もどし	・給水管、排水管等土中埋設となる部分は所定の深さまで掘削、配任し配管市設後掘削土で埋もどすものとする。 埋し盛り及び山砂、切込み砕石、切込み砂利の埋もどしは行わなくてよい。
	19. コンクリート工事	・コンクリートの設計基準強度は、明記のない場合は 180kg/㎠ 以上スランプ21以下とする。
	20. 鉄工事との取合い	・鉄筋コンクリート部の貫通箇所、開口部等のスリーブ、箱入れ等は本工事とし、補強筋及び天井壁等の下地の補強は別途工事とする。
	21. 保温工事	・保温材　※グラスウール ・防火区画貫通部　※ロックウール ・貫通部 ・ラッキング材　~~ルーフィング~~　ステンレス＿＿＿＿
	22. 塗装	・改良例使用の場合は本特記仕様書による。又防食塗は静岡県、汚水、排水、雨水等文字入りとする。
(○) 衛生器具設備	1. 大便器洗浄弁	節水機構（※有　・無）
	2. すみ付ロータンク	※形式形　・普通形
	3. 排水口	排水口型式は、（※自動　・鎖付き共栓）とする。
	4. 水栓	水栓のコマ形式は（※節水コマ　・用りコマ　・普通コマ）とする。
(○) 屋内給水設備	1. 水槽類	高置水槽　※設計図（P－　　）による。 ・標準図（P－　　）による。 ・製造者標準仕様（　　）による。
	2. 配管材料	※水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管（VB） ・水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）
	3. 量水器	水道事業者の認定品とする。
	4. 機器基礎	空気調和設備の　16項による。
(○) 屋外給水設備	1. 水槽類	受水槽　※設計図（P－　　）による。 ・標準図（P－　　）による。 ・製造者標準仕様（　　）による。
	2. 引込み給付金	※鋳　（・本工事　※別途工事）
	3. 量水器	※官用　・本工事（水道事業者の認定品）
	4. 量水器桝	※水道事業者の規格　・標準図MC形　・標準図MB形
	5. 配管材料	※水道用内外面硬質塩化ビニルライニング鋼管（VD）
	6. 配管埋設深さ	⊙本工事時埋設管埋設深さ（HIP）＿＿＿＿ 地中配管埋設深さ（※ 300mm以上　・750mm以上 ・＿＿＿＿mm以上） 舗装深度 300 mm
(○) 屋内排水設備	1. 配管材料	・水道用鋳鉄メッキ鋼管　・排水用コーティング鋼管 ・メカニカル形排水鋳鉄管　・排水用鋳管 ⊙硬質塩化ビニール管（VP）・
	2. 試験	満水試験標準　※使用しない　・使用する 満水試験　※行なわない　・行う 煙試験　※行なわない　・行う
	3. その他	ステンレス製流しの床上部分の配管は、硬質塩化ビニール管（VP）としてもよい。
(○) 屋外排水設備	1. 敷地納付金	・要（・本工事　・別途工事）　・不要
	2. 配管材料	※硬質塩化ビニール管（VP） ・遠心力鉄筋コンクリート管（外圧管1種）
(　) 消火設備	1. 配管材料	※水道用鋳鉄メッキ鋼管
	2. 屋内消火栓箱	・製造者標準仕様（　　）による。 ・標準図（P－　　）による。
(○) 給湯設備	1. 配管材料	※銅管（Mタイプ）（給湯用管） ・ステンレス鋼管
	1. ガスの種類	⊙都市ガス 5,000 kcal/Nm³　・液化石油ガス＿＿ kcal/Nm³
(○) ガス設備	2. 配管材料	地中埋設部　⊙プラスチックライニング鋼管（PLP・PLS） ・水道用亜鉛メッキ鋼管 ・配管用炭素鋼鋼管（白管） 露出部及びコンクリート埋込み部 ⊙水道用亜鉛メッキ鋼管・ ・配管用炭素鋼鋼管（白管）
	3. 配管埋設深さ	地中配管埋設深さ（※ 300mm以上　・750mm以上 ・＿＿＿＿mm以上）
	4. ガスメータ	※設置　・本工事
	5. 緊急遮断弁	⊙設ける　・設けない
	6. ガス漏れ警報器	⊙設ける　・設けない（別途工事）
	7. 試験	保持時間は：24分以上とし、記録計による測定表を提出する。 ガスボンベ転倒防止の鎖は、（※本工事　・別途工事）とする。 ガスボンベ置場のコンクリート基礎は、（※本工事　・別途工事）とする。
	8. その他	
(　) し尿浄化槽設備	1. 処理種別、構造	・単独処理　（・分離接触ばっ気方式　・分離ばっ気方式） ・合併処理　（・接触ばっ気方式　・長時間ばっ気方式 ・回転板接触方式）
	2. 処理能力	処理対象人員＿＿＿人　容量＿＿＿＿㎥/日
	3. 本体構造	※コンクリート製（・現場施工形　・ユニット形）・FRP製
	4. 放流水質	BOD＿＿＿ ppm 以下
	5. 排水方式	※自然流下　・ポンプ排水
	6. 消毒剤	錠形剤とする。
	7. 鋼管の防食	※タールエポキシ樹脂塗料3回塗りを行なう。 ・
(○) 空気調和設備	1. 設計条件（温湿度調整目標値）	夏　外：温度(DB) 32.℃　湿度(RH) 48.% 夏　屋内：温度(DB) 27.℃　湿度(RH) 60.% 冬　外：温度(DB) 0.℃　湿度(RH) 35.% 冬　屋内：温度(DB) 20.℃　湿度(RH) —.%
	2. パッケージ形空気調和機	・定格冷房能力＿＿＿＿＿＿＿＿ Kcal/h(kW)の表示は製造者標準仕様とする。 ・冷媒系統図表示は、JIS B 8615 による。
	3. 煙感知器設計	※設ける（電源は、ボイラー制御盤の運転スイッチ以降で分岐しON-OFFに関係なく常動出来るものとする。またファン専用スイッチ付とする。） ⊙設けない。
	4. 煙じん濃度測定口	※設ける。 ・設ける（口径 150mm以上でフランク付とし壁面の南端部分に設ける。）
	5. 鋼板水槽	※鋼板製　標準図（P－　　）による。 ・＿＿＿製　設計図（P－　　）による。
	6. 地下貯油槽	・据付け方法は、標準図の地下貯油槽据付け図・(1)・(2)による ・設計図（P－　　）による。
	7. 遠隔油量指示計	指示計（屋内及び屋外）はブザー付とし屋外指示計は防水形とする。
	8. 風道	※低速風道　・高速風道
	10. チャンバー等	・機械室図示されたチャンバーには、点検口（450x450）を設る ・内貼りを施すチャンバー等の、表示寸法は外寸法を示す。
	11. 吹出口・吸込口	※鋼製　⊙アルミニウム製
	13. 防煙ダンパ	復帰方式　※遠隔式 ・手元式 作動方式　※風送り防煙機構　・荷重防煙機構 ※手元復帰式　・遠隔復帰式
	14. ピストンダンパ	
	15. 圧力計・温度計	

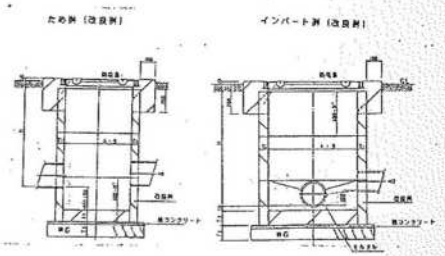
機器名		計器取付箇所（○印の箇所） 機器入口側 圧力計	機器入口側 温度計	機器出口側 圧力計	機器出口側 温度計	種別
冷凍機	冷却水	○	○	○	○	A
	冷水	○	○	○	○	A
パッケージ形空気調和機	冷却水	○	○	○	○	A
	温水	○	○	○	○	A
	chanba		○		○	B
空気調和機	冷温水	○	○	○	○	A
	chanba		○		○	B
温水ボイラ	温水		○			A
膨張（往還）			○			A

・種別A　ガード付し形又は円形
・種別B　アルドン管式（隔膜）
・円形温度計は、バイメタル式とし目盛外径は100mmとする。

16. 機器基礎	ポンプ　基礎施工要領（二）※標準基礎	・防振基礎A ・防振基礎B
	吸収冷温水機　基礎施工要領（五）※標準基礎	・防振基礎
	往復動冷凍機　基礎施工要領（六）※標準基礎B	・標準基礎A ・防振基礎
	パッケージ形空気調和機　基礎施工要領（六）※標準基礎B	・標準基礎A ・防振基礎
	ユニット形空気調和機　基礎施工要領（六）※標準基礎B	・標準基礎A ・防振基礎
	遠心送風機　基礎施工要領（三）※標準基礎	・防振基礎A ・防振基礎B

※防振基礎は市販の防振装置を使用してよい。

7. 改良例標準図



記号	A×B	H	T¹	T²	T³
RK-1	300×300	400	60	60	100
RK-2	300×300	400	60	80	100
RK-3	450×450	410 ～ 800	60	80	100
RK-4	600×600	610 ～1200	80	100	100

記号	A×B	H	T¹	T²	T³
SK-2	450×450	～ 600	60	80	100
SK-3	600×600	610 ～1200	60	100	100

8. その他

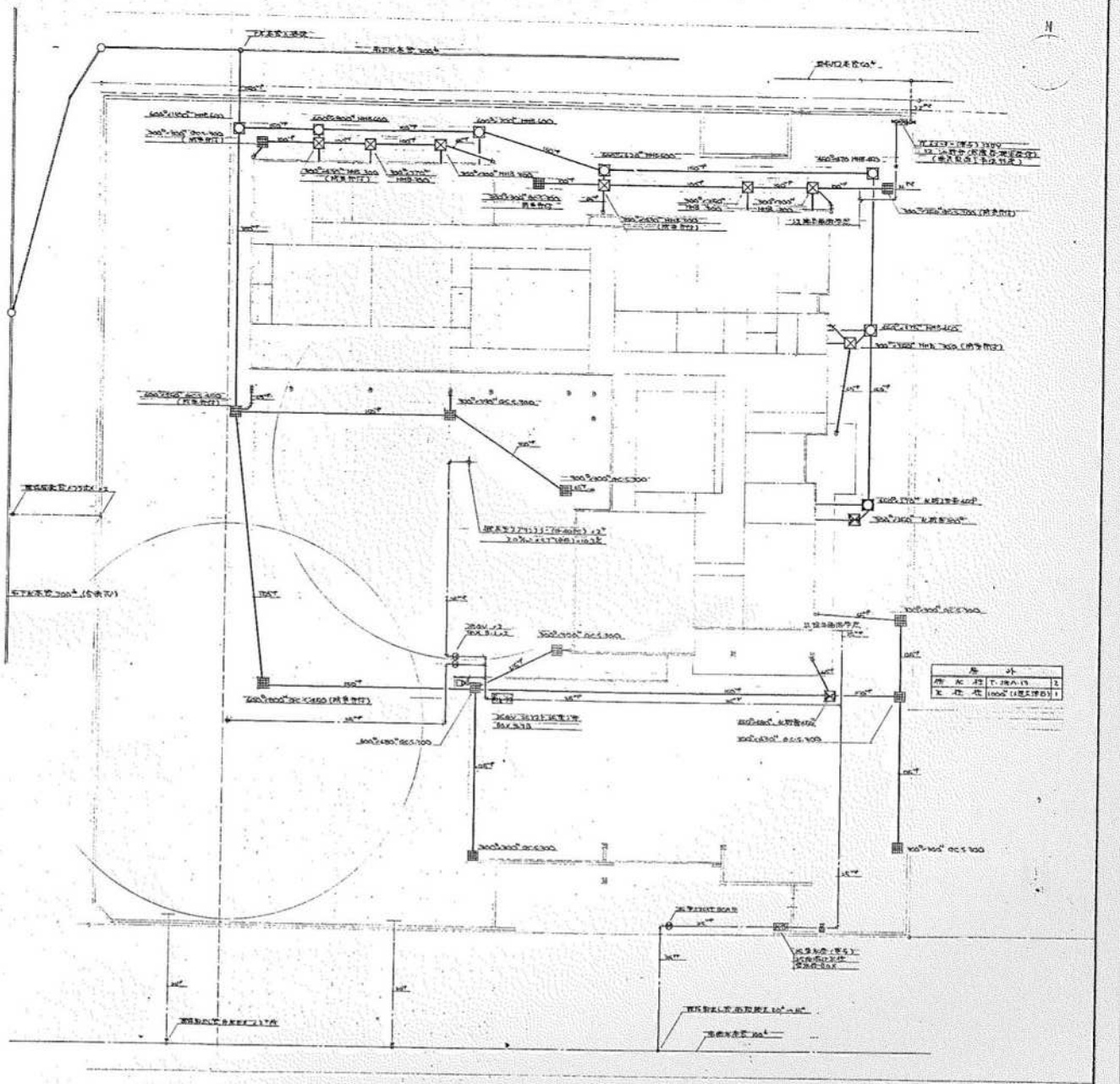
承認	検印	作成
[illegible]	[illegible]	[illegible]

所属名	静岡県都市部管財課	昭和62年度　三役公告　機械設備工事設計図	
図番	2	縮尺	図名　特記仕様書

縮尺不明

凡　例

名称	記号	仕様	規格	名称	記号	数量
給水管	—— HIP ——	水道用耐衝撃性ポリエチレン管	75W(A-K-11)相	給水栓	□	
〃	—— HP ——	水道用硬質ポリ塩化ビニル管	75(K-VU2(1相))	給湯栓	湯	
〃	—— · ——	耐熱性硬質ポリ塩化ビニル管	75W(A-K-14(VD))	消火栓箱	消	
排水管(上)	—— 1 ——	相フフ鋼管	75(K-14-3700(M))	シャワー室用	五	
〃 (下)	—— 1 ——	〃	〃	消火器置場	●	
雨水管	————	硬質塩化ビニル管	75(K-K-14(VP))	仕切弁	—H—	
ガス管	—— g HP ——	耐熱性ポリエチレン相フフ鋼管	75-9-3669	ガス栓	■	
〃	—— g ——	水道用亜鉛めっき鋼管	75-9-3662	地下式	▤	
				地上式	⊠	
				仕切弁	□	



縮尺不明

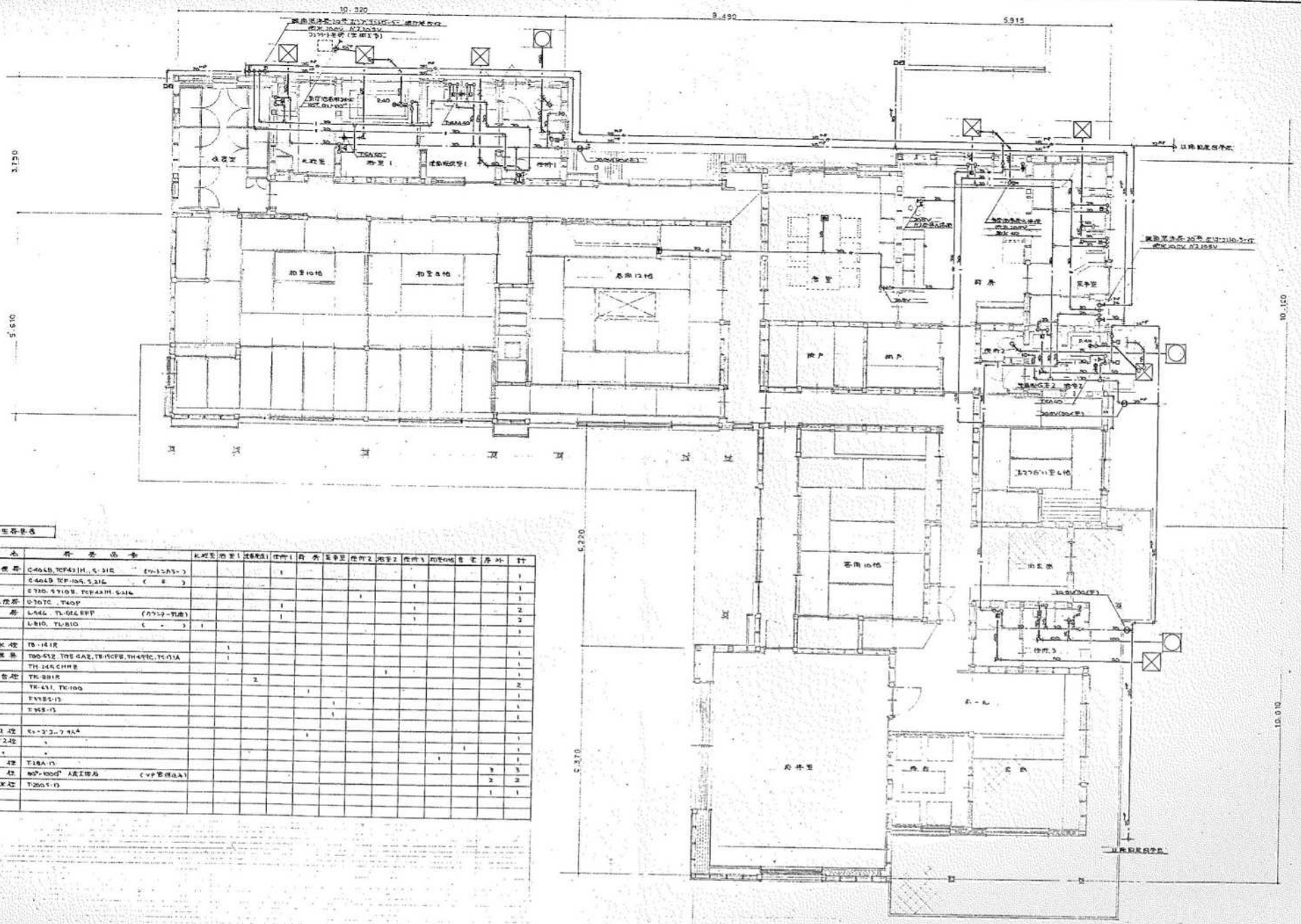
静岡県総務部管財課

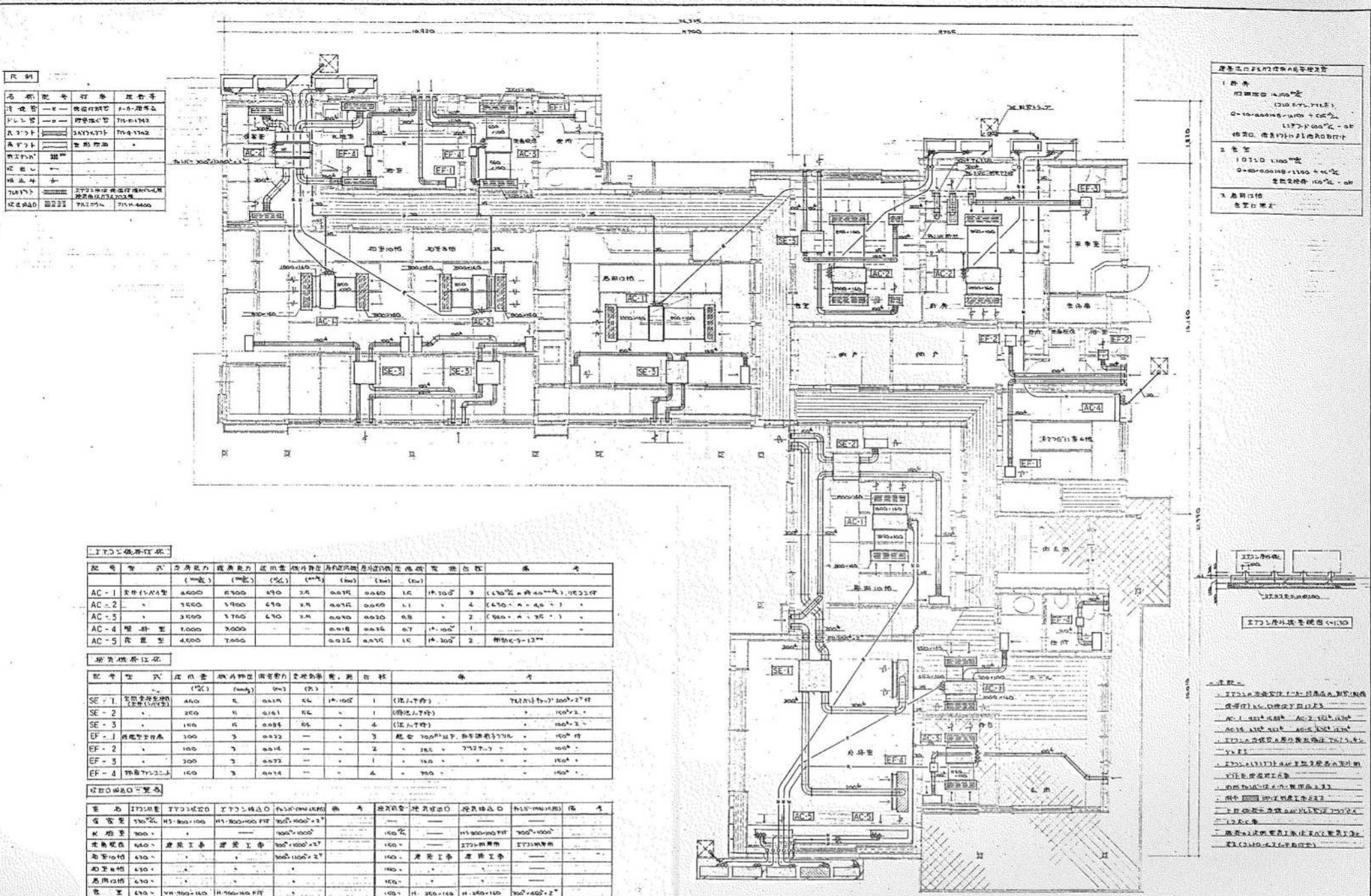
昭和62年度　三役公舎
衛生設備工事設計図

衛生配管図　S=1:100

3

針谷建築事務所


10,320
9,490
5,915
3,750
5,610
10,150
6,220
5,370
10,010
5,460
5,400
和室10帖
和室8帖
多目的室
会議室
廊下
廊下
事務室
玄関
ホール
多目的室
ホール
多目的室
和室
ホール
和室
和室
和室



名称	記号	材質	仕様等
冷媒管	—E—	銅管(被覆)	メーカー標準品
ドレン管	—D—	硬質塩ビ管	JIS-K-6742
丸ダクト		スパイラルダクト	JIS-K-3742
角ダクト		全形板金	・
吹出口			
吸込口			
排出口			
フレキダクト		エアコン接続は機器付属のもの使用	
吹出口		アルミこうし	JIS H-4000

エアコン機器仕様

記号	型式	冷房能力 (kcal/h)	暖房能力 (kcal/h)	送風量 (m³/h)	機外静圧 (mmAq)	消費電力 (kW)	電源 (φ-V)	台数	備考
AC-1	天井インバイ型	4,600	5,300	690	2.5	0.015	0.040	1.5	14.200	3	(630m³/h 内 40mmAq), リモコン付
AC-2	〃	3,550	3,900	670	2.5	0.015	0.050	1.1	〃	4	(630 〃 〃 40 〃) 〃
AC-3	〃	2,500	2,700	630	2.5	0.010	0.020	0.8	〃	2	(560 〃 〃 35 〃) 〃
AC-4	壁掛型	7,000	8,000	-	-	0.018	0.036	0.7	14.100	1	— 〃
AC-5	窓置型	4,500	7,000			0.015	0.035	1.5	14.200	2	樹脂ケーシング付

換気機器仕様

記号	型式	送風量 (m³/h)	機外静圧 (mmAq)	消費電力 (kW)	電源効率 (%)	電源	台数	備考
SE-1	全熱交換型天井埋込(天井インバイ型)	450	5	0.039	56	14.100	1	(注ノ下参)	フレキパイプ φ200×2m付
SE-2	〃	250	5	0.031	56	〃	1	(注ノ下参)	〃 φ150×2m 〃
SE-3	〃	150	5	0.024	56	〃	4	(注ノ下参)	〃 φ150×2m 〃
EF-1	排電型天井埋込	300	3	0.022	—	〃	3	給気 300m³/h以下, 熱交換機ラッシュ	〃 φ150 付
EF-2	〃	100	3	0.014	—	〃	2	〃 28.5 〃 フラッシュ 〃	〃 φ100 〃
EF-3	〃	200	3	0.022	—	〃	1	〃 150 〃 〃 〃	〃 φ150 〃
EF-4	排気ファンユニット	150	3	0.014	—	〃	4	〃 350 〃	〃 φ150 〃

吹出口・吸込口一覧表

室名	エアコン吹出口	エアコン吸込口	チャンバー(mm)(材質)	備考	換気給気口	換気排気口	換気吸込口	チャンバー(mm)(材質)	備考
保育室	750×2	H5-800×100	H5-800×100 FRP	700φ×1000×2	—	—	—	—	
K 廊下	800 〃	〃	—	700φ×1000	150φ	—	H5-800×100 FRP	700φ×1000	
玄関廊下	450 〃	建築工事	建築工事	700φ×1000×2	150 〃	—	エアコン用兼用	エアコン用兼用	
和室10帖	450 〃	〃	〃	700φ×1000×2	150 〃	建築工事	建築工事	—	
和室8帖	450 〃	〃	〃	〃	100 〃	〃	〃	—	
居間12帖	450 〃	〃	〃	〃	150 〃	〃	〃	—	
食堂	450 〃	VH-700×150	H-700×150 FRP	〃	150 〃	H-350×150	H-350×150	700φ×400×2	
厨房	450 〃	〃	〃	〃	600 〃	H5-400×150	—	700φ×800	必要なし
各室10帖	450 〃	建築工事	建築工事	〃	250 〃	建築工事	建築工事	—	
応接室	1,250 〃	〃	〃	—	450 〃	H-1000×100	H-1000×100	700φ×1000×2	
事務	500 〃	〃	〃	700φ×800×2	150 〃	—	建築工事	—	
ホール	480 〃				—	—	—	—	
便所	450 〃				150 〃	—	建築工事	—	

注記. 上記ダクトは, フィルター工事なし, ラッシュボード(メラミン)(樹脂)とする.

縮尺不明

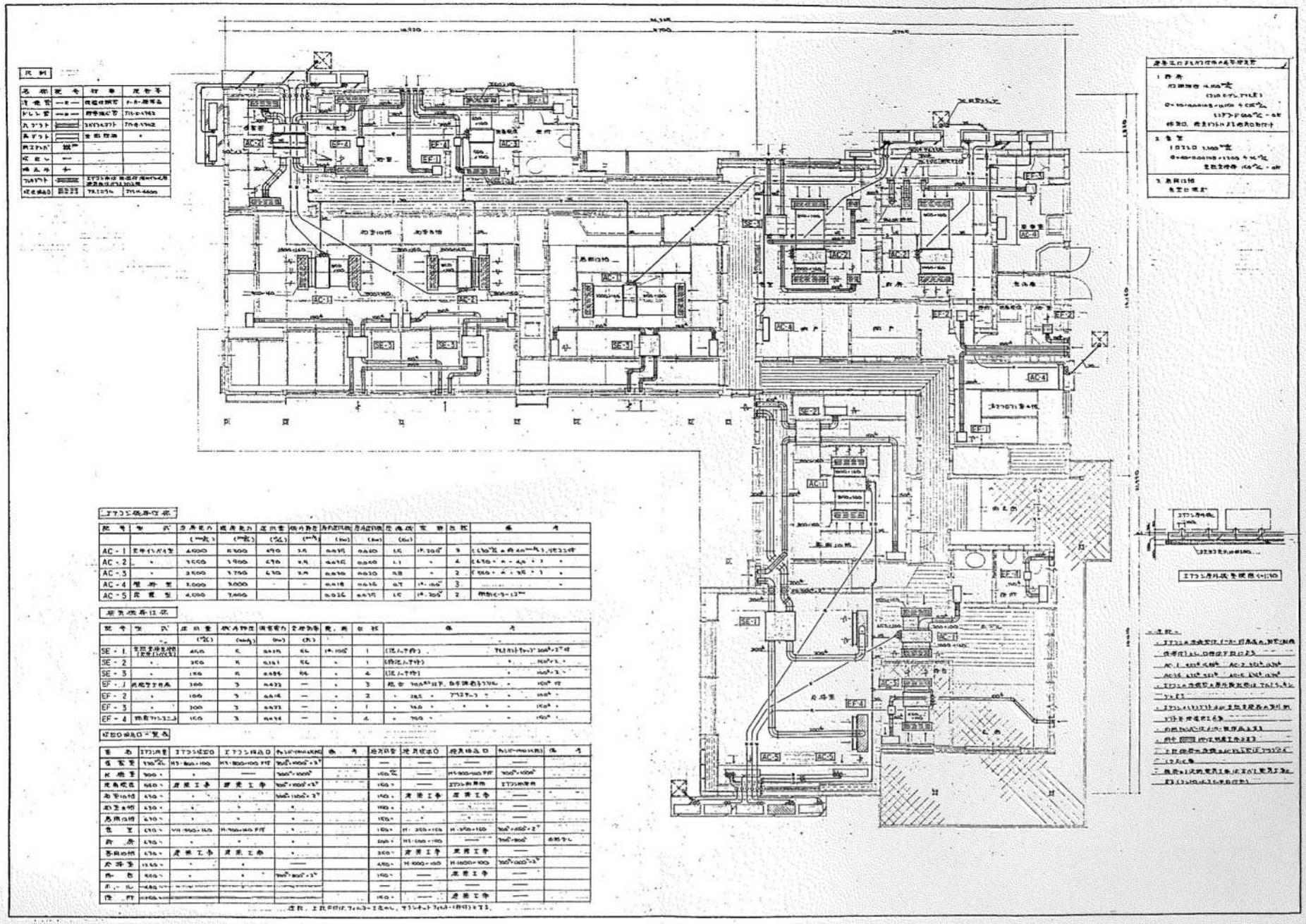
静岡県総務部営繕課

昭和62年度 三役公舎 機械設備工事設計図

縮尺 1:100

5

針谷建築事務所



縮尺不明

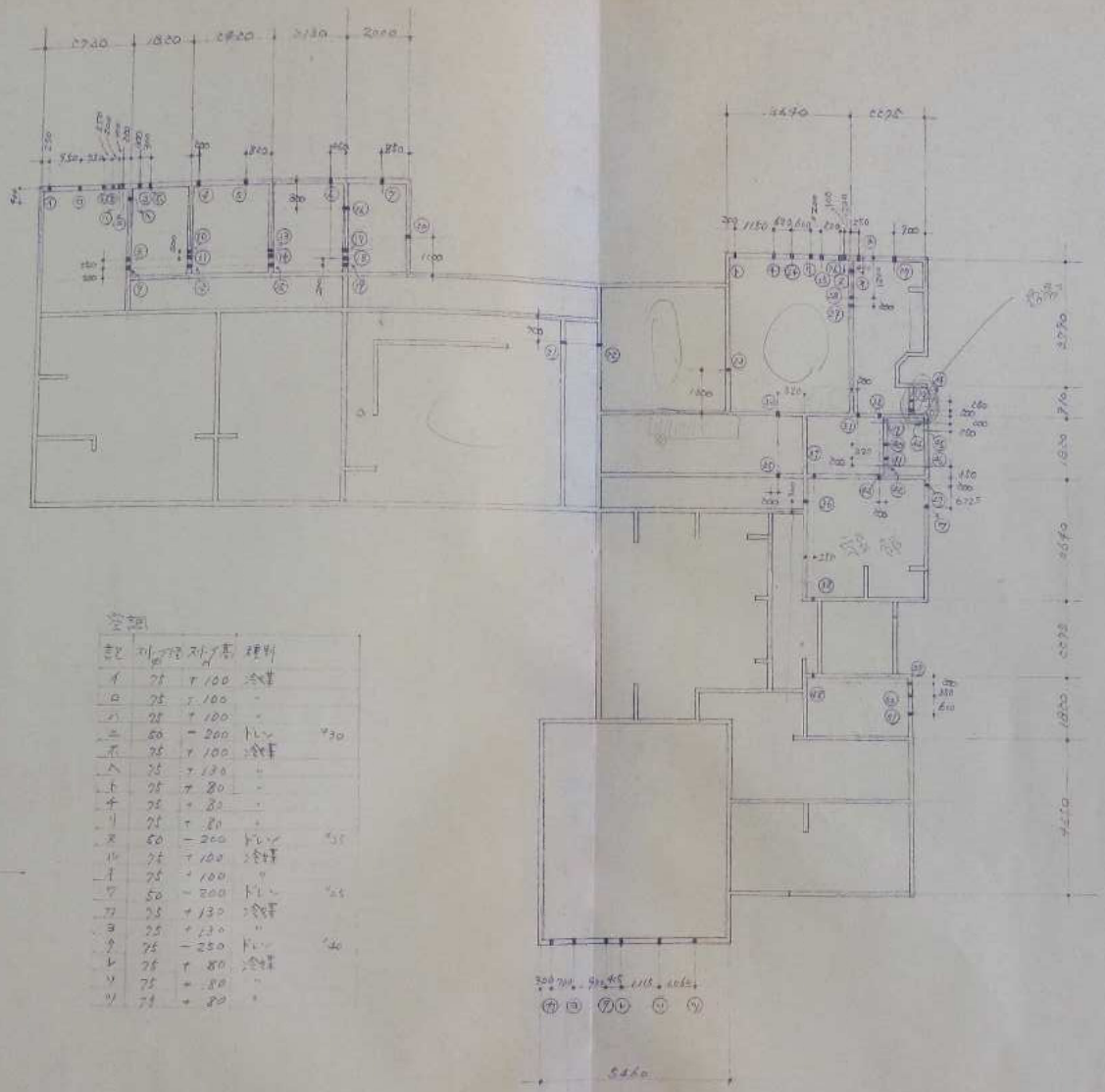
完成図

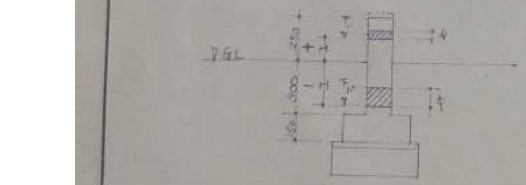
昭和62年度

三役公舎機械設備工事

施工者 株式会社 鈴木設備工業所

特記事項





空調

記号	材質	寸法	寸法	種別	
イ	25	+ 100		冷媒管	
ロ	25	+ 100		〃	
ハ	25	+ 100		〃	
ニ	50	− 200		ドレン	930
ホ	25	+ 100		冷媒管	
ヘ	25	+ 130		〃	
ト	25	+ 80		〃	
チ	25	+ 80		〃	
リ	25	+ 80		〃	
ヌ	50	− 200		ドレン	955
ル	25	+ 100		冷媒管	
ヲ	25	+ 100		〃	
ワ	50	− 200		ドレン	955
カ	25	+ 130		冷媒管	
ヨ	25	+ 130		〃	
タ	25	− 250		ドレン	940
レ	25	+ 80		冷媒管	
ソ	25	+ 80		〃	
ツ	25	+ 80		〃	

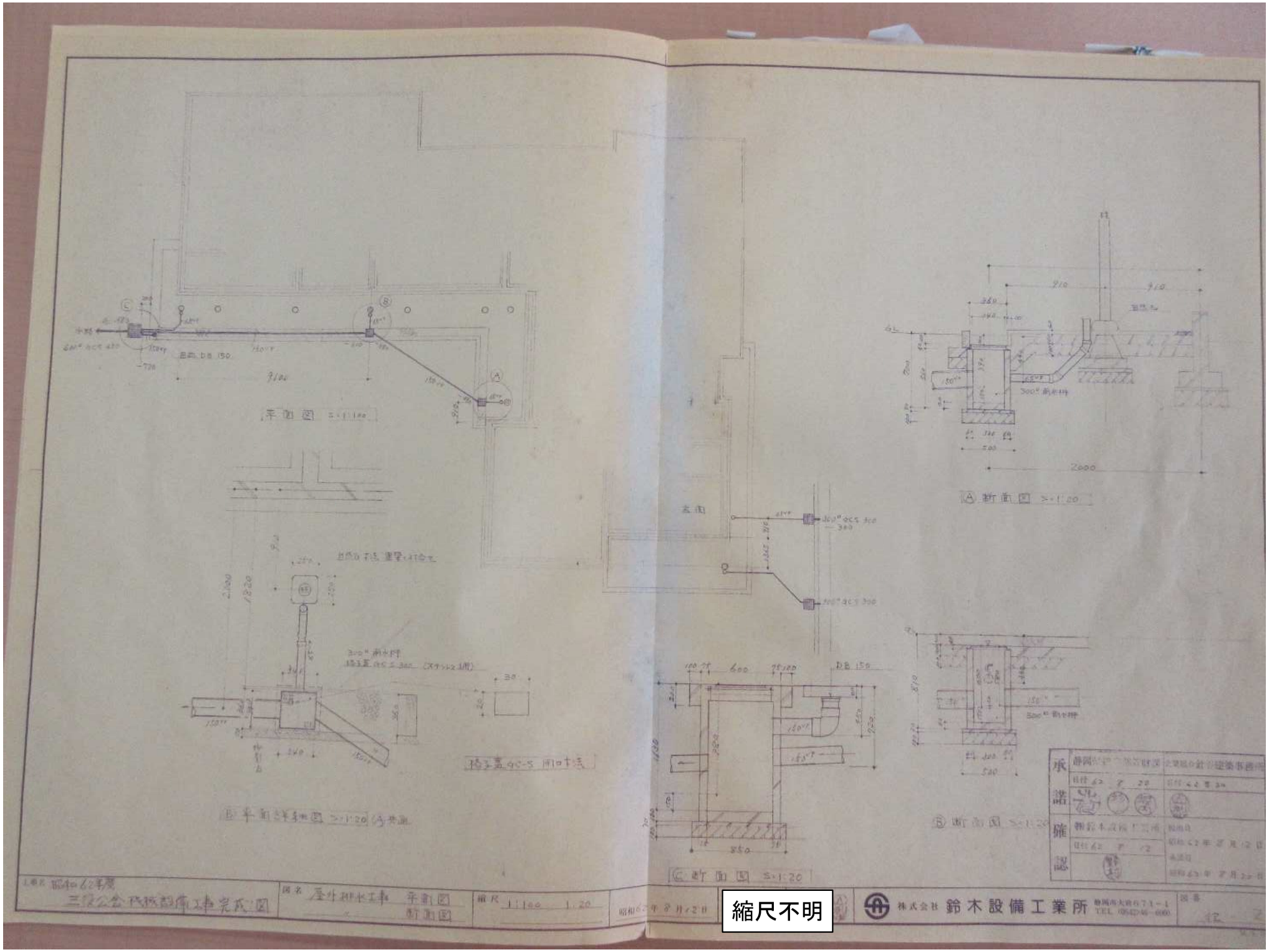
給排水 給湯 ガス

記号	材質	寸法	寸法	種別	本管径	
1	50	+ 150		給水	50	
2	〃	+ 150		給湯	50	
3	25	− 300		排	50	
4	100	− 300		〃	65	
5	25	− 300		〃	50	
6	〃	− 300		〃	65	
7	150	− 300		汚	100	
8	50	+ 150		給汚	50	
9	〃	+ 150		〃	50	
10	〃	+ 150		〃	50	
11	〃	+ 150		給汚	50	
12	〃	+ 150		〃	50	
13	〃	+ 150		〃	50	
14	〃	+ 150		給汚	50	
15	〃	+ 150		〃	50	
16	〃	+ 150		〃	50	
17	〃	+ 150		〃	50	
18	25	− 250		排	40	
19	50	+ 150		給湯	50	
20	〃	− 250		〃	50	
21	〃	+ 150		〃	50	
22	〃	+ 150		〃	50	
23	〃	+ 150		〃	50	
24	100	− 300		排	65	
25	25	− 300		〃	40	
26	50	− 300		〃	50	
27	100	− 300		排	65	
28	50	+ 150		〃	50	
29	〃	+ 150		給汚	50	
30	〃	+ 150		〃	50	
31	〃	+ 150		〃	50	
32	〃	+ 150		〃	50	
33	〃	+ 150		給湯	50	
34	〃	+ 150		〃	50	
35	〃	+ 150		〃	50	
36	〃	+ 150		〃	50	
37	〃	+ 150		〃	50	
38	〃	+ 150		〃	50	
39	気管	− 550		排	75	ベース下
40	50	+ 150		〃	50	
41	〃	+ 150		給汚	50	
42	気管	+ 100		排	50	ベース下
43	50	+ 150		〃	50	
44	気管	− 870		排	75	ベース下
45	〃	− 820		排	50	ベース下
46	〃	− 820		〃	50	ベース下
47	50	− 300		排	50	
48	〃	+ 150		給汚	50	
49	〃	− 300		〃	50	
50	150	− 300		排	100	
51	75	− 300		排	50	

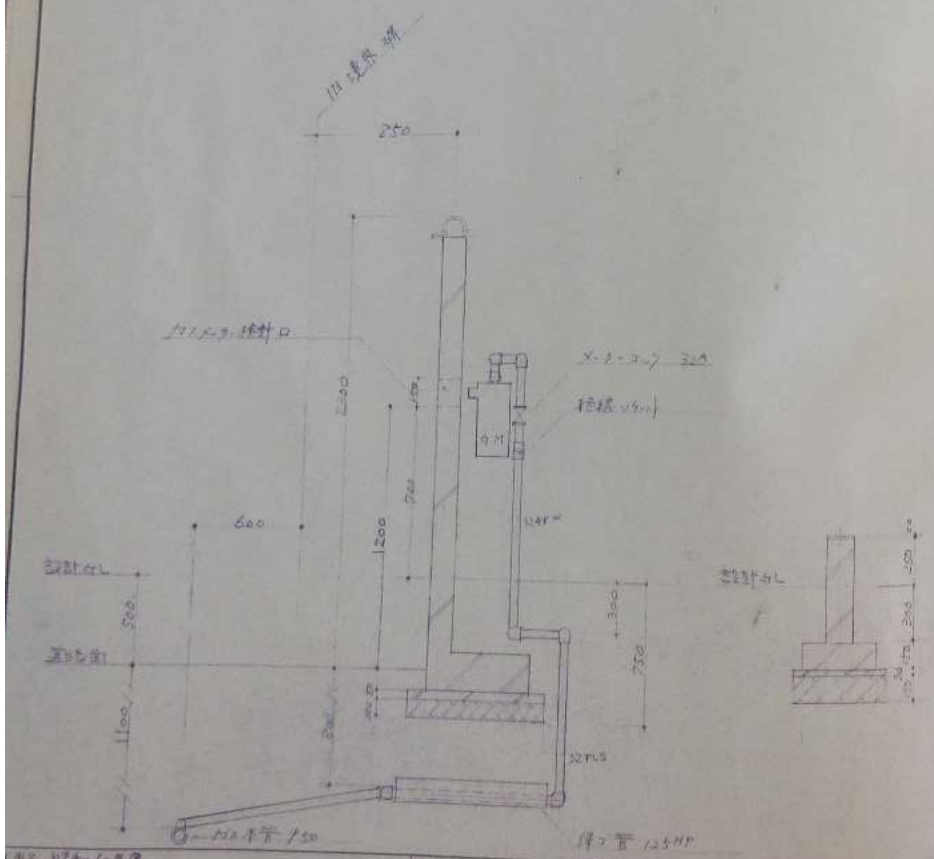
承諾	静岡県建築部営繕課	静岡県企業局建設事務所
	日付 62 7 28	日付 62 7 25
確認	鈴木設備工業所	鈴木設備工業所
	日付 62 7 23	昭和62年7月28日

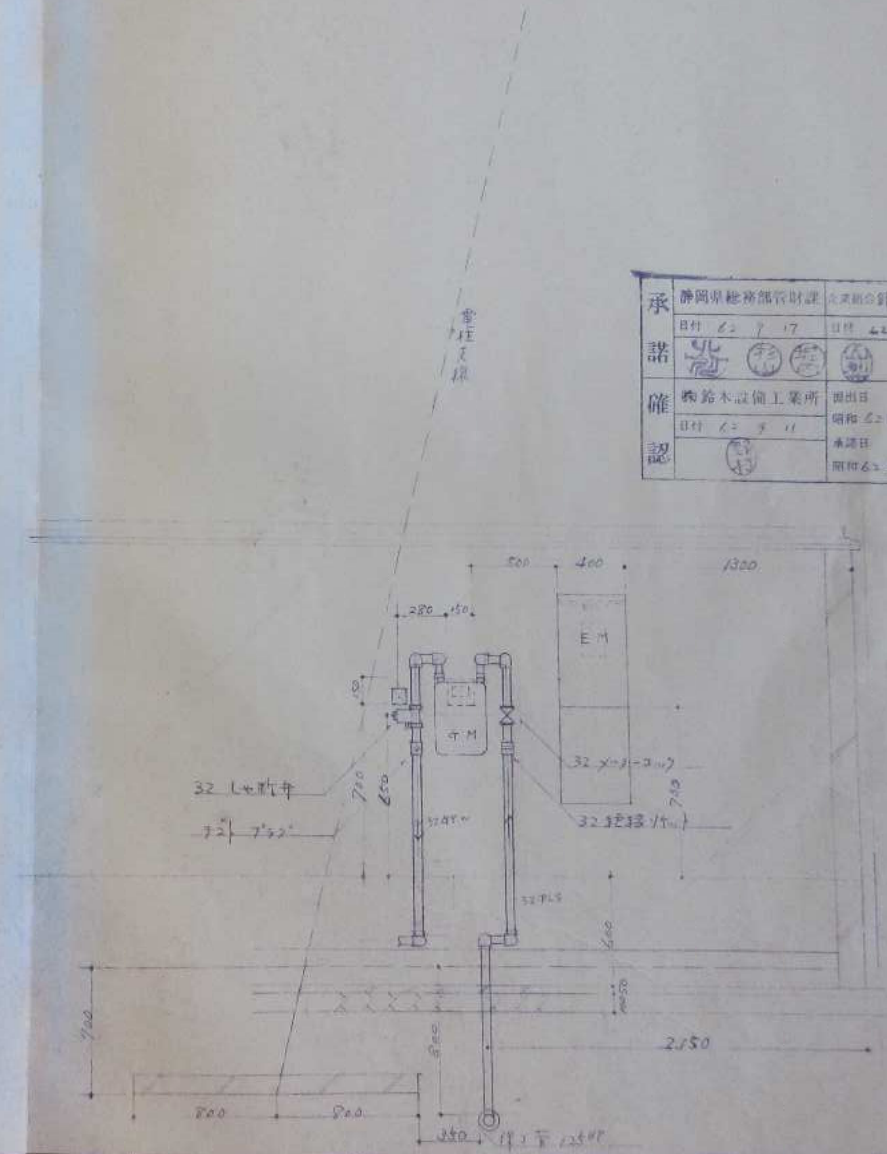
工事名	図名	縮尺			図番
昭和62年度 三保公舎機械設備工事 完成図	基礎プレート図	1/100	昭和62年7月25日	縮尺不明	空 1

株式会社 鈴木設備工業所 静岡市大岩町71-1 TEL (054243)-6000


平面図 S=1:100
Ⓐ 断面図 S=1:20
Ⓑ 平面詳細図 S=1:20
Ⓑ 断面図 S=1:20
Ⓒ 断面図 S=1:20
左側
DB 150
9100
2000
600
850
300φ 耐水門
蓋付蓋 GC-5 開口寸法
承諾
確認
昭和62年度
三保公会 機械設備工事 完成図
屋外排水工事 平面図 断面図
縮尺 1:100 1:20
昭和62年 8月28日
株式会社 鈴木設備工業所
静岡市大岩671-1
TEL (0542)46-6000
図番 12

縮尺不明

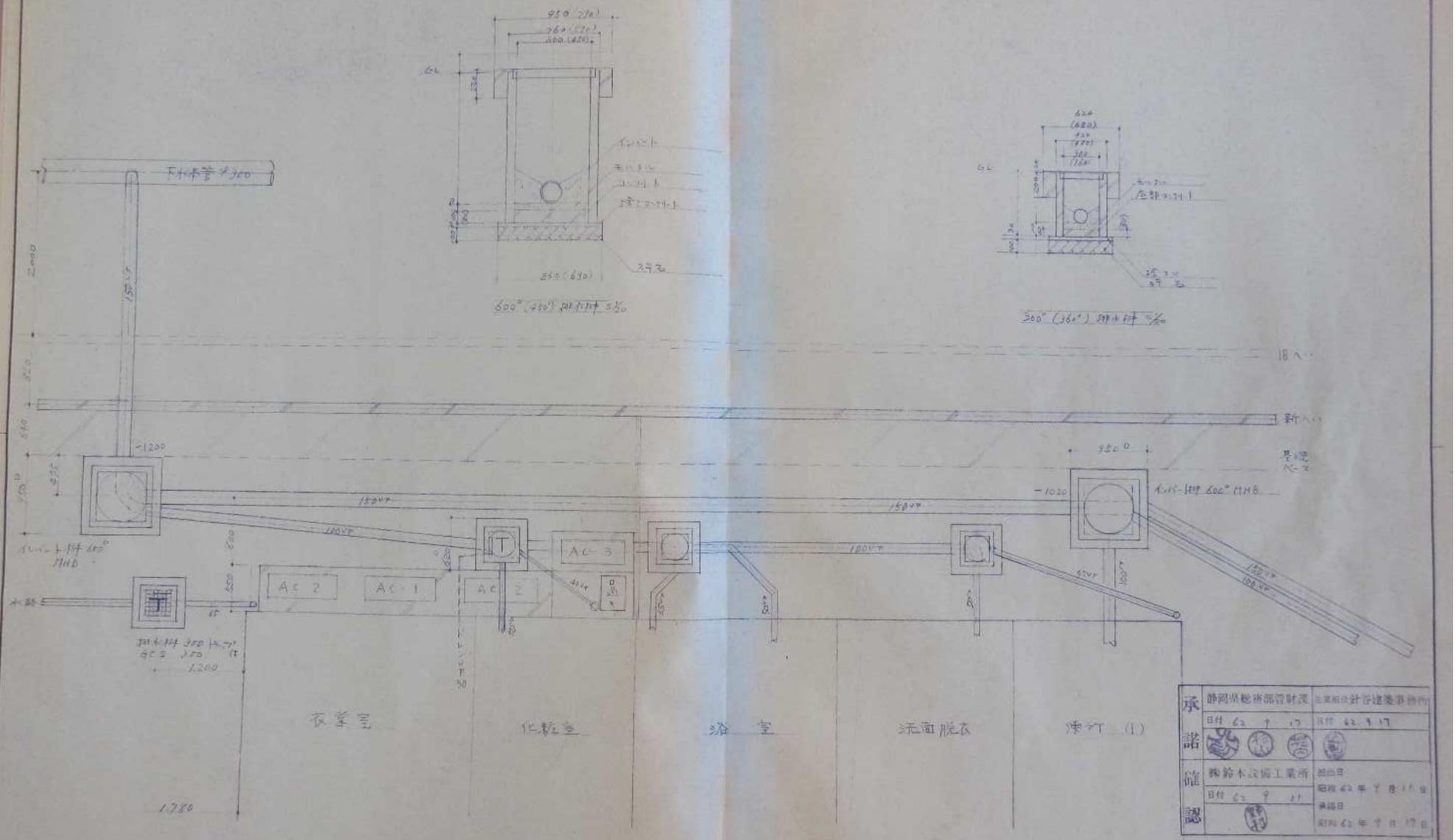




承諾	静岡県総務部管財課	大東組・針谷建築事務所
	日付 62 7 17	日付 62 7 17
確認	株鈴木設備工業所	提出日 昭和62年7月17日
	日付 62 7 11	承諾日 昭和62年7月17日

工事名	図名	縮尺		製図	承認		図番
昭和62年度 三保公舎機械設備工事完成図	ガスメーター配管詳細図	1:20	昭和62年7月17日			株式会社 鈴木設備工業所 静岡市大谷0-71-1 TEL (0542)46-1660	82-3

縮尺不明



工事名 昭和62年度 三役公舎 機械設備工事 完成図

図名 北側屋外排水工事

縮尺 1:30

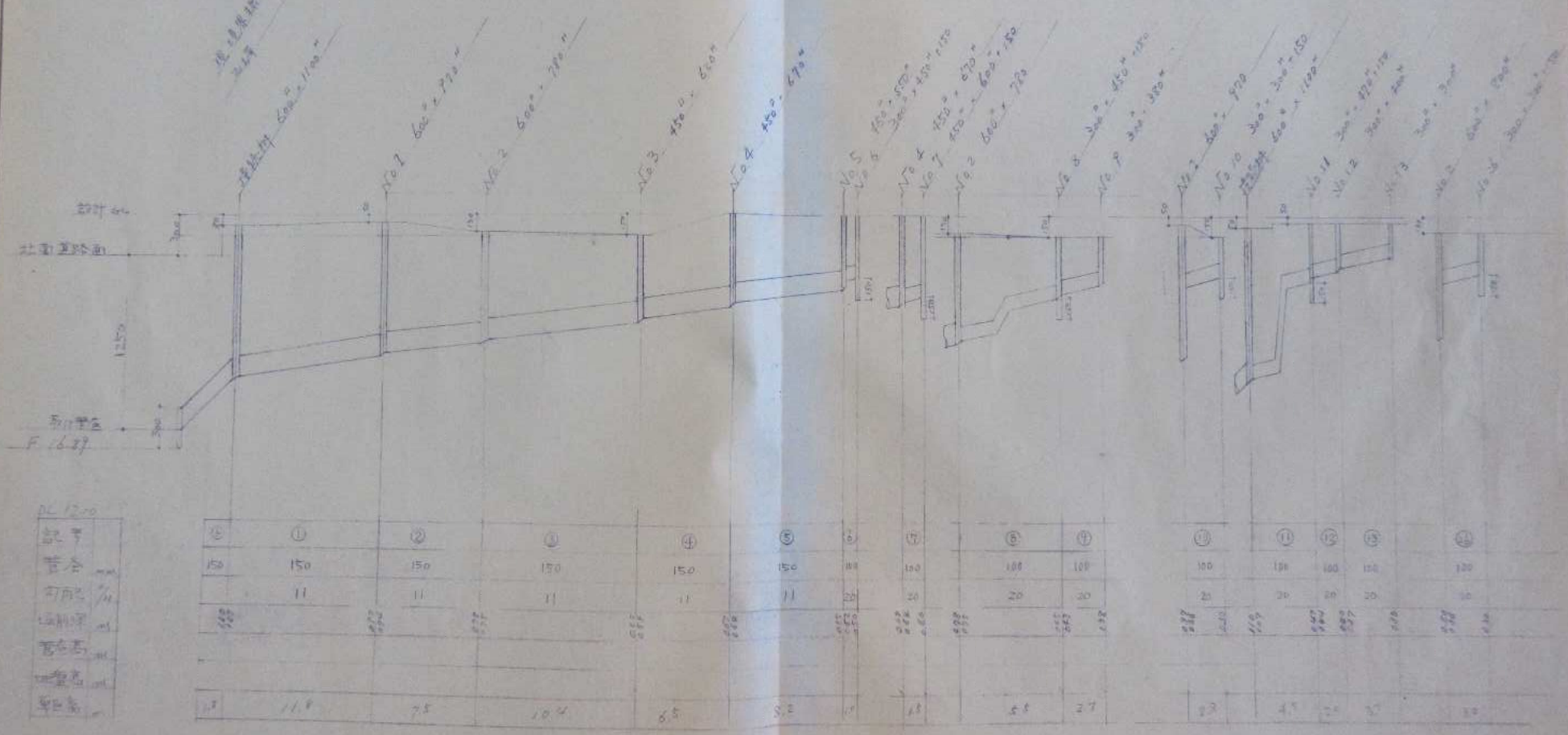
昭和63年7月11日

縮尺不明

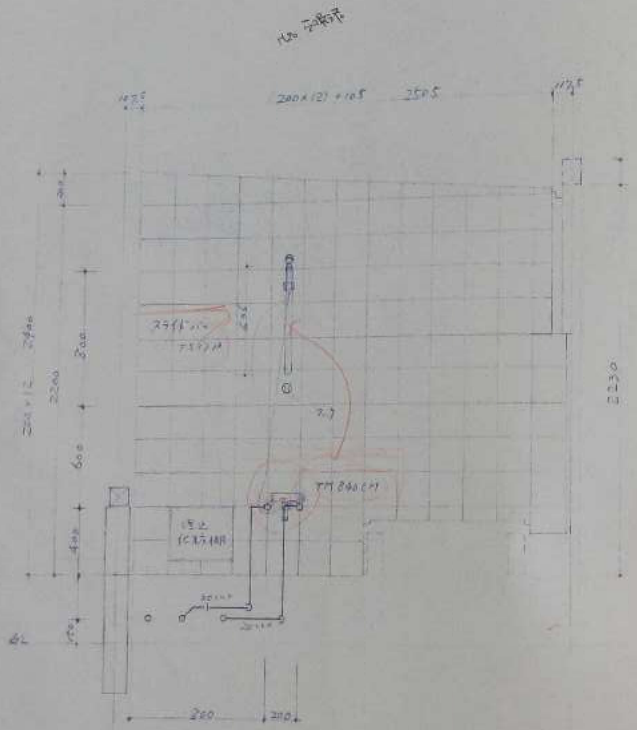
株式会社 鈴木設備工業所 静岡市大岩6-7-1-1 TEL (0542)40-0600

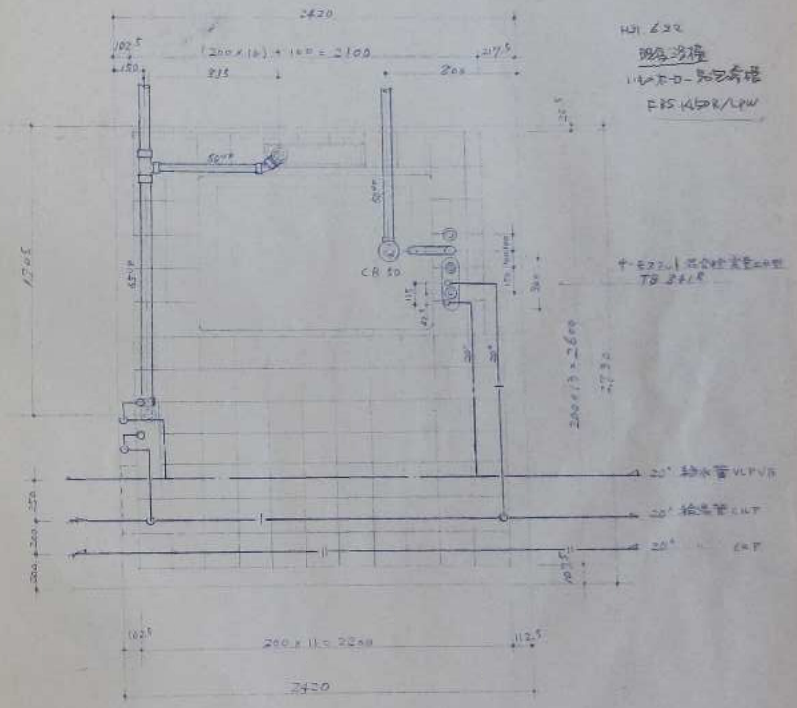
図番 4

承諾	静岡県総務部管財課	沼津市の計画建築事務所
	昭和62年11月22日	昭和62年11月23日
確認	鈴木設備工業所	提出日 昭和62年11月17日
	昭和62年11月17日	承諾日 昭和62年11月22日



工名	縮尺	製図	図番
平成6年度公共下水道西川幹線築造工事	平面 1:120 縦断 1:200	昭和63年11月17日	縮尺不明 株式会社 鈴木設備工業所 静岡市大谷671-1 TEL 054242-4660

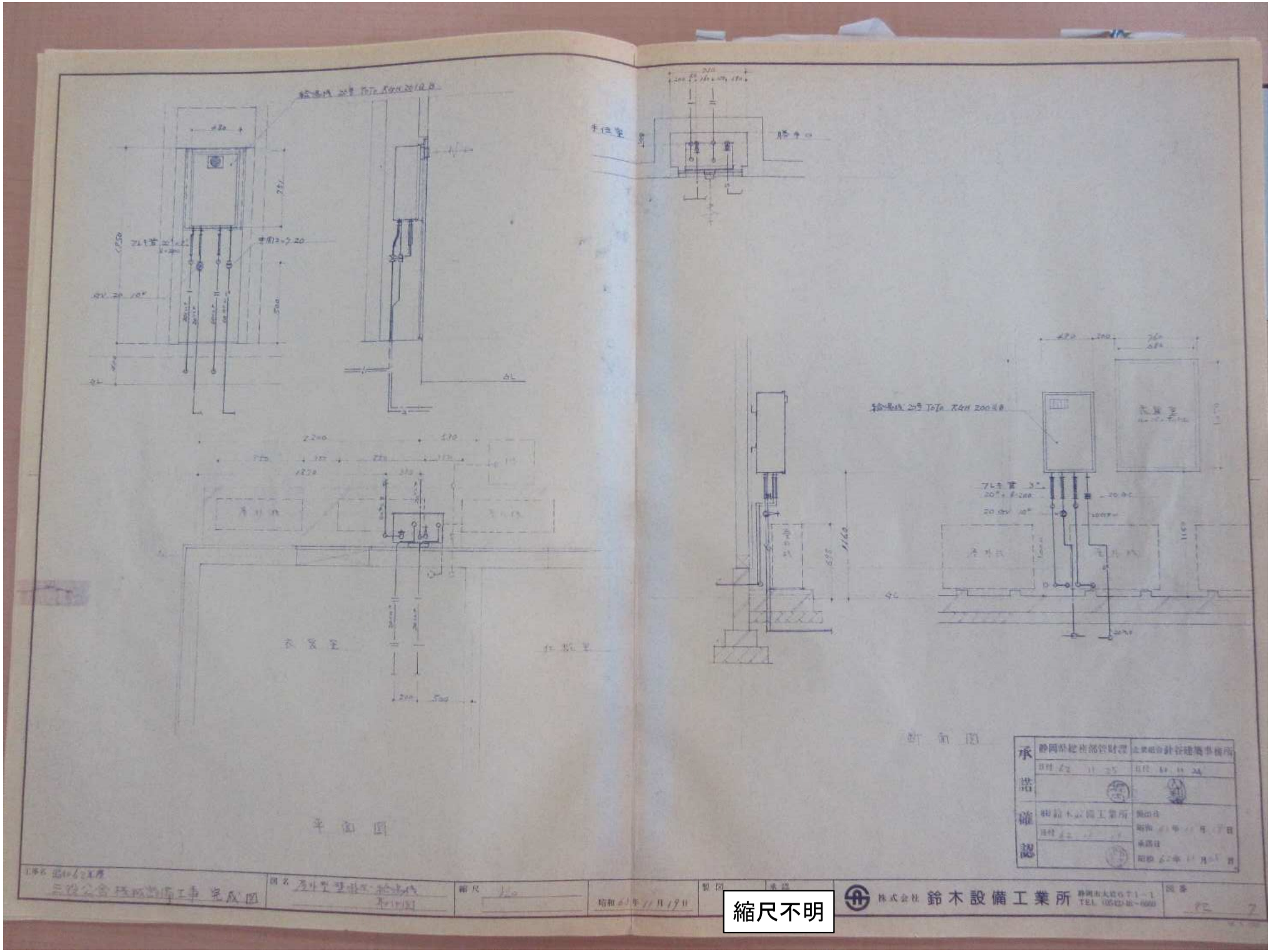


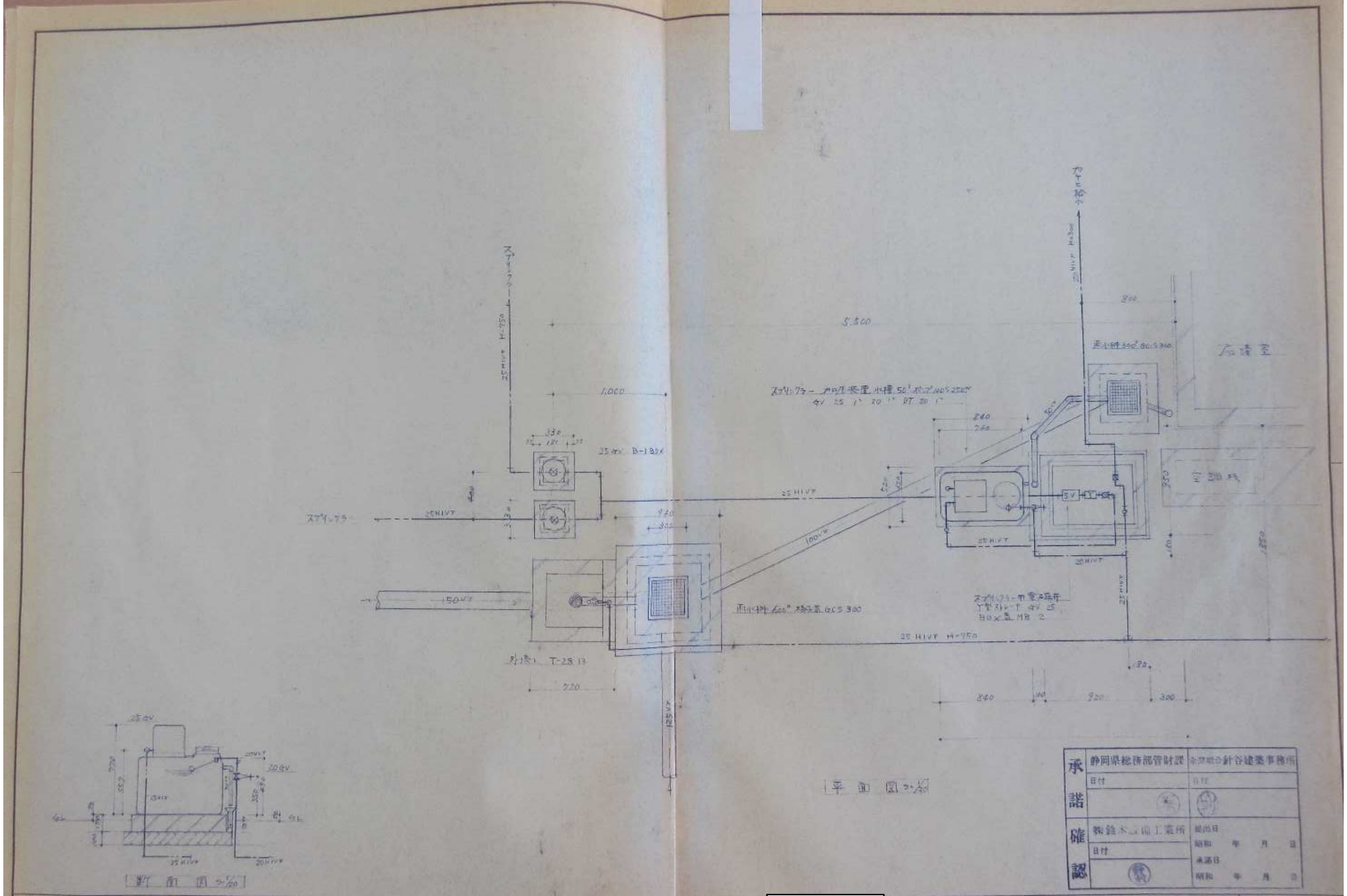


承諾	静岡県総務部管財課	企業組合計谷建築事務所
	日付 62 11 22	日付 62. 11. 21
確認	鈴木設備工業所	検査日 昭和62年11月17日
	日付 62 11 17	承認日 昭和62年11月22日

工事名 昭和62年度 三役公会堂機械設備工事 完成図	図名 浴室(1) 平面図 配管及器具取付図	縮尺 1:20	昭和62年11月17日	製図	承認	株式会社 鈴木設備工業所 静岡市大谷83-1 TEL 0542(46)-0000	図番

縮尺不明


平面図
断面図
衣装室
承認
確認
株式会社 鈴木設備工業所
縮尺不明



工事名 昭和62年度 三保公会堂外施設設備工事 完成図

図名 スプリンクラー加圧装置配管図 電気図

縮尺 1:20 1:20

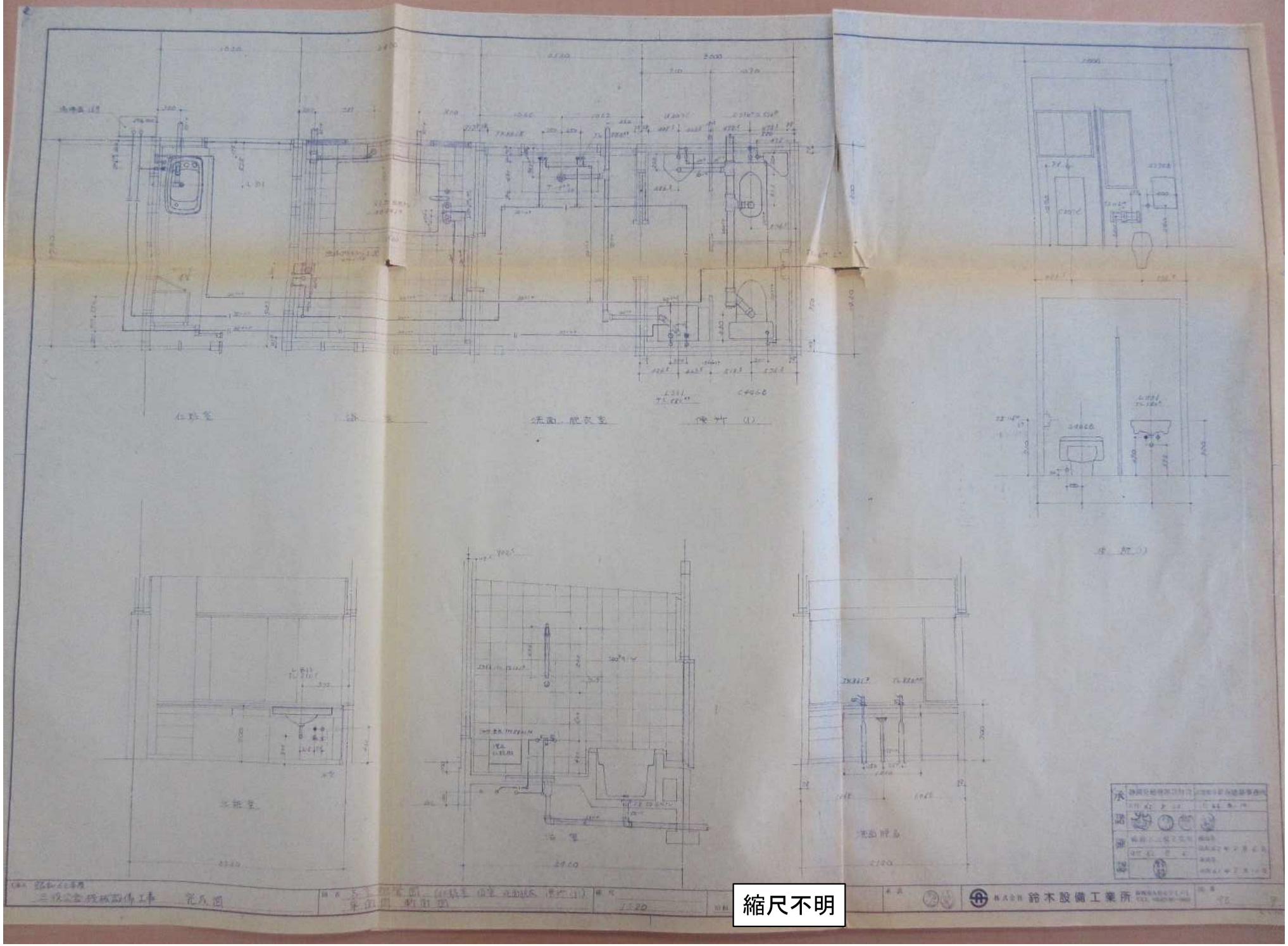
昭和63年1月 日

製

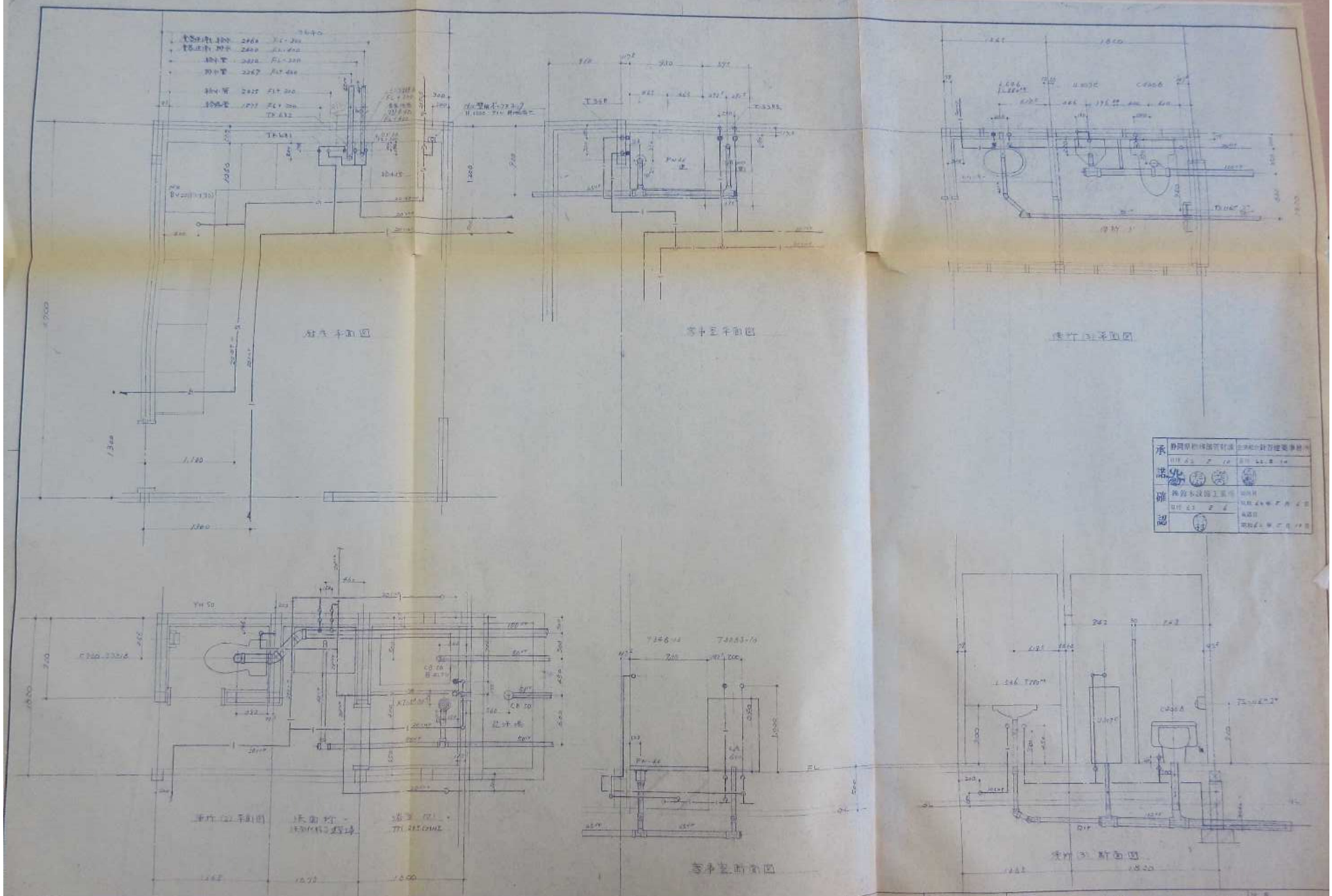
縮尺不明

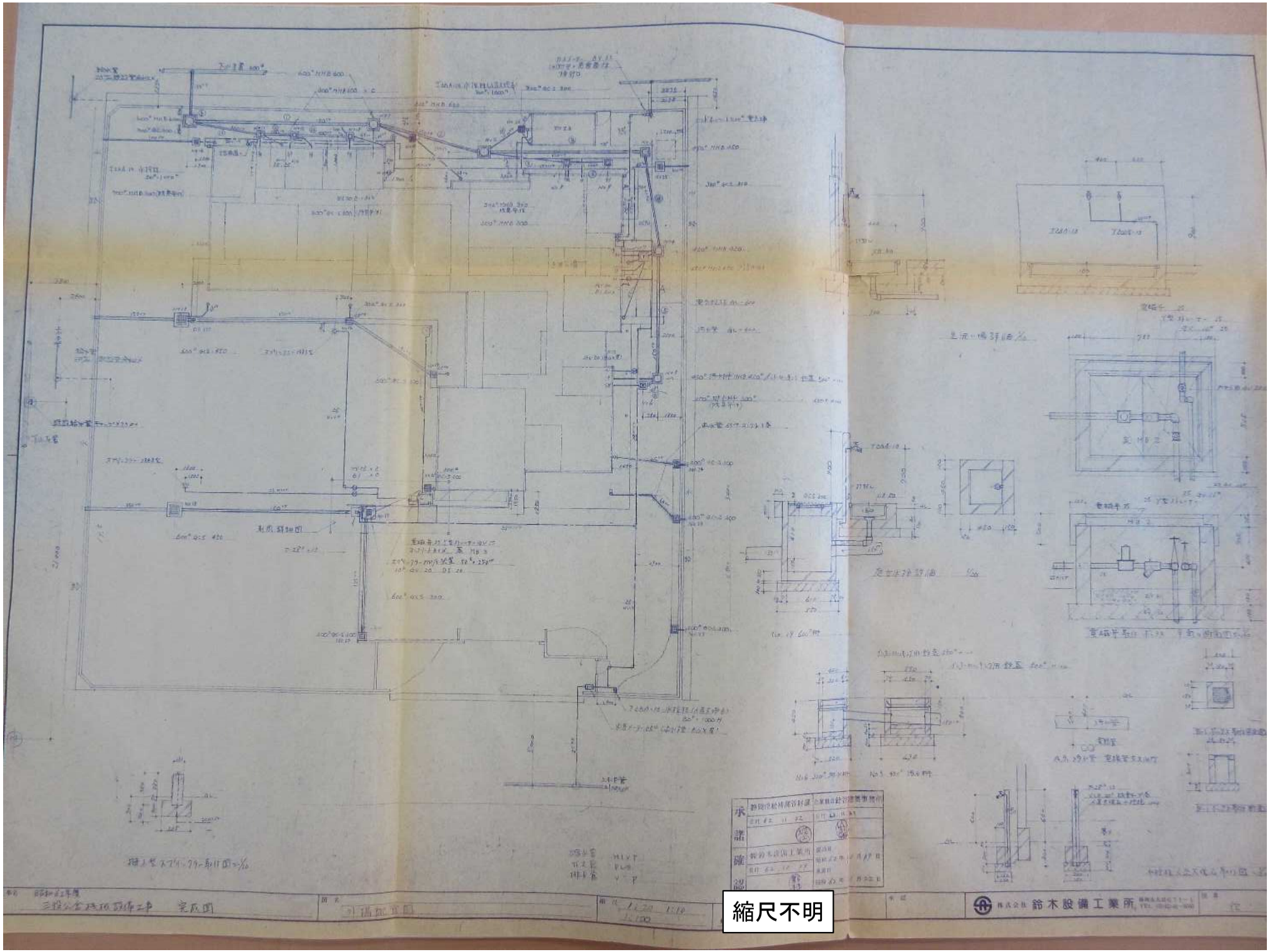
株式会社 鈴木設備工業所 静岡市大谷671-1 TEL (0542)48-0680

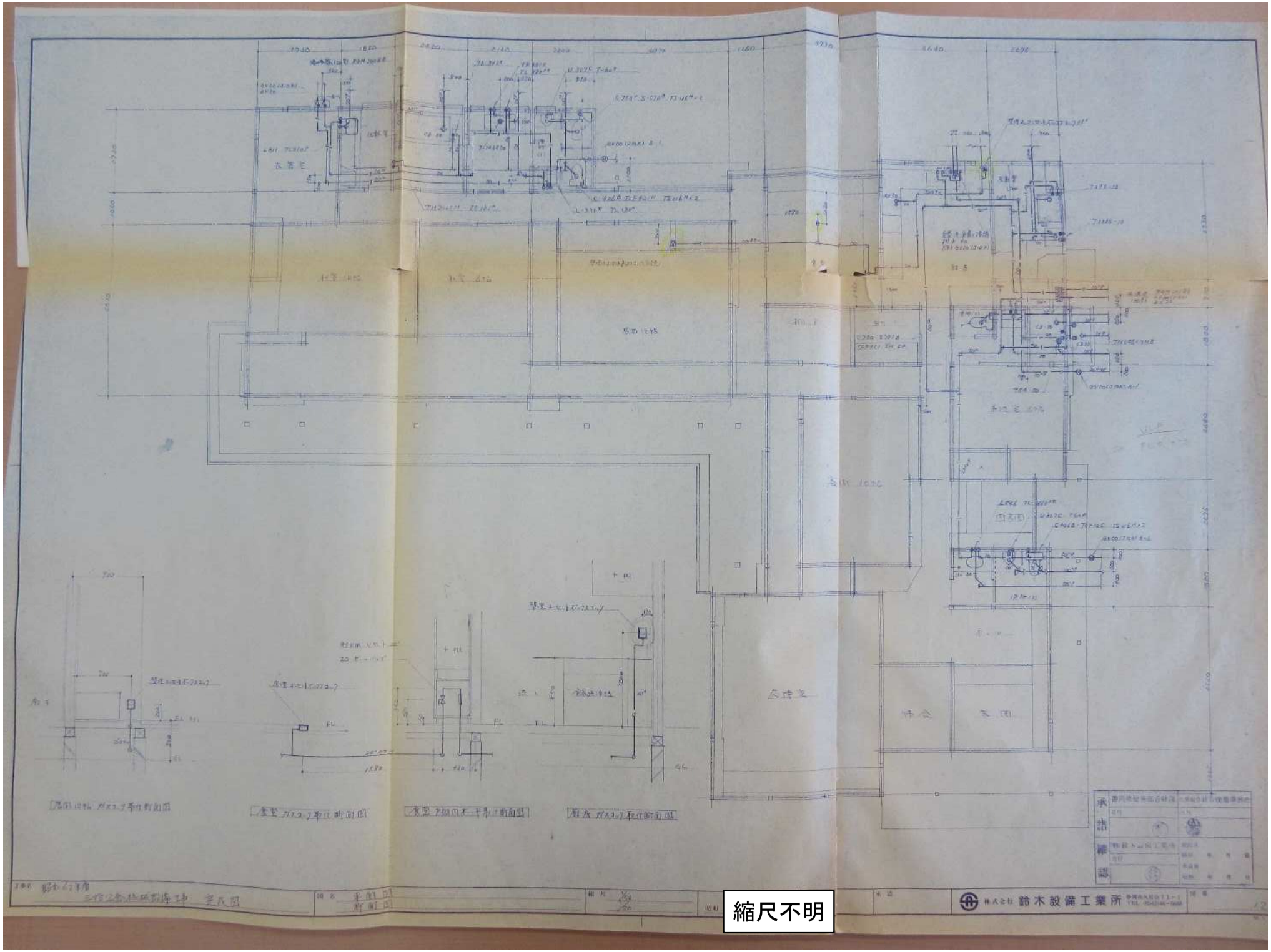
図番 E 8

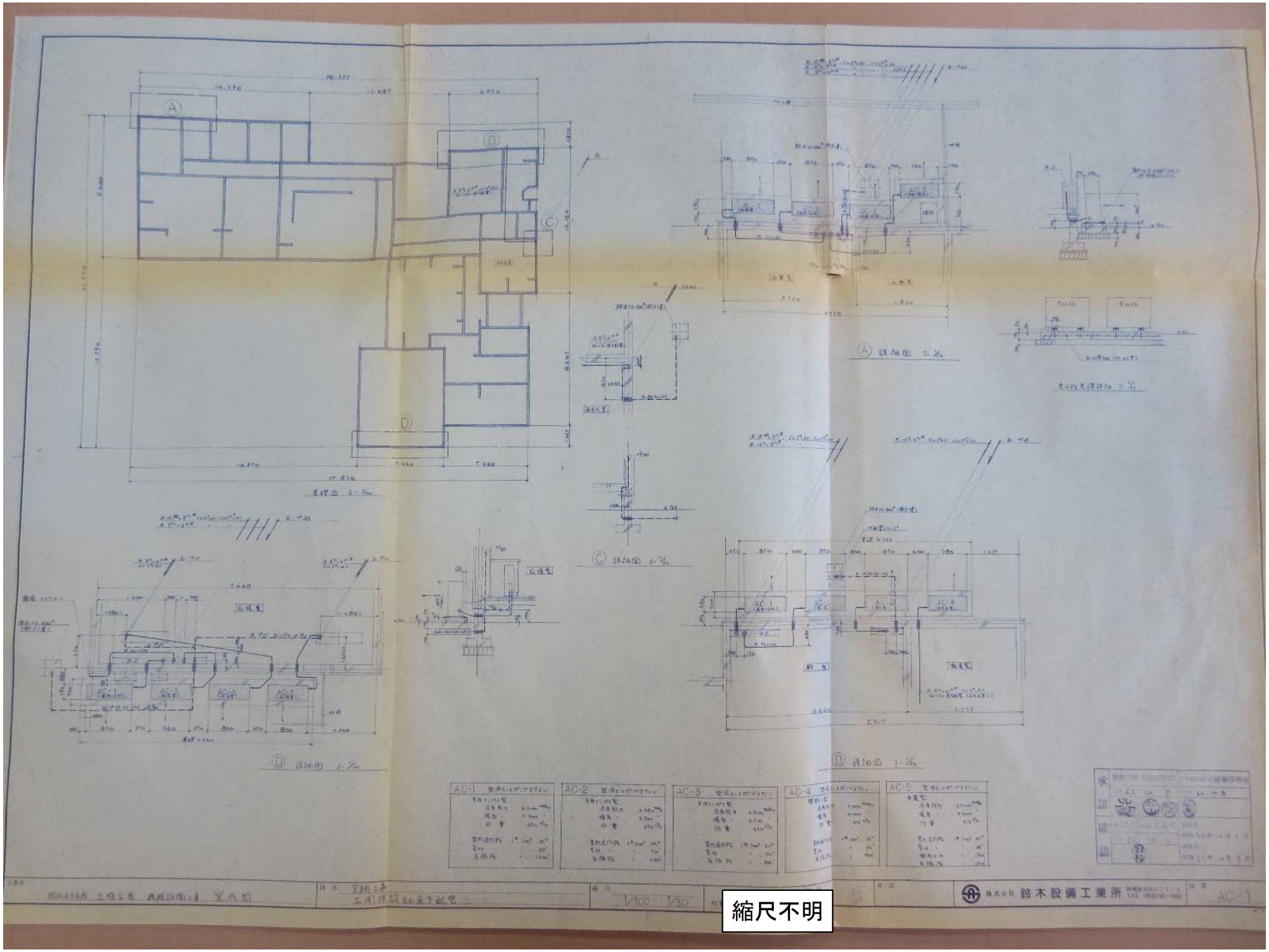


縮尺不明

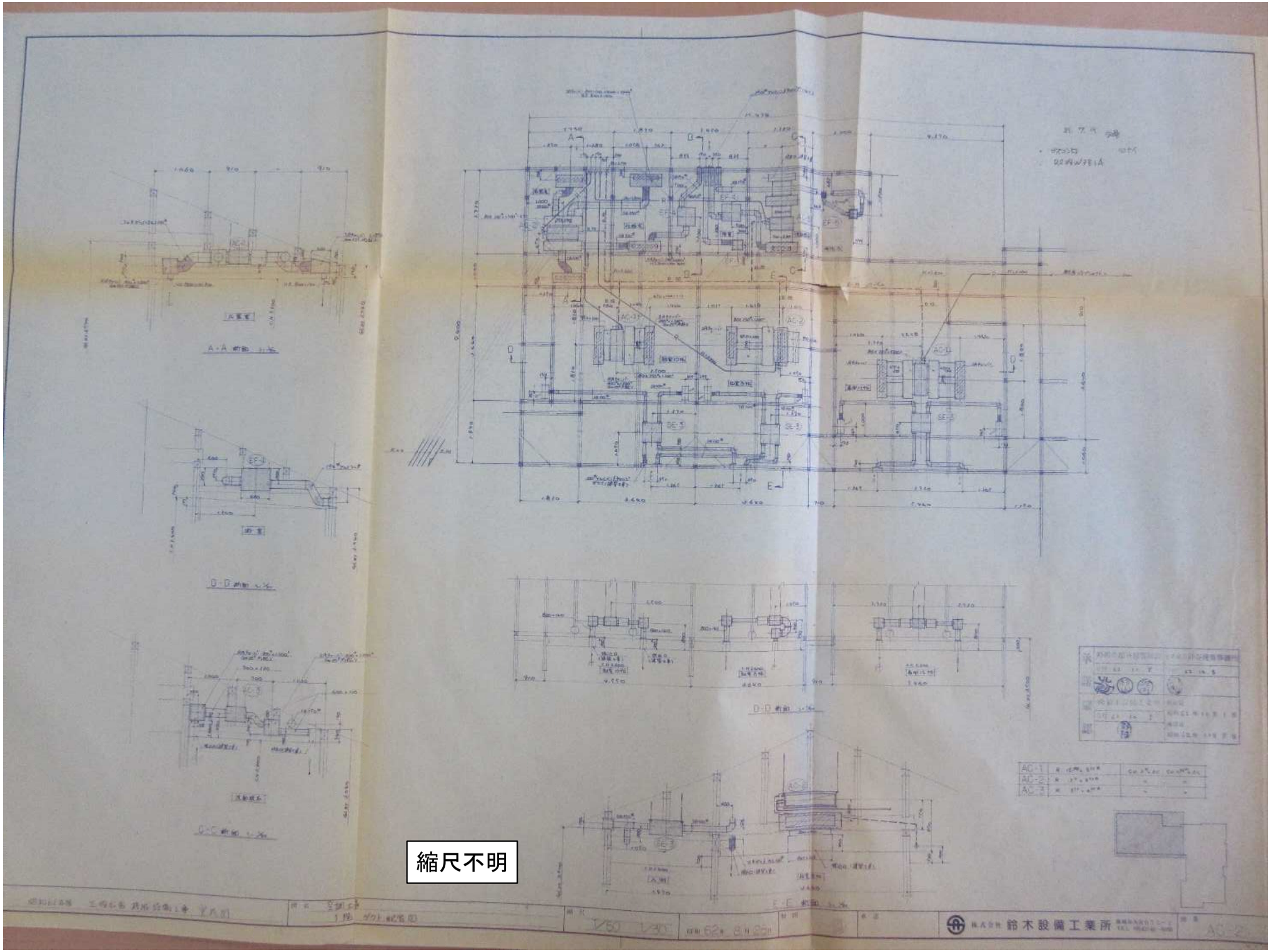

縮尺不明
株式会社 鈴木設備工業所

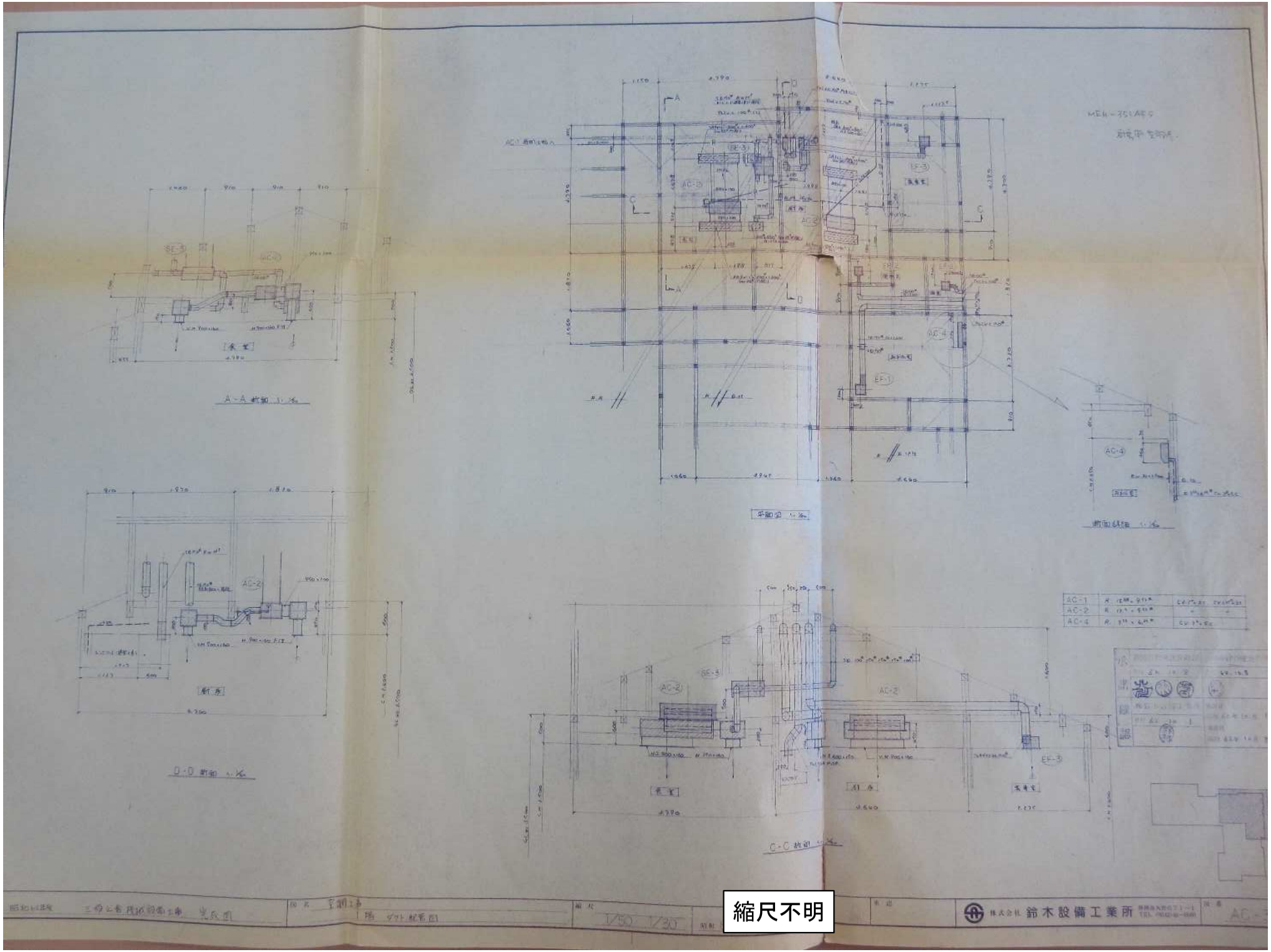

三投公会 給排水設備工事 完成図
株式会社 鈴木設備工業所
縮尺不明

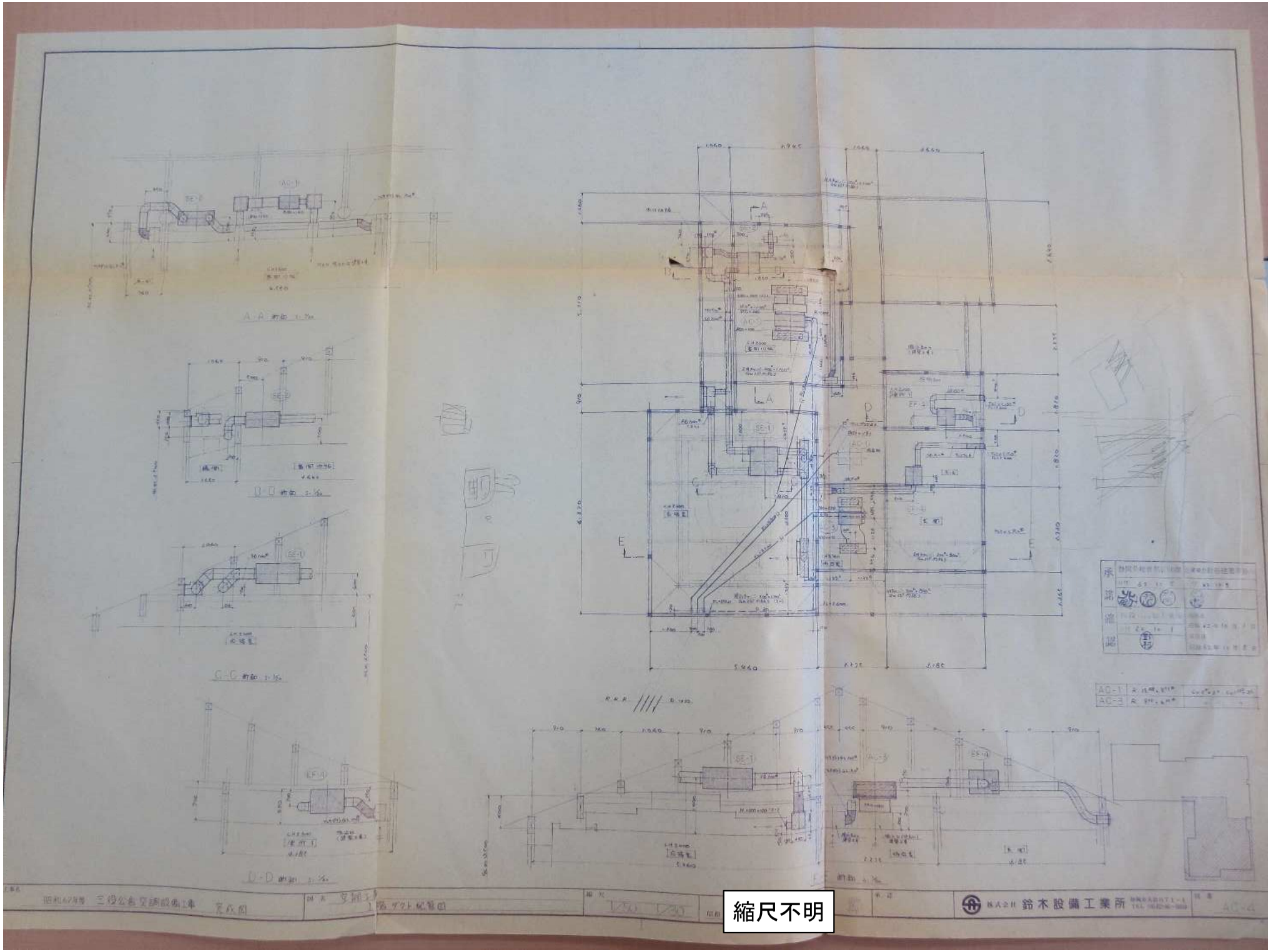

縮尺不明
株式会社 鈴木設備工業所



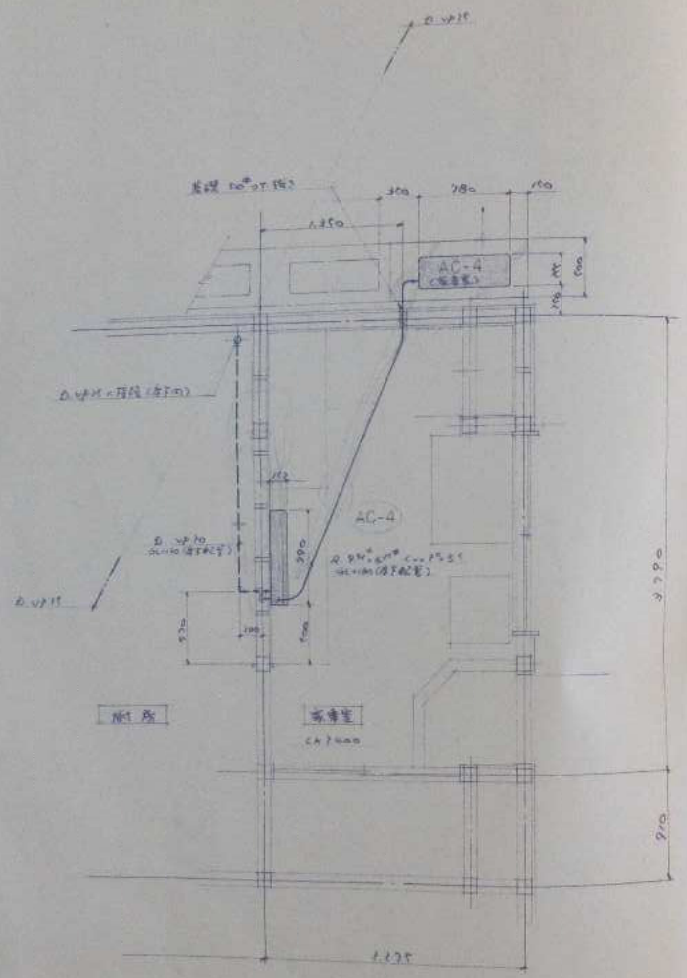
縮尺不明

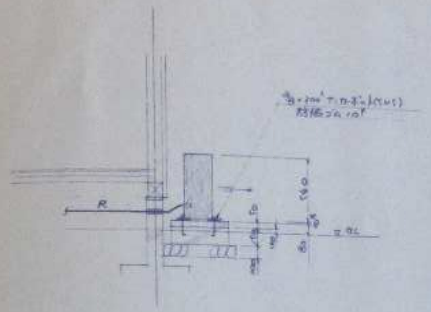

A-A 断面
D-D 断面
C-C 断面
E-E 断面
縮尺不明
株式会社 鈴木設備工業所


A-A 断面 1:50
D-D 断面 1:50
平面図 1:50
断面詳細 1:50
C-C 断面 1:50
AC-1
AC-2
AC-3
AC-4
EF-1
EF-2
EF-3
1/50
1/30
株式会社 鈴木設備工業所
縮尺不明

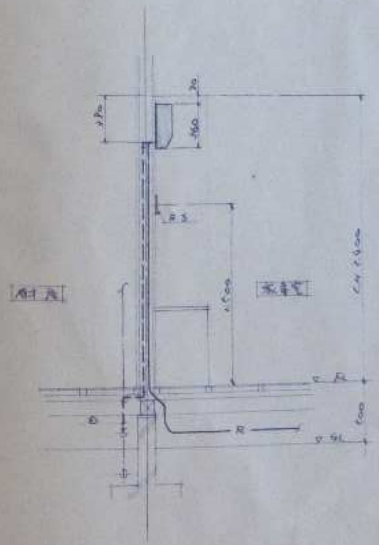


縮尺不明





室外ユニット据付詳細



室内ユニット取付断面詳細

承諾	静岡県総務部営財課	企業局企計課建築事務所
	日付 62 11 25	日付 62 11 25
確認	鈴木設備工業所	受注者
	日付 62 11	承認日

縮尺不明

工事名 昭和62年度 三保公会堂機械設備工事 実施図

図名 空調工事 家事室 エアコン取付

縮尺 1/30

昭和62年11月20日

株式会社 鈴木設備工業所 静岡市大谷[illegible] TEL [illegible]

図番 AC-[illegible]

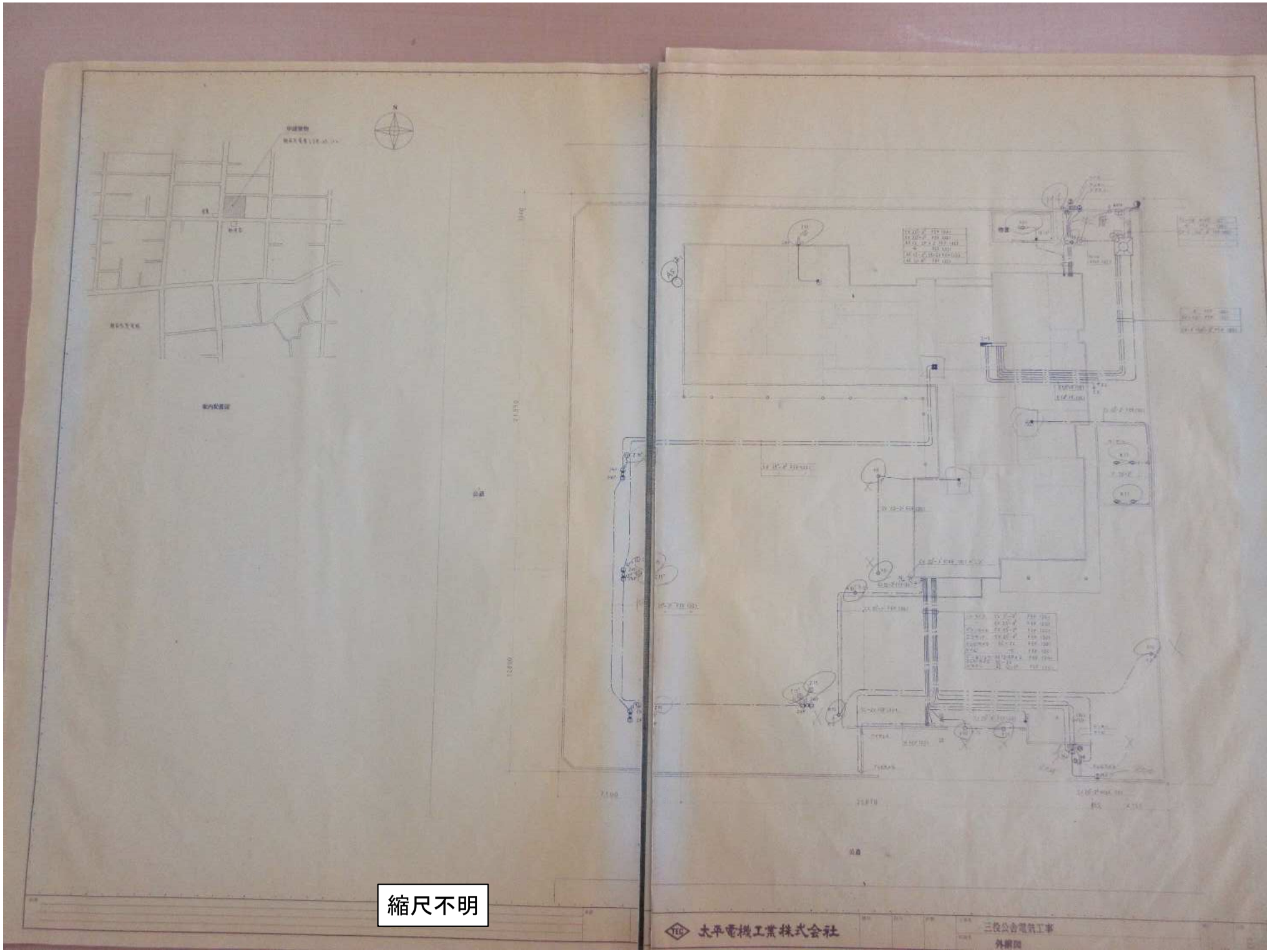
S62 三役公舎 電気工事

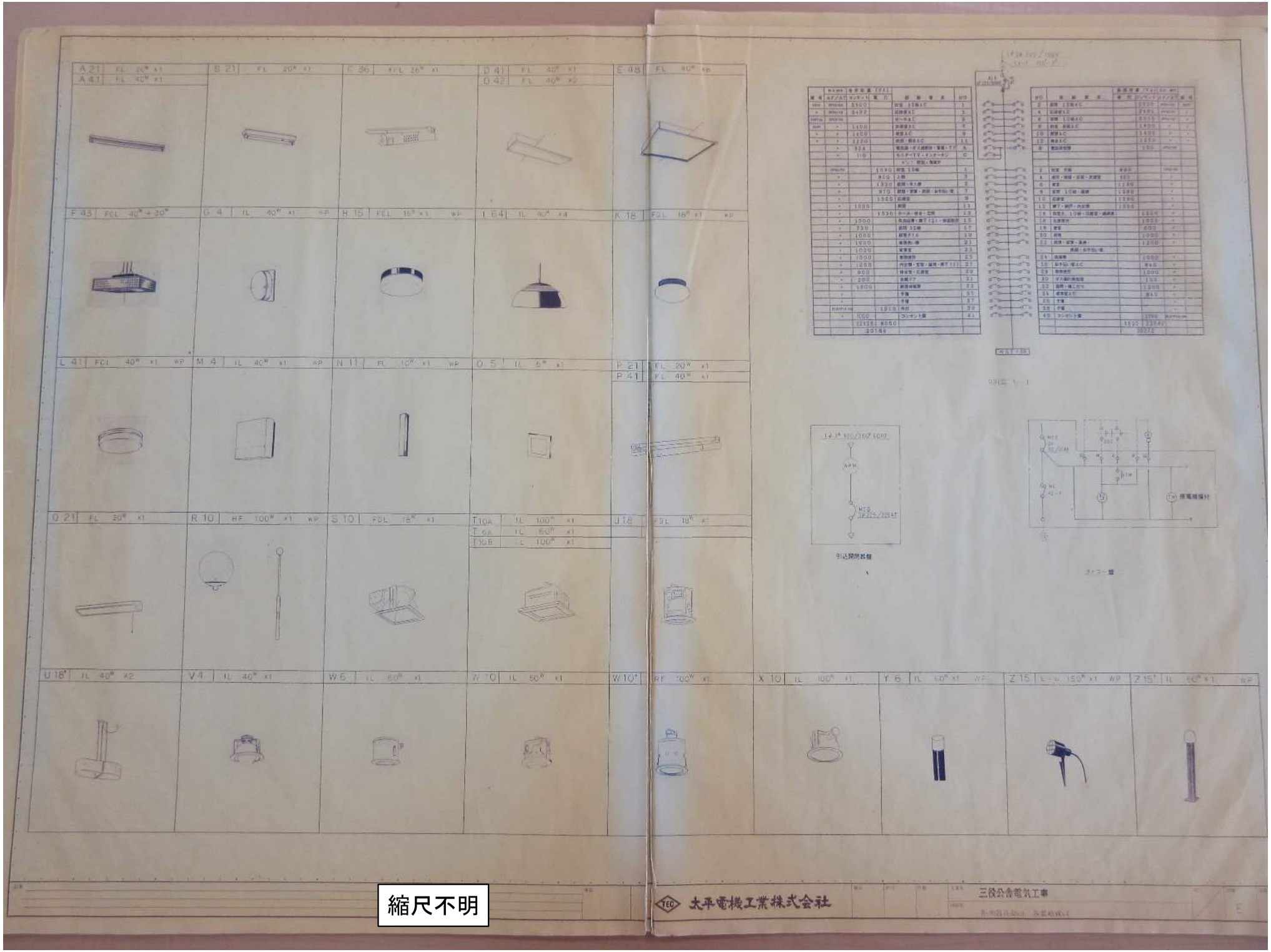
昭和六十二年度
三役公舎電気工事
完成図

昭和62年度三役公舎電気工事

完成図

太平電機工業株式会社


縮尺不明
太平電機工業株式会社
三段公会電気工事
外観図


A 21 FL 20W x1
A 41 FL 40W x1
B 21 FL 20W x1
C 36 FL 36W x1
D 41 FL 40W x1
D 42 FL 40W x2
E 48 FL 40W x6
F 43 FCL 40W + 20W
G 4 IL 40W x1 WP
H 15 FCL 15W x1 WP
I 64 IL 40W x4
K 18 FCL 18W x1 WP
L 41 FCL 40W x1 WP
M 4 IL 40W x1 WP
N 11 FL 10W x1 WP
O 5 IL 5W x1
P 21 FL 20W x1
P 41 FL 40W x1
Q 21 FL 20W x1
R 10 HF 100W x1 WP
S 10 FDL 15W x1
T 10A IL 100W x1
T 6A IL 60W x1
T 10B IL 100W x1
U 18 FSL 18W x1
U 18' IL 40W x2
V 4 IL 40W x1
W 6 IL 60W x1
W 10 IL 50W x1
W 10' RF 200W x1
X 10 IL 100W x1
Y 6 IL 60W x1 WP
Z 15 E-L 150W x1 WP
Z 15' IL 60W x1 WP
引込開閉器盤
MCB
排電機操作
太平電機工業株式会社
三段公告電気工事

縮尺不明

1φ3W 200／100V

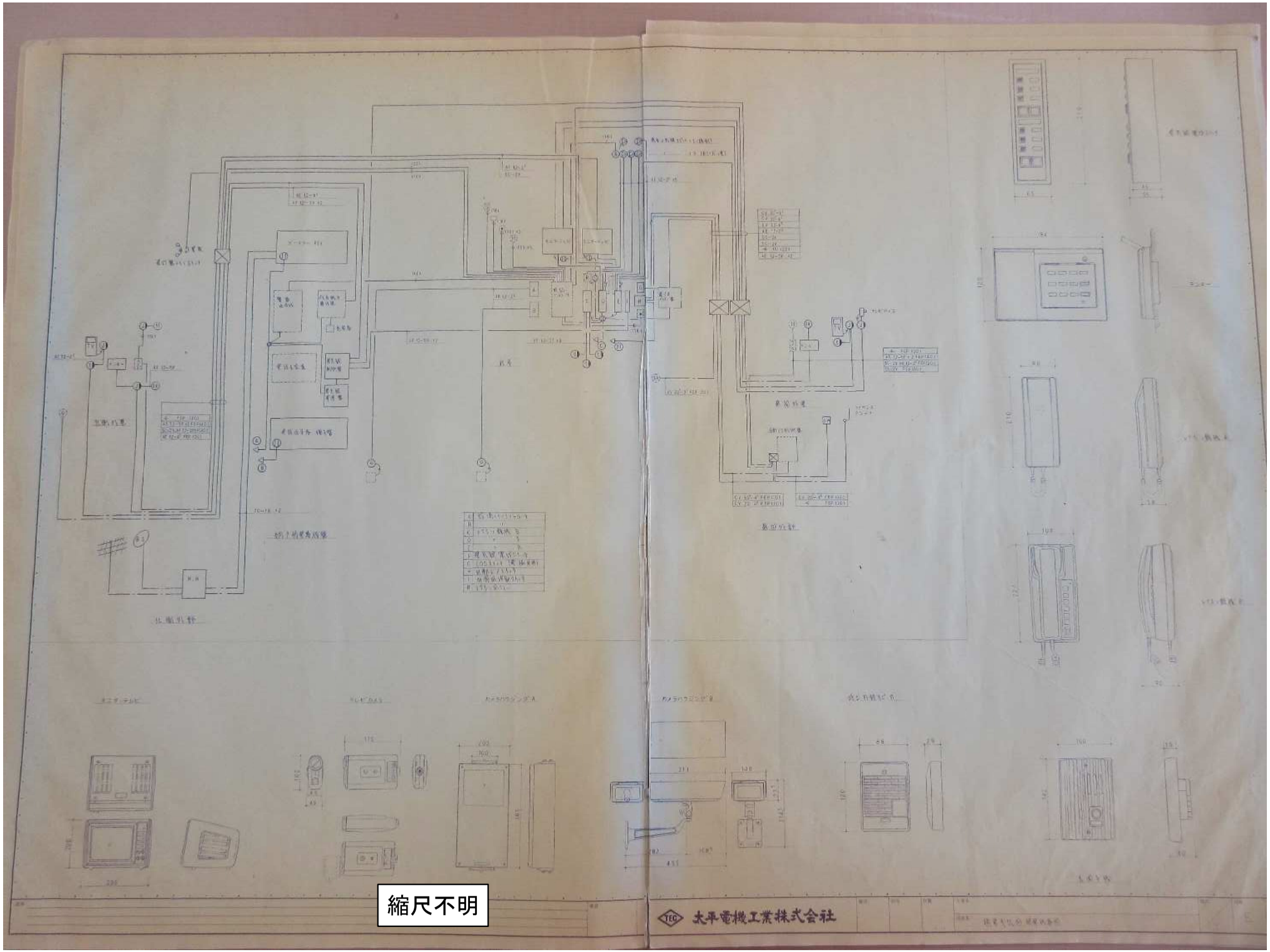
CV-T 150°-3C

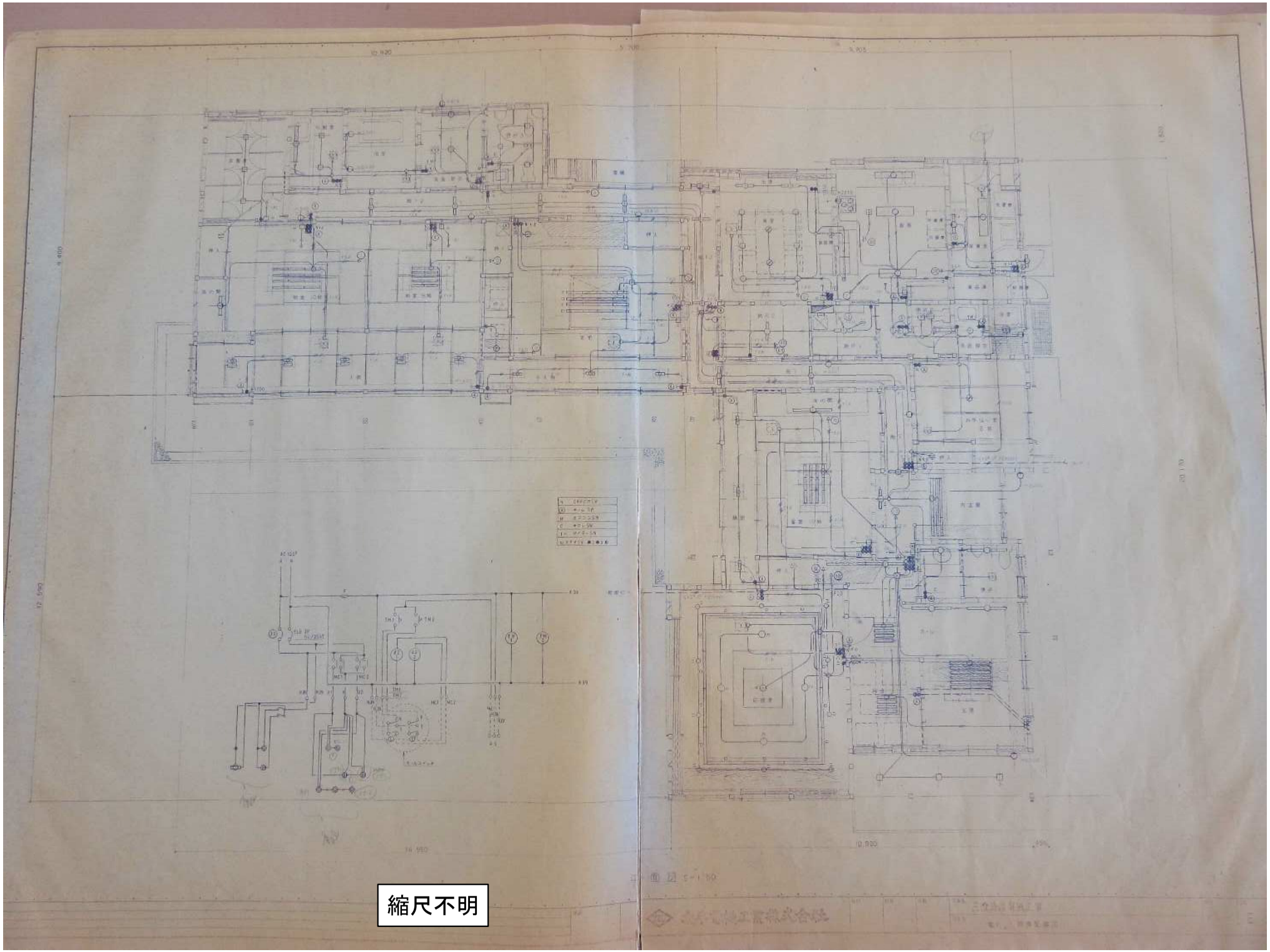
ELB 3P 225/225AT

備考	ELB.MCB AF／AT	負荷容量（VA） コンセント	負荷容量（VA） 電灯	供給室名	NO
200V	2P50/20	2500		和室 10帖AC	1
〃	2P50/30	3492		応接室AC	3
200V3φ	2P50/20			ホールAC	5
200V	〃	1400		衣裝室AC	7
〃	〃	1400		食室AC	9
〃	〃	1220		洗面・脱衣AC	11
	〃	324		電気錠・ガス遮断弁・警備・TV	A
	〃	550		モニターTV・インターホン	C
				ポンプ・防犯・電磁弁	
	1P50/20		1090	和室 10帖	1
	〃		800	入側	3
	〃		1330	居間・半入側	5
	〃		970	厨房・家事・洗面・お手伝い室	7
	〃		1320	応接室	9
	〃	1000		厨房	11
	〃		1530	ホール・待合・玄関	13
	〃	1300		気泡浴槽・廊下（2）・洗面脱衣	15
	〃	750		居間 12帖	17
	〃	1000		厨房グリル	19
	〃	1000		食器洗い機	21
	〃	1000		家事室	23
	〃	1000		東側便所	25
	〃	1050		内玄関・客室・縁側・廊下（1）	27
	〃	900		待合室・応接室	29
	〃	200		自動ドア	31
	〃	1300		厨房床暖房	33
	〃			予備	35
	〃			予備	37
	ELB2P50/20		1010	外灯	39
	〃	1000		コンセント盤	41
		22136	8050		
		30186			

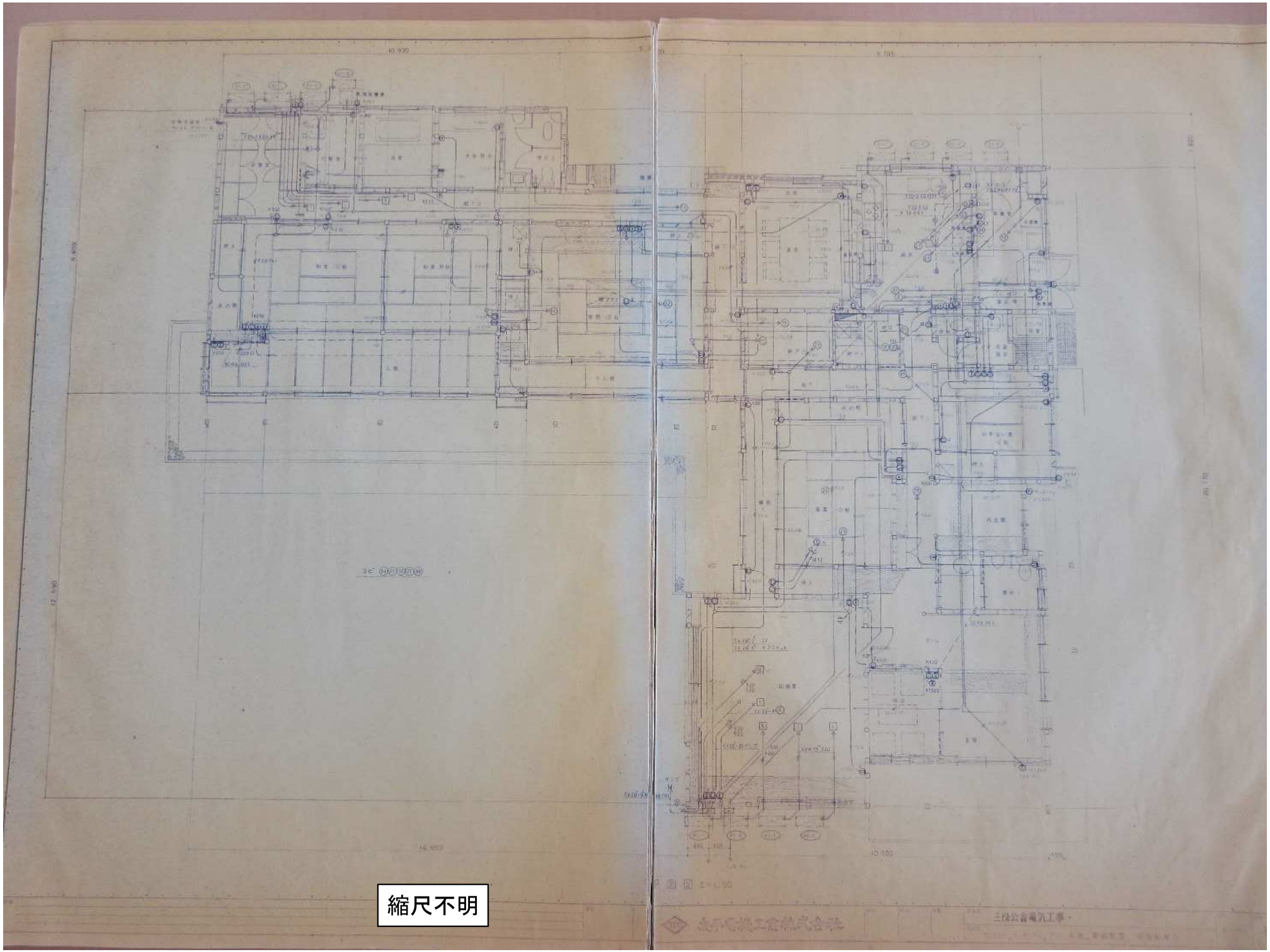
NO	供給室名	負荷容量（VA） 電灯	負荷容量（VA） コンセント	ELB. MCB AF／AT	備考
2	居間 12帖AC		2500	2P50/20	200V
4	応接室AC		3492	2P50/30	〃
6	客間 10帖AC		2500	2P50/20	〃
8	和室 8帖AC		1400	〃	〃
10	厨房AC		1400	〃	〃
12	待合AC		1220	〃	〃
B	電話保安器		100	1P50/20	
2	和室 8帖	890		1P50/20	
4	便所・洗面・浴室・衣裝室	880		〃	
6	食室	1130		〃	
8	客間 10帖・縁側	1390		〃	
10	応接室	1290		〃	
12	廊下・納戸・内玄関	1050		〃	
14	和室8，10帖・化粧室・湯沸器		1200	〃	
16	北側便所		1000	〃	
18	食室		600	〃	
20	厨房		1000	〃	
22	厨房・家事・湯沸・		1200	〃	
	洗面・お手伝い室				
24	洗濯機		1000	〃	
26	お手伝い室AC		840	〃	
28	南側便所		1000	〃	
30	ガス漏れ検知器		150	〃	
32	居間・堀こたつ		1200	〃	
34	家事室AC		840	〃	
36	予備			〃	
38	予備			〃	
40	コンセント盤		1000	ELB2P50/20	
		6630	23642		
		30272			

NST×38

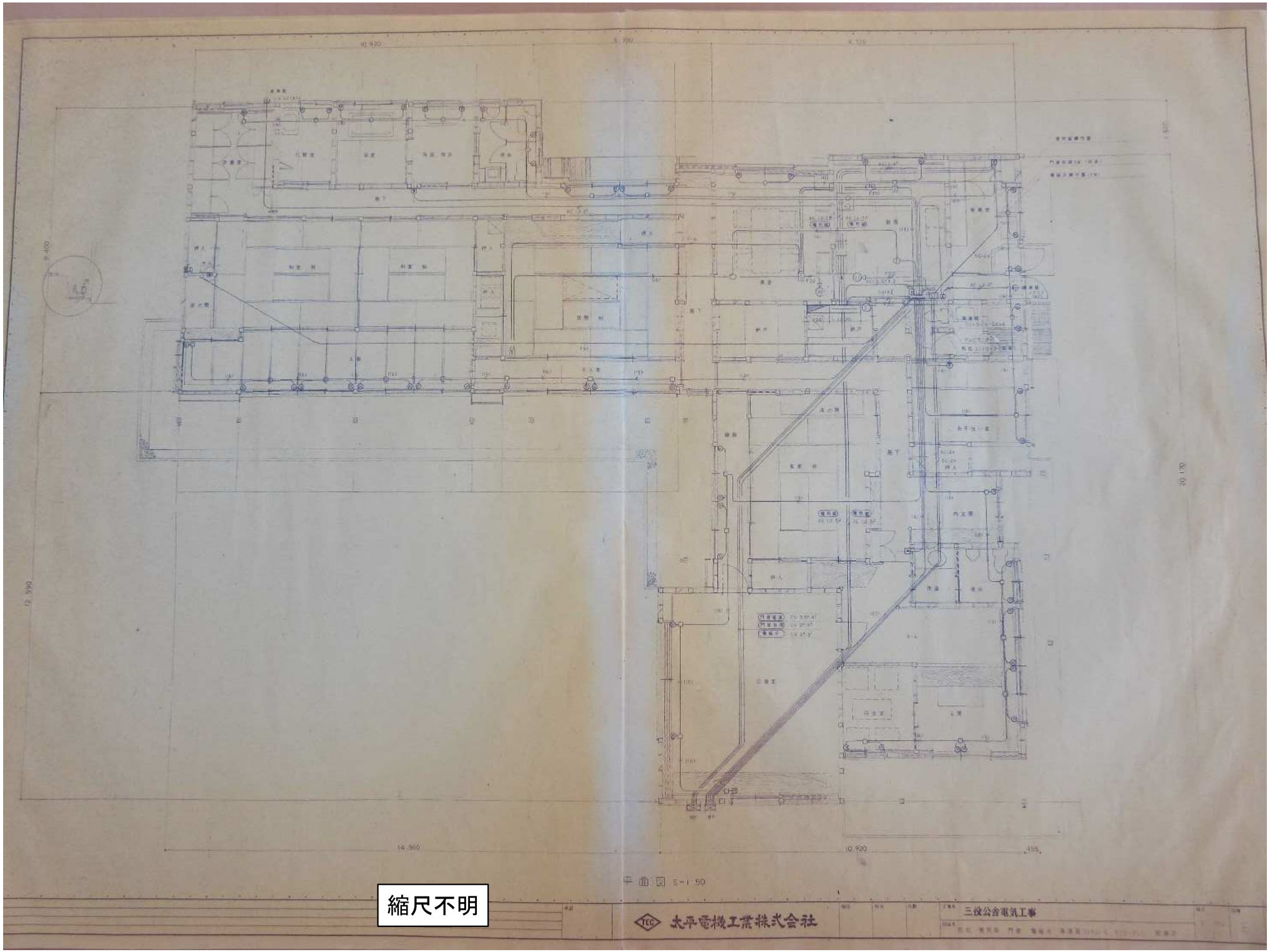

縮尺不明
太平電機工業株式会社

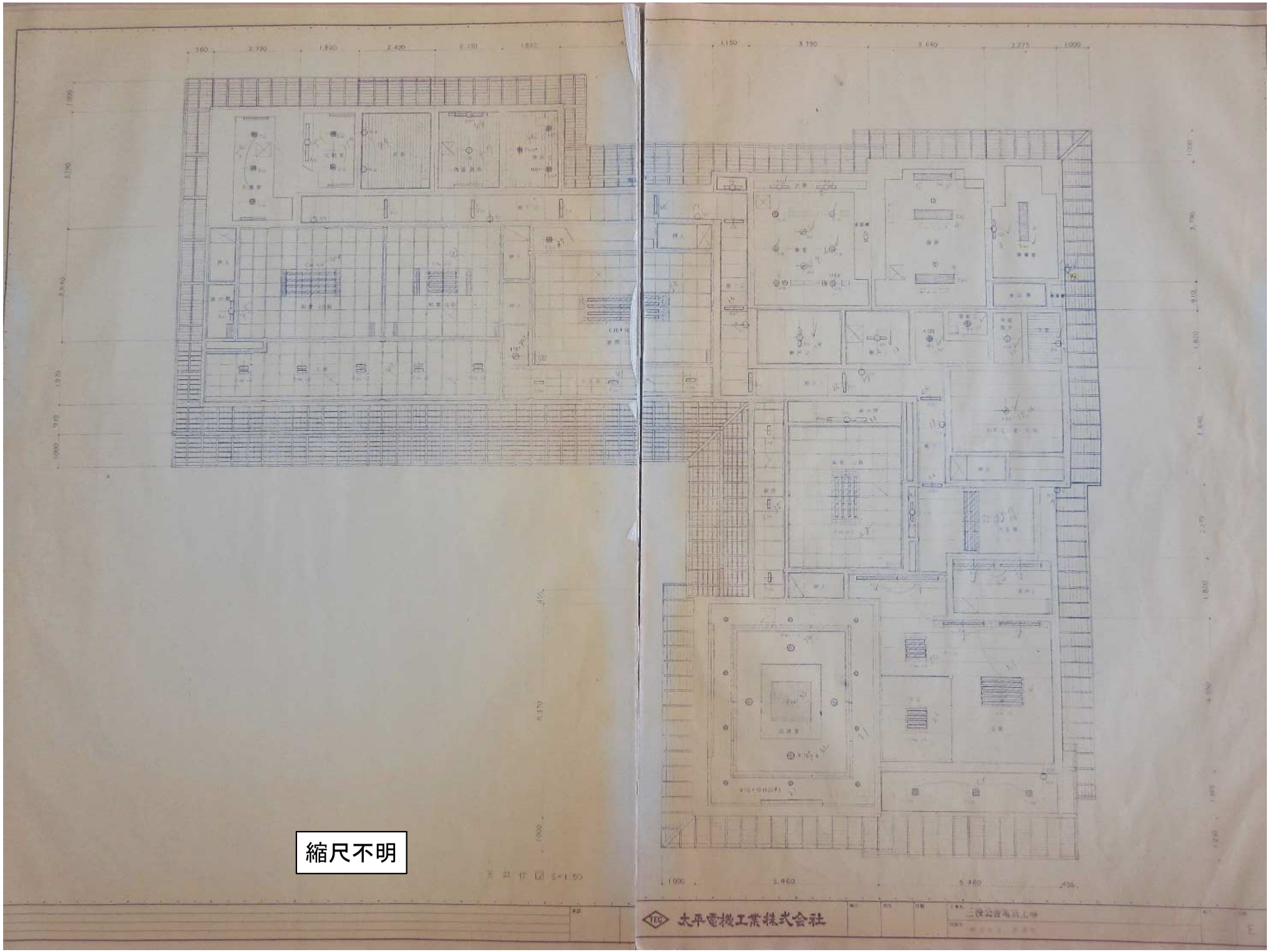


縮尺不明



縮尺不明


10,920
5,100
9,705
9,400
12,590
14,960
10,920
495
20,170
平面図 S=1/50
縮尺不明
TEC
太平電機工業株式会社
三役公舎電気工事


縮尺不明
太平電機工業株式会社